



# 教え方の手引き

## 第2部(2)

—トピック別の教え方と留意点(中級2)—

ver. 20171006



## トピック1 どんな人？

「中級 1」の最初のトピックでは自己紹介場面を取り上げましたが、この「中級 2」では、自分の周りの人について情報交換する場面を取り上げます。人から情報を得ることによって新しい人のことを知ったり、その人の知らなかった面に気づいたりすることは、誰にでもあると思います。そのような経験を通して、周りの人への理解が深まっていくといいでしょう。

### ◎ 扉／準備

#### ● トピックについての質問 (P41)

人について話題にするのは、どんなときでしょうか。誰について、どんなことを話すのか／話したことがあるか、扉の 3 枚の写真を手がかりに自由に話し合います。家族や友達について、先生や上司についてなど、いろいろなケースがあるでしょう。これまでの経験を思い出すことがねらいです。

#### 1 写真やレアリアを見る (P42)

ほかの人について話している 6 つの場面が取り上げてあります。写真を見ながら、まず、どこで、誰と誰が話しているかを考えます。次に、①「これ、うちの孫…」のような吹き出しのことばをヒントに、誰についてどんなことを話しているか考えます。会話の続きを作ってみてもいいでしょう。写真の①-⑥は、次のような場面を想定していますが、ほかの解釈があってもかまいません。

- ① 職場やホテルの部屋やロビーなど、知人同士:孫の写真を見せて話している
- ② 大学の教室、学生同士:教授や講師などについて話している
- ③ 公園、知り合いの主婦同士:夫とのエピソードについて話している
- ④ 自宅、息子が父に:結婚したいと思っている女性について話している
- ⑤ 自宅、娘が母に:学校の友達との出来事を話している
- ⑥ 職場の休憩スペース、同僚同士:同僚や上司について話している

#### 文化 文化について考える (P42)

本人がいないところでの話(うわさ話)についてのイメージについて考えてみるのがねらいです。日本では、「うわさ話」には「悪口を言う」「陰口を言う」などのネガティブなイメージもありますが、1の活動から、実際の内容はいろいろであることがわかります。それぞれの国の場合について、具体例を思い浮かべて考えてみます。また、1と比べながら、「うわさ話」をする場面の違いなどについて考えてみるのもいいでしょう。

## 2 語彙や表現の確認 (P43)

性格や人柄を表す表現を取り上げています。「明るい、几帳面な」などのような形容詞表現だけでなく、「きちんとしている、頼りになる」のような慣用表現に注意してください。また、「きちんとしている／だらしがない」「頼りになる／頼りにならない・頼りない」などのように、対になる表現をセットにして整理してもいいでしょう。

### ◆ 赤字の言い方に注意しましょう

プラス評価、マイナス評価という観点から、性格や人柄を表す表現を整理します。ただし、すべての表現が、プラス、マイナスに分かれるわけではないことに、注意してください。

(A)「プラス評価」:きちんとしている、几帳面(な)、明るい、気さく(な)、おもしろい、のりがいい

(B)「マイナス評価」:頑固(な)、気が短い

※選択肢 a-e の表現を分けると、「プラス評価」: a. おおらか (な)、e. 頼りになる、  
「マイナス評価」: b. 怒りっぽい、c. 自分勝手 (な)、d. 神経質 (な) となります。

## 3 その他の活動 (P43)

日本では、「理想の上司」「理想の同僚」「理想の結婚相手」のようなテーマで、タレントやスポーツ選手などの人気投票をすることがあります。それぞれの人についての人柄の説明を読んで、自分が好きなタイプを選んでもいいですし、自国の有名人の中から好きなタイプを選んでみてもいいでしょう。その場合、その人のどこがいいと思ったのか、ここに載っている表現を参考にして、説明させてみるとおもしろいと思います。

## PART 1 聞いてわかる「結婚することになりました」

**Can-do 01** その場にはいない人についての話を聞いて、その人の人柄や性格、話し手がその人をどう思っているかが理解できる。

よく知っている友人とおしゃべりで、お互いの配偶者やパートナーについて話す場面を取り上げています。ここでは、聞き手として、会話に積極的に参加し、わからない点については質問するなどして、話題になっている人の人柄を理解できるようになることを目指します。

### 場面・設定の確認

カフェに集まって、友人同士でおしゃべりをしているという設定です。はるなさんの「このたび結婚することになりました。」という発言をきっかけに、お互いのパートナーがどんな人かという話に発展します。イラストで「で、どんな人？」と質問している人(外国人、聞き手)の立場になって、それぞれのパートナーの性格や人柄について聞き取ります。

#### ● 聞くまえに (P44)

パートナーということばの定義や解釈は、それぞれの状況に合わせてください。恋人や配偶者などに置き換えてもかまいません。「こんな人がいい」と考える条件を、自由にメモさせてみるというでしょう。「やさしい」といった性格や人柄だけではなく、「給料がいい、料理が上手」など、思いつくものを自由にあげさせてみてください。

#### 1 内容を段階的に理解する (P44)

(1)で全体をざっと聞き、(2)で性格・人柄を聞き取ります。(3)は補足的なタスクになります。エピソード部分の聞き取りは、2の聞くための戦略で行います。

##### (1) 1回目の聞き:話全体からパートナーについてどう思っているか理解する

それぞれの話し手が、パートナーとの関係にどちらかという「満足しているのか」「不満を持っているのか」を聞き取ります。細かい箇所を気にするのではなく、全体を聞くことが目的です。また、どうしてそう判断したのか、キーワードをメモします。解答例がありますが、いろいろな考えがあつていいので、答えをクラスで出し合い、注目した点を比べてみると、2回目に聞くときの準備になるでしょう。

##### (2) 2回目の聞き:性格や人柄を聞き取る

話題になっている人の性格や人柄を聞き取ります。性格の表現が選択肢になっているので、意味を確認してから聞きます。◆では、聞き取ったことばをヒントに、それぞれの人の人柄や性格について、わかったことをペアやグループで話します。そのあとで、もう一度、確認のために聞いてもいいでしょう。

## (3) 3 回目の聞き:パートナーの呼称を聞き取る

パートナーのことを人前で言うとき、いろいろな呼び方をします。ここで使われているもの以外にもいろいろな表現があるので、ほかに知っているものや、聞いたことがあるものを学習者同士で紹介させてもいいでしょう。なお、③ゆうすけさんは、パートナーのことを「相方(あいかた)」と言っています。この表現は性別を問題にしないため、同性のパートナーにも使える表現なので、ここでは、ゆうすけさんのパートナーの性別はあえてぼかしてあります。

**2** 聞くためのストラテジー (P45)

相手によりくわしい説明を求めたいとき、例をあげてもらえるとわかりやすいです。そこで、ここでは、「たとえば?」という質問表現をとりあげます。「たとえば?」はすでに知っている学習者が多いと思われるのですが、この表現をどんな時に使うと効果的かに注意させます。

## (1) ストラテジーの機能を理解する

①はるなさん、②アンディさんの話から、「たとえば?」を使って、説明を求めている箇所を抜き出してあります。「ちょっとだらしなくて、ルーズな感じ」について、「たとえば?」と質問することによって、「あまり部屋を片付けられない、同じ服を 1 週間着ている」という具体的な内容を引き出している点に注目させます。

## (2) 「具体的な説明を求める」言い方を確認する

まへの(1)と同じ会話を聞いて、「たとえば?」が使われていることを確認します。

## (3) ストラテジーを使ってみる

③ゆうすけさん、④えみさんの人柄について、具体的な説明を求める練習です。質問することによって、相手から具体的な説明が引き出せることを、模擬体験するのが目的です。(★ )の中には、どちらも「たとえば?」が入るので質問するのは難しくありませんが、それに対する話し手の説明は、**1**で聞いた会話には入っていない新しい内容です。ここではじめて聞くので、その内容を理解することも目的です。◆では、わかったことをペアやグループで話して確認します。

**3** 聞いたあとで (P45)

それぞれがよく知っている人について、どんなタイプの人かを考えてみます。教科書は、「あなたのまわりに、ここで話題になった人と似たタイプがいますか。」という質問になっていますが、無理に似た人を探させる必要はありません。それぞれが知っている人について、似ている点、似ていない点を自由に言ってもらってもいいでしょう。または、はじめにメモした「理想のパートナー」について、学習者同士で、もう少しくわしく話し合ってみてもいいでしょう。

**■ 聞いたことをまとめる (P45)**

人柄や性格を表すことばを取り上げてあります。文脈に合わせて、適当な形にすることがポイントです。「⑥好み合う」の「～合う」は「同じ～を持っている」という意味で、「趣味／考え／価値観が合う」のように使えます。また、「⑧(空気みたいな存在)」は比喩表現ですが、それぞれの国ではどのように言うか考えさせてもおもしろいでしょう。また、「でも、⑩(根はいい人)だ」は、いろいろネガティブな内容のことを言ったあとに使うと、まえに言ったことのフォローになる便利な表現でもあります。

## PART 2 会話する「厳しいけど学生思いなんです」

**Can-do 02** 共通の知り合いについて、具体的なエピソードを交えながら、いろいろな視点からコメントし合うことができる。

その場にはいない共通の知り合いについて話すことは、日常生活においては非常によくある場面だと思います。その人の性格を描写したり、印象を話したりするだけではなく、「過去にこんなことがあった」などの具体的なエピソードを交えながら話すことができると、B1らしい話になります。また自分が一方的に話すだけでなく、相手の言っていることを聞いて、それに対してコメントを述べながら、「やりとり」する会話を目指します。

### ● 会話するまえに (P46)

会話は二人が共通して知っている教師について話す内容ですので、その前の質問では、これまでに習ったことのある先生について、どんな先生だったかを簡単に話します。過去の自分の学校や大学などの教師でも、日本語コースの教師でもかまいません。また内容も、いい先生、悪い先生、どちらの話をして大丈夫ですが、文化によっては教師を批判することがタブーの場合もありますので、注意してください。

会話の登場人物の設定は、ジェーンさんが大学で日本語を学ぶ3年生、会話相手のひろ子さんが、同じ大学の大学院で日本語教育を研究する先輩、となっています。ジェーンさんが、先輩のひろ子さんに、大学の日本語の先生について質問している場面です。

### 1 会話の内容を理解する (P46)

会話の流れとして、ジェーンさんは飯塚先生について、怖い、厳しいという、どちらかというともマイナスの噂を聞いていたこと、ひろ子さんは、飯塚先生に対して必ずしもマイナスの印象を持っていないということがわかれば十分です。なお、二人は奥村先生についても話していますが、ここでは飯塚先生についての話にのみ注目して聞きます。

### 2 ことばの形式に注目する (P46)

普通体、丁寧体のスタイルの確認では、この会話が先輩と後輩の会話であることから、ジェーンさんからひろ子さんへは丁寧体、ひろ子さんからジェーンさんへは普通体で話していることに気づかせます。日本の大学でも、先輩と後輩の間のことば遣いは上下関係だけでなく親疎などいろいろな要素で異なってくることもあります。ここでは典型的な先輩、後輩のスタイルを紹介しています。

文法形式を入れる( )は①-⑦と、数がやや多くなっています。また「～って」だけを入れる部分は短いのでかえって聞き取りにくいかもしれません。いずれもディクテーションではなく、形式に注目させることが目的ですので、あまり時間をかけすぎないようにしてください。

この会話では、人の性格を表すことばがいろいろ出てきますので、必要に応じて表にまとめるなどするといいかもしれません。



### 3 会話に役立つ文法・文型 (P47)

文法・文型の項目としては4つにまとめて練習します。そのうち「～って」、「～っていうか／～っていうよりは」、「～ってことだ」の3つが「～って」に関係する項目になっています。もう一つは性格や性質を表す「ところがある」で、ほかの人の話をするときに必要になる表現です。

#### ① Nって (P47)

「～って」の意味や用法はいくつかあり、これまでには「中級1」のトピック5で、人から聞いた話を引用する「文＋って」を学びました(中級1:P120)。ここでは「名詞＋って」の形で、話のテーマを示す題目化の用法を練習します。なおこの用法は、「中級1」のトピック5でも、「～だっけ」の項目で、「～って、～だっけ?(例:今年の試験って、いつだっけ?)」の形で出てきていました(中級1:P121)が、新規の項目としては練習していませんでした。

練習問題では、人物について話すだけではなく、「中級クラス」や「教科書」についても話します。これは、この課の目標である、人について話すという Can-do からはやや外れますが、関連する場面で、いろいろな視点から話をするときに役立つと思われます。多くの場合、「って」は主語を表す「は」で置き換えることも可能ですが、③のようにはそうではない場合もあります。「って」で表される「話のテーマ」は、必ずしも主語とはかぎらないことにも注意しましょう。

#### ② ～っていうか／～っていうよりは (P48)

人を描写するときに、二つ以上のことばを選びながら言うときの表現として使われています。(1)では「A っていうか、B っていうか…」という形で、A の表現も B の表現も同じぐらい当てはまるのでことばが選べないことを示しています。これに対し、(2)では「A っていうよりは B だよな」という言い方で、A の表現よりは B の表現のほうがより適当だと考えて言うときの表現です。

なお、解答ではすべて「～よりは」が使っていますが、「～より」と言ってもかまいません。違いについては、ここでは、とくに触れず、「どちらでもいい」で済ませてしまって問題ありません。

クラスでは、教科書の練習問題のあと、クラスのほかの人について、どんな人かをこの表現を使って言う練習をしてもいいでしょう。

なお、フォーマルな言い方では、「～というか」「～というよりは」が使われるという説明がありますが、ここでは会話練習をすればよいので、その練習をする必要はありません。

#### ③ ～ところ(がある) (P48)

練習自体は簡単な変形練習ですが、「～です」という場合と「～ところがあります」という場合とでニュアンスがどのように違うのか、意識させながら行ってください。ナ形容詞、イ形容詞、動詞、動詞の否定形などいろいろな形がありますので、正確な形が身につくように、練習を追加してもいいでしょう。その場合、この課に出てきた性格を表すことばを使って、人物について描写するような文脈で行うようにしましょう。

#### 4 ～ってことだ (P49)

聞いた話などについて、自分でその意味を判断し、結論としてまとめて言う表現です。学習者の母語や共通語で「つまり」「要するに」などに当たることばを補って考えてみるのもよいかもしれません。練習では、はじめに音声で、ジェーンさんの質問と、それに対するひろ子さんの答えを聞きまします。それを聞いたジェーンさんは、まとめとしてどう結論づけるか、選択肢から適当なものを選びまします。ここでは学習者はジェーンさんの立場で練習することになるので、ひろ子さんの答えのあと、自分ならどう言うか、考えさせてもいいでしょう。最後に、会話全体の音声を聞いて確認します。

#### 4 話すためのストラテジー (P49)

いわゆる「言いさし文」を取り上げます。文を最後まで言わず、途中まで言って、そのあとの判断を聞き手にゆだねる言い方です。聞き手の判断にゆだねることで、断定的で押しつけがましい言い方を避けることができるので、日常会話では非常によく使われます。

練習では、聞き手の立場に立って、どんなことばが続くかを考えます。続く文を考えるだけでなく、このように言われたとき、どう反応すればいいかも話し合ってみるといいでしょう。

ここでは産出の練習は載せてありませんが、クラスによっては自由に行ってみてください。そのとき、言いさしでは文末にどのような形式が使われるか、「～が」「～で」「～から」「～ので」「～けど」などの形に注目して練習してもいいかもしれません。また言いさしの文末に現れる、弱く平らにのぼすようなイントネーションにも注目してください。音声をまねて言うだけでも練習になります。

#### 発音 発音の練習 (P49)

形容詞のアクセントとして、イ形容詞とナ形容詞を合わせて練習します。イ形容詞は平板型と起伏型に分かれているので、下がるか下がらないかに注目して練習します。これらは近年は同じアクセントになる傾向があります(「あかい<sup>1</sup>／しろ<sup>2</sup>い」「あか<sup>1</sup>かった／しろ<sup>2</sup>かった」が、近年では「あか<sup>2</sup>い／しろ<sup>2</sup>い」「あか<sup>2</sup>かった／しろ<sup>2</sup>かった」に変化している)。しかし名詞の前について修飾する場合には、この区別がまだ保たれていますので、ここでは「ところ<sup>2</sup>があります」に付けて練習します。ただし、人によっては名詞の前に付く場合も変化していて、「むずかし<sup>2</sup>いところ」「やさし<sup>2</sup>いところ」などの発音を使っている人もいるかもしれません。練習するときは、教科書の発音と教師の発音が矛盾しないよう、注意してください。

ナ形容詞のアクセントは名詞と同じでいろいろなパターンがありますが、ここでもとくに「下がる」か「下がらない」かに注意して発音練習します。

どちらかというと、「下がらない」形容詞で、高さを高いまま保つ発音が難しいと感じる学習者が多いと思われます。途中で下がらないように注意しましょう。

**5** ロールプレイ (P50)

ロールプレイのまえに、はじめに(1)で、会話を分析的に考えます。ここでは奥村先生について話している部分は無視して、飯塚先生について話している部分だけに注目させます。授業では、この点について明確に指示をしてください。ジェーンさん、ひろ子さんが、それぞれ話している部分を、**A**聞いた話、**B**自分の体験談、**C**自分の考えや判断に分けます。**A**では「って聞いた」「～みたい」などの伝聞や推量の表現、**C**では「～かも」という、自分の考えをやわらかく言う表現や、「～なんです」「～ことだよ」など判断を言う表現が使われていることに気づかせます。

(2)①のロールプレイでは、(例)の続きとして、会話に登場した奥村先生について話すロールプレイをします。「ジェーンさん、ひろ子さんと同じ大学で勉強している学生」になったつもりで行うロールプレイですから、まだ制約の強い、練習としてのロールプレイと言えます。奥村先生は架空の人物なので、会話本文に出てきたキャラクターとして話してもいいですし、学習者それぞれが自由に人物を設定して話してもかまいません。

そのあと、②で実際の人について話します。共通の知り合いについて話す設定ですから、対象となる人物は、日本語クラスの関係者になる可能性もあります。盛り上がりはいいですが、知っている人について話したくない、あるいは先生のいないところで先生について話すことは失礼になるなど、そのようなシチュエーションでは話しにくいという場合もあるでしょう。そのようなときは、②でも下のイラストなどを参考に、架空の人物を設定して話す練習にしてもかまいません。また、その国では誰でも共通して知っているような有名人について話すという練習にしてもいいでしょう。

## PART 3 長く話す「すごくおもしろいですよ」

**Can-do 03** 自分がよく知っている人について、具体的なエピソードを交えて、その人の人柄をある程度くわしく説明することができる。

職場やクラスなどで、「○○さんって、どんな人？」と質問されたとき、具体的なエピソードを交えて説明できると、その人の人柄や性格がよく伝わります。ここでは、そのように、ある特定の人についてくわしく話せるようになることを目指します。

### ● 話すまえに (P51)

職場やクラスの友人、家族など、周りの人について、どんな人か考えます。よく知っている有名人について話してみてもいいでしょう。

### 1 モデル会話を聞く (P51)

渡辺さんは、今度、レナさんという人と同じチームで働くことになりました。渡辺さんはレナさんのことを知りませんが、ベリンダさんは、以前にレナさんといっしょに仕事をしたことがあります。そこで、渡辺さんは、ベリンダさんにレナさんの人柄を質問してみることにしました。モデル会話を聞くまえに、①-③の設問の内容を確認しておきます。③の該当箇所は具体的なエピソード部分なので長くなりますが、だいたいの内容がわかれば十分です。

### 2 表現の確認 (P51)

「性格・人柄について言う」表現の中で、「～難しいところがあるかな」はPART 2でも取り上げましたが、「難しい人だ」というよりも曖昧でやわらかい印象を与えます。そのため、相手の欠点を指摘するときなどによく使われます。

「感情を交えながら、エピソードを話す」の部分では、「⑨(はじめ)は、なかなかわかって⑩(くれなく)て、……」「⑪(最後)は、やる気になって⑫(くれた)……」の「～てくれる」の用法に注意してください。「仕事を手伝ってくれた」のように直接的に恩恵を受ける「～てくれる」と少し違い、前者は期待がはずれたときの残念な気持ちを、後者は期待通りになったときのうれしい気持ちを表現しています。このような表現が使えると、感情を上手に表現できるようになるでしょう。

### 3 モデル会話の確認とシャドーイング (P52)

スクリプトを見ながら聞いて、内容と表現を確認します。「ひとことで言うと～」は、全体的な印象を簡単に述べるときの便利な表現です。また、いいところを述べる「すごくおもしろい人」に対して、悪いところを述べる場合は、「ちょっと、頑固で難しいところがあるかな。」と曖昧な言い方をしているのは、日本語の配慮表現の一つです。

また、最後まで言わないで終わらせる「彼女の企画が通らなくて…。」(PART 2「話すためのストラテジー」P49 参照)の言い方、「私は好きですよ、彼女のこと。」のような倒置表現は、話しことばの特徴として注目させるといいでしょう。

## ◆ シャドーイング

「中級2」ではじめてシャドーイングを経験する学習者の場合は、はじめはスクリプトを見ながら繰り返し、何回か練習したあとで、最後はスクリプトを見ないでというように、段階的に進めるといいでしょう。また、すでに、シャドーイングに慣れている学習者の場合は、発音などにも注意しながら、自然なスピードで言えるようになることを、「中級2」では目標にするといいでしょう。

## 4 再話する (P52)

メモを見てレナさんの人柄について話します。この練習は、5で自由に人を紹介するための準備としての練習という位置づけです。

ここでは、①いいところ、②困るところの順で話しますが、①と②のそれぞれについて、「性格・人柄」に「エピソード」を加えながら話すことに注意しましょう。両者の関係をわかりやすくするために、メモでは、「性格・人柄」と「エピソード」を⇒で示してあります。

「中級1」と同様、この活動の目的は、自分でことばをつないでまとまりのある話ができるようになることなので、スクリプトの通りに言わせる必要はありません。まず、メモを見て話してみる、そのあとで、わからない点があれば、スクリプトを見たり、音声を再度聞いたりして比べてみる、という練習の仕方が効果的でしょう。スクリプトと比べるだけでなく、ペアやグループで、お互いの言い方を観察し合うと、いろいろな言い方のバラエティがあることに気づくかもしれません。

一度に全部のメモの情報をまとめて話すのが難しい場合は、①だけ、②だけというように、少しずつやってみてもかまいません。学習者の状況の合わせてください。このような練習を続けることによって、「中級2」の終わりまでには、頭に浮かんだことをつなぎ合わせて、ある程度の長さの話が無理なくできるようになることを目指します。

## 5 自分のことを話す (P53)

## (1) 話したい内容を整理する

自分のよく知っている人についてほかの人から質問された場合、その人の特徴や人柄がよくわかるように説明できることが目標です。話題にする人は、友人や家族など誰でもいいですが、実際の場面に近づけるためには、話し手と聞き手の間にインフォメーション・ギャップが必要です。そこで、クラスで練習する場合は、クラスメイトがよく知らない人を選ばせた方がいいでしょう。

メモを作るとき、①いいところ、②困るところに分けて、わかりやすいエピソードを考えます。何か一つ、少しくわしいエピソードを入れるように促してください。

## (2) 話す

ここでは、聞き手から「〇〇さんって、どんな人ですか？」と質問する形式になっていますが、練習では、話し手が自分で選んだ人について話すことになります。そこで、会話を始めるまえに、どんなシチュエーションで誰について話すのかをペアで確認してから、練習するようにします。なお、場合によっては、話し手「〇〇さんって、おもしろい人なんです。」、聞き手「へー、どんな人なんですか？」のように、話し手から会話を切り出してもいいでしょう。

話が終わったあと、聞き手が話題になっている人の人柄がよくわかったら Can-do 達成です。聞き手役の学習者に、どんなところがわかりやすくて、反対にどんなところがわかりにくかったかコメントさせるといいでしょう。また、わかりにくいと言われた箇所はどんなふうに変えればいいのかなど、学習者自身で振り返る機会を与えることが大切です。Can-do チェックでは、巻末の「学習記録シート」の評価のポイントにあるように、具体的なエピソードを交えて話せたかどうか、チェックします。

## PART 4 読んでわかる「書道でコミュニケーションを」

**Can-do 04** インタビュー記事を読んで、その人がどんな人物かが、ある程度くわしく理解できる。

人を紹介する記事には、新聞・雑誌などいろいろな種類のものがありますが、海外で接する機会があるものとしては、日本人向けのコミュニティ誌などに、その国に暮らす日本人を取材した記事が載っていることがあります。このようなインタビュー記事には、その人の略歴、その国での生活や仕事の様子などが書かれています。具体的な内容が中心なので、B1 レベルの学習者にとって、比較的理解しやすい素材の一つです。また、日本人にかぎらず、自国に住むいろいろな背景の人の存在を知ることは、異文化理解のきっかけにもなるでしょう。

### ● 読むまえに (P54)

その国に住んでいる日本人について、職業、滞在歴、その国にいる理由など、自由に話すことによって、いろいろなタイプの日本人がいることに気づくことが、ここでの目的です。

### 1 内容を理解する (P54-55)

設問は(1)－(6)まで分かれていますが、(1)では全体をざっと読み、(2)－(6)ではそれに該当する部分をくわしく読んでいきます。

#### (1) 1 回目の読み: 全体に目を通して、話題の人のプロフィールと人柄を理解する

記事の中身を読むまえに、見出しや小見出し、写真だけを見て、どんな内容の記事か、どこに何が書いてあるかなど、全体構成を把握するように促します。そのあとで、全体をざっと読んで、だいたいどんな内容が書いてあるかを把握することが、このねらいです。

「どこで何をしている人ですか」という質問では、最初の「プロフィール」の部分に注目させます。二つめの質問の「この記事を書いた人は、林さんをどんな人だと思っていますか」は、どこに書いてあるか探るのが少し難しいかもしれません。このような場合、筆者のコメントは記事の最後の方に書いてあることが多いことに注目させます。そして、最後の段落「自宅にずらりと並んだ……」から人柄に関する記述を探し、「優しい、あたたかい」が見つけられればいいでしょう。教師は、必要に応じて、「どこに書いてあると思いますか？」など、文章構成のスキーマを活性化させるような質問をしてみてください。

#### (2) 2 回目の読み: ある部分をくわしく読む①「書道教室を開くまでの経験」を理解する

小見出しから「留学での経験から書道教室を」の部分に書いてあるだろうということが予測できますので、そこを読むように誘導します。選択肢になっている出来事の前後関係がきちんと理解できているか確かめてください。

(3) 2 回目の読み:ある部分をくわしく読む②「書道教室を開くことになったきっかけ」を理解する  
 前の(2)の部分が全体として理解できているかどうかを確認するための質問です。アメリカでホストファミリーに筆で文字を書いて見せたら喜ばれた体験が林さんにとって印象的であったということが理解できていれば答えられるでしょう。

(4) 2 回目の読み:ある部分をくわしく読む③「林さんのとまどい」を理解する  
 小見出しから「とまどいからはじまった書道教室」の部分に書いてあるだろうということを予測させて、そこを読ませます。わからない表現があっても、とまどったことの内容が把握できれば十分です。

(5) 2 回目の読み:ある部分をくわしく読む④「林さんの考え方の変化」を理解する  
 前の(4)の質問の背景を考えるための質問です。林さんのとまどいの背景には、林さんの書道に対する日本的な考え方がありますが、オーストラリア人の生徒に接してその考え方が変化していきます。ここでも、わからない表現はあまり気にせず、考えがどう変わったのか(何を重視するようになったか)に注目させるように促してください。そうすれば、空所 a と b に入ることは見つかるはずで

(6) 2 回目の読み:ある部分をくわしく読む⑤「書道の魅力」を理解する  
 ここまで設問にしたがって読んでくると、「書道の魅力」は、「書道を通じた交流」のところに書いてあることが予測できると思います。そして、「交流」ということばがキーワードになりそうだということに目星をつけ、書道と交流の関係を考えながら読んでいくと、林さんが書道の魅力だと思っていることは、上手な字を書いたり作品を作ったりすることではなく、書道をしながら質問したり、日本について話したりすること、すなわち、コミュニケーションだということがわかるでしょう。

学習者がすぐに答えが見つけれないときは、文章を一字一句解説するのではなく、「現在、林さんの書道教室はどうですか?」「林さんは、インタビューで何と言っていますか?」「林さんは、書道を教えていて何が楽しいのでしょうか?」「書道がどうして交流につながるのでしょうか?」など、教師は、適宜、補助的な質問を工夫し、学習者自身で答えが見つけれられるよう働きかけてください。

なお、巻末の解答例は例にすぎないので、わかったことを学習者がそれぞれのことばでまとめられれば、それでかまいません。

## 2 読むためのストラテジー (P55)

記事のレイアウト、ここでは、とくにフォント・字体の違いに注目することによって、記事の全体構成について把握し、どこにどんな情報が書かれているかを予測しながら読むことを、ストラテジーとして取り上げています。このインタビュー記事は、インタビューのテーマ、本人のプロフィール、インタビューで得た情報、インタビュアー／書き手の説明やコメントなどから構成されていますが、それぞれが異なるフォント・字体、サイズの文字を使って表現されています。そこで、このような違いに注目することによって、記事の構成をすばやくつかむことができることを確認してください。



### 3 読んだあとで (P55)

外国に住む機会があったら、自国の文化や習慣などを伝えるためにどんなことがしたいか、そのとき、どんなことを重視したいか、ペアやグループで自由に話し合います。その際、教えるだけの技量があるかどうかとか、ビザをどうするかなど、現実的な問題についてはあまり触れる必要はありません。

### 4 読むのに役立つ文法・文型 (P56)

#### ① ～と、～ (P56)

「普通体＋と、～」の形で使われる引用表現の一種です。「～と(言って)、喜ばれた」、「～と(考えて)、書道教師にやってくる……」の「言う、考える」の部分が省略された表現だとも考えられます。このような表現には、ほかにもいろいろな例がありますが、ここでは、例文の意味が理解でき、設問「あの人は、( )と、日本への留学を決めた。」の空所の部分に、話し手の思考内容を入れられれば十分です。

#### ② ～という (P56)

「普通体＋という」の形で使われます。伝聞の「～そうだ」と同じ意味・機能の表現ですが、インタビュー記事などの書きことばで使われ、話しことばでは一般に使われない点に注意してください。

#### ③ Vたばかりだ (P56)

「動詞タ形＋ばかりだ」の形で使われ、何かが終わってすぐだということを強調する表現です。「日本語を始めたばかりなので、むずかしいことはよくわからない」「食べたばかりなので、お腹が一杯なんです」などのように、言い訳をしたり、断る理由を言ったりするときにもよく使われます。知っている学習者も多いと思いますが、使えると便利な表現の一つなので、ほかの例文を使っているいろいろと練習してみてもいいでしょう。

#### ④ V(ら)れる (P56)

形は受身形と同じですが、「感じられる、思われる、思い出される、考えられる、期待される」のように、自然にそうなることを表したいときに使われます。体験談やエッセイ、インタビュー記事などを読んでいると、触れる機会が多いでしょう。ここでは、例文の意味がわかり、設問の空所箇所についていくつか例があげられれば十分です。

### 漢字のことば 漢字の整理 (P56)

インタビュー記事の中に出てきた漢字です。これらのことばが本文のどこに出てきたかを確認し、読み方、意味を確かめたあと、キーボードで入力するなどの練習をしましょう。

◆ 漢字を手がかりにことばを増やしたり整理したりする

「印象」は名詞ですが、的をつけると「印象的な作品、(その人の話しは)印象的だった」のように形容詞になります。伝統的、社交的、個性的、具体的、現実的、理想的、経済的、科学的…など、主に2字の漢字のことばにつくことが多いです。ここでは、ことばをたくさんあげることが目的ではなく、学習者が自律的に漢字を整理したり増やしたりできるようになるための、きっかけ作りと考えてください。

**PART 5 書く「友達紹介のメール」****Can-do 05** 知人に、自分の友人の人柄や好みなどを、ある程度くわしく紹介するメールを書くことができる。

ねらいは、人についてある程度くわしく説明できるようになることですが、ここでは、知り合いを日本人に紹介するという設定になっています。B1 レベルですから、その人の趣味や興味、人柄などがわかるように、ある程度くわしく書けるようになることを目指します。

**1 書く (P57)****(1) 書くための準備**

メールの例を読んで、まず、ローラさんが友美さんに、トニーさんを紹介しているメールだということを確認します。なぜ、ローラさんが二人を紹介しているのかを自由に話し合わせてもいいでしょう。また、誰かに人を紹介するには、ほかにどんな場面があるか考えさせてもいいかもしれません。ここでは、トニーさんについて、自分との関係、職業、性格や人柄、趣味や好きなことなどが書かれていることを理解させます。なぜ、トニーさんを紹介しているのか(二人の共通点)に注目させると、実際にメールを書くときの参考になるでしょう。

また、(2)で書かせるまえに、メールの構成:呼びかけ、あいさつ、用件の切り出し、内容、あいさつ、も簡単に確認しておくといいでしょう。

**(2) メールを書く**

誰を誰に紹介したいか、できるだけ、具体的な友人を思い浮かべて書かせるようにしてください。単なる友人紹介ではなく、設定を、「恋人を探している友人に、自分の知り合いを紹介する」「シェアメイトを探している知り合いに、自分の友人を紹介する」など、学習者の興味や状況に合わせて工夫させてもいいでしょう。

**2 書いたあとで (P57)**

クラスで、お互いのメールを読んで、学習者同士でコメントし合います。紹介されている人についてよくわかったかどうか、ほかに知りたい情報がないかどうかという観点からコメントし合うといいでしょう。

## 教室の外へ

### わたしだけのフリース (P58)

自分が知っている人について「どんな人？」を言うための表現で、足りないものをメモをしておきます。具体的に、自分は誰について話すか、というのを想像しながら考えると、それを言うのに必要な、テキストには出てこなかったことばもいろいろ出てくると思います。性格や人の特徴を表すことば、それについてコメントするときの言い方などをまとめておくといいでしょう。

### 教室の外の活動のアイデア

#### ①

WEB 上の質問に答えていくと、自分の性格を診断してくれるサイトがいくつかあります。簡単な数問の質問で診断を出すものから、非常に本格的な性格診断まで、いろいろなものがあります。日本では「エゴグラム」や「16Personalities」などが、SNS でよく紹介されていますので、「性格診断」の代わりにこれらの語を検索してもサイトが見つかると思います。ただし、日本人向けに作られたこうしたサイトは、日本語がかなり難しい場合が多いので、「教室の外」として自分でやらせる以外に、教室で適宜教師が解説しながら一斉に行うなどの方法もあるでしょう。

#### ②

「理想の上司」「理想の夫」などは、週刊誌などでときどき行われるアンケートで、その結果がいくつか WEB 上にも紹介されています。検索することで、こうしたアンケートが見られます。日本のアンケートの場合、日本の有名人がランクされることになるので、その人のことを知らないあまり楽しめないかもしれません。その場合、自分の国の有名人なら誰になるかなどを考えたり、教室で話したりするのもいいでしょう。

知り合いの日本人に聞いてみる場合は、それがどういう人かについても説明してもらおうと思います。

#### ③

Wikipedia の項目の中で、映画、小説、アニメ、テレビ番組、マンガなどを説明した項目には、多くの場合、「登場人物一覧」として、それぞれのキャラクターの説明が書かれています。自分が知っているキャラクター、好きなキャラクターなどについて読んでみて、そこに使われていることばが自分のイメージと合っているかなどを考えてみるいいでしょう。

日本の作品でなくても、自国の作品のうち日本語でも項目があるものなどを使うこともできます。古典的な文学作品などにもたいいは登場人物の項がありますので、自国でよく知られた作品で見てもおもしろいかもしれません。

## 4

世界の多くの国には、その国に在住の日本人に向けた、日本語新聞やコミュニティ誌があります。そこにはときどき、現地に住む日本人にインタビューした記事が載っていることもありますので、これを読んでみるという活動です。PART 4 は架空のものでしたが、「教室の外」ではその本物を読みます。

身近な日本人のインタビュー記事を書く活動は、母語話者を呼んだインタビューセッションなどで行ってもいいでしょう。書いたものをクラスでシェアするなどすれば、意味のある活動になります。

## トピック2 富士登山

富士山は世界遺産に登録されており、日本人だけでなく、外国人の登山者も増えています。また、登山にかぎらず、山や海など、大自然の中で過ごす楽しみや自然の魅力について語ることは、国や文化を越えて共通するトピックと言えるでしょう。ここでは、さまざまな観光地について、雑誌やインターネット、友人や知人から情報を収集したり、それについて意見を交換したり、自分の経験を発信できるようになりたいことを目指します。

### ◎ 扉／準備

#### ● トピックについての質問 (P59)

扉の写真は、富士山と、富士山周辺にある観光地(温泉、遊園地)、食べ物(ほうとう)の写真です。このトピックでは、富士山を一つの観光地の例として取り上げているだけで、富士山そのものについて語ることが目的ではありません。ですから、準備では、扉の写真について知っていることを話し合うのではなく、質問にあるように、それぞれの学習者にとって馴染みのある山や海、森や川などの自然、また、登山やキャンプなど、そこでの過ごし方について、これまでの体験や好きなことなどを話し合います。

#### 1 写真やレアリアを見る (P60)

日本の自然の中から、そこでのアクティビティが思い浮かべられるような 5 つの写真を選びました。写真を見て、選択肢を手掛かりにどんな楽しみ方があるか、自由に考えます。自然の中での過ごし方を考え、これよりあとの活動に繋げるのが目的です。

それぞれの場所について授業で解説をする必要はありませんが、以下に簡単な情報を載せておくので参考にしてください。インターネットで検索すると、写真やいろいろな情報が載っているので、興味のある学習者には自分で調べてみるように促すといいでしょう。また、自分の国での同じような場所について考えてみる活動も可能です。

- ① 北アルプス: 富山県、長野県、岐阜県に連なる 3000m 級の山脈。夏のシーズンには多くの登山客で賑わう。
- ② 天竜峡: 長野県にある川の渓谷。船に乗って川を下る「天竜ライン下り／川下り」があり、四季折々の風景が楽しめる。
- ③ 屋久島: 鹿児島県にある島。鹿児島空港から飛行機で 30 分程度。島全体が美しい森で覆われ、とくに、日本最古の縄文杉があることで有名。宮崎駿(みやざきはやお)のアニメ『もののけ姫』のモデルになったとも言われている。
- ④ 竹富島: 沖縄県の離島の一つ。沖縄本島にある那覇空港から石垣島に渡り、石垣島から船で 10 分程度。青い海はもちろん、沖縄の昔風の民家が残っていることでも有名。

⑤ 白樺湖:長野県の蓼科高原にある人工の湖。貸しボートやスケート場などの娯楽施設が整えられ、リゾート地として知られる。

なお、ここはあくまでもさまざまな自然やそこでの活動について考えることが目的ですので、解答も「例」に過ぎません。「湖でも泳いだり潜ったりできるのではないか?」「海の空気は新鮮ではないのか?」など、事実関係について真剣に議論する必要はありません。

### 文化 文化について考える (P60)

**1** の写真を見ながら、日本の自然と自国の自然の相違点を考えてみます。海や川といった同じことばでも、国によってイメージが異なることに気がつくと思います。さらには、それぞれの場所での過ごし方について、**1** の選択肢 a-h のことばを手がかりに考えさせてみると、人間と自然との関係が国や文化によってさまざまであることにも気づくでしょう。

### 2 語彙や表現の確認 (P61)

自然の魅力を語るときに使う表現を紹介しています。選択肢になっている表現だけでなく、「日常生活を離れる」「自然の中にいると落ち着く」「一日中ごろごろする」「心からリラックスできる」「無理して休みを取る」などの言い方にも、注意しておきましょう。

#### ◆ 赤字の言い方に注目しましょう

(A)「二つのものについて言う」表現:「～も～も、どちらも～」。両方とも、「～も～も、どちらも好き／好きじゃない」のように、肯定でも否定でも使えます。

(B)「一つだけについて言う」表現:「どっちかという～、～派」。「どっちかという～」は「はっきりとは言えないが、あえてどちらかに決めなければならないなら」という意味を表したいときに使います。「～派」は、「私は山派／アウトドア派」のように二つ以上のものから一つを選んで言うときに使いますが、限定的な用法なので、意味がわかれば十分です。

また、赤字にはしてありませんが、「～ならでは」は、「人と人の出会いは、山ならではですね。」のように、そこにしかない特徴を表したいときに使います。ここでは意味がわかれば十分なので、あまりくわしく説明しなくてもいいでしょう。

### 3 その他の活動 (P61)

富士登山のパンフレットを見て、スケジュールや見どころを確認します。これは、このあとPART 1、PART 2 の活動で富士登山の話が出てくるので、その準備活動の意味もあります。わかることを自由に話し合せてもいいですし、「何日間のツアーですか?」「季節は?」「富士山まではどうやって行きますか?」「頂上まで、何時間かかりますか?」「1日目はどこに泊まりますか?」「富士山を下りたあと、何をしますか?」「3枚の写真はスケジュールのどれと関係していますか?」のように、内容理解の助けになるような質問を教師が用意してもいいでしょう。

富士山は、夏の7月、8月が一般登山者でにぎわいます。一般登山者向けにはさまざまなツアーがあり、東京からは、新宿発の1泊2日のバスツアーが便利です。このパンフレットにあるように、新宿から高速道路を利用して、富士スバルライン(有料道路)を通り、富士山5合目(富士山は、下から1合目、2合目のように数え、山頂が10合目になる)に昼頃到着。そこから登り始めて8合目の山小屋で宿泊。翌朝、夜明け前に登山を再開し、日の出前に山頂に到着して、ご来光を見るというのが、一般的です。下山後の楽しみ方もいろいろで、このツアーでは、近くの温泉に入り、「山梨名物のほうとう」を食べることになっています。「ほうとう」というのは、うどんに似た幅の広い麺を、野菜や肉などといっしょに味噌で煮込んだ料理です。温泉、ほうとうの写真は扉にあるので、参考にするといいでしょう。



## PART 1 聞いてわかる「富士山に勝る山はない」

**Can-do 06** 旅行の経験談を聞いて、観光地の特色や旅行のアドバイスが理解できる。

はじめての場所へ旅行するまえには、ガイドブックなどを見たり、それについて知っている人に聞いてみたりすることがあります。そこで、ここでは、知り合いに富士登山について質問して、登山の魅力、気をつけた方がいいこと、下山後の楽しみや周辺情報など、情報収集している会話を聞きます。そして、旅行のまえに、このような会話からの情報収集ができるようになることを目指します。また、経験やアドバイスは、人によって異なります。情報の違いを頭の中で整理しながら聞けるようになることも、ここでの目的です。

### 場面・設定の確認

ある国の職場などで、同僚や友人などと歓談している場面です。夏休みに日本旅行に行く人が質問しています。「富士山に登りたいなって思ってるんですけど…」とパンフレットを見ながら話している男性(聞き手、外国人)の立場になって聞きます。

#### ● 聞くまえに (P62)

富士山に登ってみたいと思うか、そう考える理由はなぜかなど、自由に話し合います。それによって、登るかどうかを決めるときに自分が必要な情報が何かに気づき、より積極的に聞けるようになることがねらいです。

#### 1 内容を段階的に理解する (P62)

(1) では、誰がどんなことを話しているかをざっと聞き、(2)と(3)でくわしい情報を聞き取ります。なお、慣用的な表現の意味の確認は、次の2聞くためのストラテジーで行います。

##### (1) 1回目の聞き:富士登山の経験の有無を聞き取る

4人の話を聞いて、それぞれに富士登山の経験があるかどうか、また、いつのことについて話しているかを聞き取ります。

##### (2) 2回目の聞き:話題にしていることと、その内容を理解する

4人それぞれが何について話しているのか、選択肢を手掛かりに、話題の違いを理解します。4人の中には、登山体験そのものについて話している人もいれば、周辺の観光地の情報などについて話している人もいます。少くくわらないことばがあっても、話題をとらえるような聞き方ができるようになることが、ここでのねらいです。

◆では、もう一度聞いて、先に選んだ話題についてどう言っているか内容を聞き取り、わかったことをほかの人と比べます。もう一度聞かせてもかまいません。最後に、クラス全体でわかったことを簡単に確認するといいいでしょう。

教科書の写真(左)は、富士山とその下に広がる樹海、写真(右)は頂上(剣ヶ峰)です。「樹海」というのは、木が海のように広がっている地域を意味しますが、ここでは富士山麓の「青木が原樹海」を指しています。樹海の中は、遊歩道が整備されており入ることもできますが、深い森のため、遊歩道をはずれると、元の道に戻ってくるのが難しいとも言われています。

### (3) 3回目の聞き:アドバイスを理解する

4人それぞれの話の中から、おすすめのポイントや気をつけたほうがいいことなど、アドバイスを理解します。アドバイスにはいろいろな表現形式があります。「～まで行かないとね」(木下)、「～ぜひ試してみてくださいね」(アニタ)、「私のおすすめは、～」(加藤)などの直接的な言い方だけでなく、「天気もよくなって、…すごく寒くて…T シャツと短パンで来た人がいて、山頂で死にそうになってましたね」のような体験談から、気をつけたほうがいいことを把握できるようになることも、ここでのねらいです。

## 2 聞くためのストラテジー (P63)

熟語や慣用表現など、あまり聞き慣れない表現があったときに、相手に質問するストラテジーを練習します。実際の言い方にはバラエティがありますが、ここでは、「それって、どういう意味ですか?」「～って、どういう意味ですか?」の、いちばんよく使われる形だけを取り上げてあります。

### (1) ストラテジーの機能を理解する

①木下さんの話の中の「富士山に勝る山はない」、②田村さんの話の中の「寝返りも打てなくて」というところで、聞き手はこの表現の意味がわからず質問しています。この質問のストラテジーの使用箇所を聞いて、聞き手が、それぞれの表現の意味を話し手から引き出していることを確認します。

### (2) 「表現の意味を説明してもらおう」言い方を確認する

上の(1)と同じ会話部分をもう一度聞いて、聞き手が何と言って質問したかに注目します。ここで、取り上げた言い方は2種類ですが、①の「それって、どういう意味ですか?」は、意味を説明してほしいときに使える便利な表現です。

### (3) ストラテジーを使ってみる

③アニタさん、④加藤さんの話の一部を聞いて、ポーズ(★)のところでわからない表現の意味を質問してみます。ここでは、「ああ、極楽」「浮世絵にもなるぐらい」の意味がわからないという設定になっています。教科書の(★)のあとの……には、話し手の説明が入りますが、この部分は1で聞いた話の中には入っていないので、ここではじめて聞くことになります。質問によって相手から説明を引き出せることを、模擬体験をさせることがねらいです。

このあと◆では、(★)に質問の言い方が入った例を聞いて、自分の質問の仕方と比べてみます。例では「～ってというのは、どういう意味ですか?」、「それって、どういう意味ですか?」となっています。

すが、それと違っていてもかまいません。最後に、それぞれの表現の意味がわかったかどうか、クラスで確認してください。

なお、教科書の富士山の絵は、葛飾北斎の『富嶽三十六景』の中の一枚です。

### 3 聞いたあとで (P63)

4 人の経験談を聞いたあと、富士登山についての考えがはじめとどう変わったかを話すといいいでしょう。どんな情報からそう考えるようになったか、聞いた内容と関係付けて考えられるようにしてください。

### ■ 聞いたことをまとめる (P63)

解答例になっている「眺め」以外はすべて動詞です。前後の文脈に注意して、形を考えさせてください。「(⑤死にそう)になっていた」の「V そうになる」は、トピック 6、PART 4 (P146) で取り上げますので、ここでは「死にそうになる」がとても大変だったことを表していることがわかれば十分です。

## PART 2 会話する「ご来光はやっぱり見たいしね」

**Can-do 07** 友達と旅行の計画を立てるために、自分の希望を言ったり、相手の意見を聞いたりして調整できる。

富士登山とその周辺の観光予定について、三人で計画を立てる会話です。自らプランを提案したり、ほかの人の提案に賛成／反対したりしながら、お互いのコミュニケーションによって、計画を作っていきます。会話では日本に旅行に行って富士山に登るという大がかりな計画になっていますが、この「複数の人で話し合っただけで計画を立てる」という Can-do は、自分の国の旅行でも、また旅行でなく簡単な遊びの計画などにも応用ができますので、もし日本旅行が現実には難しい国などの場合でも、モチベーションをなくしてしまわないよう配慮にしてください。

### ● 会話するまえに (P64)

はじめの質問は、旅行に行ったらどんなことをするのが好きかという質問です。会話では富士登山のことを話しますが、そのあと温泉に入ったり、地元の名物料理を食べたりする計画を話しています。旅行の計画を立てる上で、学習者それぞれがどんなことに興味を持っているか、あらかじめ話しておくことで、頭を準備しておきます。

会話は、韓国人2人、日本人1人の計3人の会話で、3人の共通語が日本語であるという設定です。会話の場所は日本ではなく、韓国のどこか(キムさんの部屋など)であるということに注意してください。キムさんと山崎さんが昔からの友人同士で、キムさんとバクさんが同じ会社の先輩後輩という関係です。

### 1 会話の内容を理解する (P64)

①の富士登山のコースは、一日で登るのではなく山小屋に泊まるコースということがわかればよいでしょう。「8 合目」「ご来光」などのキーワードが難しいかもしれません。「準備」には出てきましたが、必要に応じて「何をみますか？」などのように、確認しながら進めてください。②の、山から下りたあとの行動は、レンタカー、温泉、ほうとう、風穴、氷穴、紅葉台、遊園地などいろいろなことばが出てきますので、何が聞き取れたか、クラスで確認し合うといいでしょう。その日に帰らないで、もう1泊するというのをチェックします。

山小屋、剣ヶ峰、ほうとう、温泉、紅葉台などについては、「準備」やPART 1「聞いてわかる」に出てきましたので、前にやっていたら思い出すことができますが、このパートだけを独立してやるときは、説明を加えてください。なお、本文 P65 のイラストだけを見せ、これを手がかりにしながら聞く活動にしてもかまいません(イラストは、滝、氷穴、温泉、遊園地を表しています)。

## 2 ことばの形式に注目する (P64)

はじめに(1)で、3 人のことばのスタイルを確認します。2 人の韓国人キムさん、パクさんのうち、キムさんは年上で日本人の山崎さんと同年代の友達同士、パクさんは3 人のうち1 人だけ若いので、ここではキムさんと山崎さんが終始普通体で、パクさんだけが、2 人に対して丁寧体で話しています。もちろん実際には親疎などによってさまざまなパターンがあり得ますが、ここでは年齢の違いがスタイルの違いに影響するということを説明します。

なお、この「中級 2」は、「中級 1」よりも普通体の会話もいっそう多く取り入れてあります。とくに「中級 2」の会話では、ここでキムさんのパートのように、外国人側が普通体を使って話す会話も増えています(「中級 1」ではトピック 5 のみ)。クラスの学習者には、場面や人間関係に応じて普通体でも自然に話せるようになることを、目標として意識させるようにしてください。

会話に出てくる富士山周辺の観光地は、学生の興味に応じて適宜紹介してもいいかもしれません。これらの写真は、扉、PART 1、PART 4 などにもいろいろありますので、それらを使うこともできます。

## 3 会話に役立つ文法・文型 (P65)

提案したり、それにコメントしたりする表現を学びます。提案する表現のうち、「V ませんか?」「V ましょう」という文型は、すでに「入門」で学習しました。また会話では、「V ませんか?」の普通体の言い方として、「V ない?(泊まらない?)」という言い方も使われています。この言い方は文法項目としては取り上げていませんので、必要に応じてここで確認してください。

### ① V ないこともない (P65-66)

「可能性があることを示す」としましたが、どちらかというと、「可能性がゼロではないが、あまりいい選択肢ではない／おすすめでできない」というニュアンスです。練習自体は動詞をこの形に変えて入れるだけですが、このニュアンスを文脈で確認しながら行ってください。

### ② V ないわけにはいかない (P66)

この文型自体は文脈によっていろいろな意味に使われ、たとえば「大学に入るためには勉強しないわけにはいかない」など、仕方ないから嫌々でもやる、という場合もあります。しかしここではそうした意味ではなく、「絶対に外せない」という積極的で強い意志を表す言い方として練習します。日本のいろいろな観光地で、絶対に外せないおすすめのことは何か、写真を見ながらこの表現を使って言ってみてください。

◆の「ほかにもいろいろ考えて…」の部分では、①から⑤の場所について言ってもいいですし、自分の知っている場所について、自由に言わせてもいいでしょう。もちろん日本だけでなく自国の観光地や、外国の有名観光地などを使ってもかまいません。とくに日本に行ったことがある人となない人でやる気に差が出てしまいそうな時には、柔軟に対応してください。

なお、解答例では、文末をすべて「～ないですよね？」としてありますが、ここは「～ないですよ」「ないでしょう」など、自由に変えて言っても大丈夫です。できるだけ自然な会話の雰囲気ができるようにしてみてください。

(参考)

- ・兼六園:金沢にある庭園。日本三名庭園の一つとして有名な観光名所。
- ・舞妓体験・侍体験:京都でのアトラクションの一つ。舞妓や侍の衣装を着て写真が撮れる。舞妓体験では街を歩いたり、侍体験では剣術のレッスンを受けたりすることもできる。外国人観光客に人気。

### ③ Vしかない (P66-67)

この文型も、「ほかに選択肢がないから仕方なくする」という意味の場合と、「この状況で、しないなんて考えられない／絶対するべきだ」という積極的な意味の場合があります。本文で使われているのは後者の意味ですが、ここでは両方を練習します。①-③は「仕方なく」することについて言う場合、④と⑤は「積極的に」することについて言っています。

練習は、自分が絵の中にいると仮定して、相手の言ったことに対して答えを言う練習です。はじめに音声を聞き、その音声に対する答えを完成させます。なので、絵の下に書いてある文は、音声に対する答えのほうですので、混乱しないようにしてください。

### ④ Vのはどう(ですか)? (P67)

提案をする表現です。「ませんか」や「ましょう」と比べると、まったく新しいことを提案するのではなく、すでに何かすることが決まっていて、その内容について選択肢を提案するようなニュアンスがあります。たとえば「山中湖でボートに乗るのはどう?」は、すでに富士山周辺にいて、これから何をするか話し合っている時に言っているイメージです。

練習では普通体の意向形から「～のはどう?」の形に変化させます。意向形がまだ十分に定着しない場合は、ここでまず確認してもいいかもしれません。普通体ではなく「～のはどうですか?」と丁寧体で言う練習をしてもいいでしょう。なお、クラスでどこかで何かをするという状況を決めて、行き先を自由に提案するという練習を入れてもいいかもしれません。

「民宿」「アウトレットモール」はここで初出ですので、簡単に説明してください。ちなみに日本のアウトレットモールは、メーカーの直販店などが集まった郊外型のショッピングモールを指します。富士周辺で観光したあと、帰りに御殿場のアウトレットモールに寄るのが一つの定番コースになっています。

#### 4 話すためのストラテジー (P67)

話し合いの時、ほかの人の提案に対して、まず「賛成」か「反対」かを示すことで、自分の立場をはっきりさせることができます。ここでは、賛成、反対にそれぞれどんな表現が使われていたかを確認します。ほかの言い方としては、賛成の場合はたとえば「いいね」「いいじゃない」「いいよね」「よさそう」「ナイス！」など、反対の場合は「××ねえ…」「それはー」などの言い方があるでしょう。賛成と比べて、反対の時は「でも…」「んー」「え～」など、はっきりと「反対」とは表明しないことが会話のポイントの一つになります。

#### 発音 発音の練習 (P67)

「ある／ない」の「ない」が単独で使われるときは、アクセントは「な」の次に下がり目がくる「な<sup>↑</sup>い<sup>↓</sup>」というアクセントになります。形容詞や名詞を否定するときの「ない」も同じアクセントです。ただし、動詞の「ない形」の時は、このアクセントとは違って、起伏型動詞に付くときは、「な」の前に下がり目が来る「～<sup>↑</sup>ない<sup>↓</sup>」に、平板型動詞に付くときは、下がり目が無い「～ない<sup>-</sup>」になります。学習者の傾向としては、動詞の「ない形」を、すべて「～な<sup>↑</sup>い<sup>↓</sup>」と発音してしまうことが多く、上級レベルになってもこれが目立つ場合があります。動詞の「ない形」はほかの「ない」と発音が違うことを、意識させましょう。

なお、動詞のアクセントについては、中級 1 のトピック 4 の「発音」(中級1:P103)も参照してください。

#### 5 ロールプレイ (P68)

はじめに(1)で、3人のそれぞれの発言が、提案なのか、賛成なのか、反対なのか、確認なのかを分析します。記号の「提、賛、反、確」は、学習者の共通語にもとづいたわかりやすい表記にできれば、それを使ってもかまいません(たとえば「P、A、D、S」など)。それぞれの部分での表現は、提案する場合には、提案の表現として学んだ文型が、賛成、反対を表す時には、「ストラテジー」で学んだ言い方などが、実際に使われていることを確認します。

(2)のロールプレイは、はじめはペアで、富士登山の計画を話し合うロールプレイをします。会話本文や、PART 1 で聞いた情報などを使って、(例)に続けて会話を考えます。温泉、ほうとう、観光地、遊園地など、いくつかの情報を適当に入れて話してください。

そのあと、②のロールプレイで、好きな行き先について旅行の計画を自由に話し合います。ここでは会話本文と同じ、3人のロールプレイをする指示がありますが、クラスの人数によっては自由にアレンジしても結構です。旅行先としては、日本でもいいし、自国の観光地でもいいし、自国から多くの人が旅行に行く外国の観光地などでもかまいません。ロールプレイの参加者が、全員ある程度の知識を持っていて、話し合いが成立することが最も大切です。

このページにある 3 枚の写真は、海や山などの自然と親しめる観光地の写真をイメージとして載せてありますが、活動では自然にこだわる必要はありません。また日本語や母語で書かれた旅行ガイドブックなどを見ながら行ってもよいでしょう。

### PART 3 長く話す「誰でも楽しめるんじゃないかと思います」

**Can-do 08** 自分の国の観光地について、特色や見どころ、注意することなどを、ある程度くわしく説明できる。

自国の自然や観光地について、日本人から情報やアドバイスを求められることはよくあると思います。ここでは、ガイドブックに載っているような情報だけではなく、体験も交えながら、その場所の特色や注意点などが伝えられるようになることを目指します。

#### ● 話すまえに (P69)

それぞれの国で、人気のある観光地について自由に話します。観光地と言えなくても、日本人が興味を持ったり、行ってみたいと思ったりしそうなところなら、どこでもかまいません。また、簡単でいいので、そこがどんなところか、何ができるのかなどについても話しておくといいでしょう。

#### 1 モデル会話を聞く (P69)

マレーシアに住んでいる佐々木さんは、「タマン・ネガラ」(マレーシアのジャングル)を行ってみたいと思い、知人のマレーシア人のウイラさんから話を聞いています。ウイラさんの話の内容は、タマン・ネガラの紹介と実際の経験にもとづいたアドバイスです。

設問①では、a. つり橋(キャノピーウォーク)、b. 鳥や花、c. 象や虎 d. 川とボート、e. 小屋 のイラストを見ながら聞き、イラストを話の順に並べながら、それぞれについてどんなことを言っているか、概要を把握します。設問②では、ウイラさんが注意した方がいいといっていることを聞き取ります。聞き取る内容を①と②に分けて、2回聞いてもいいでしょう。

\*タマン・ネガラ: マレー半島中部に位置するジャングル。約 1.3 億年前から続くとされる熱帯雨林で、国立公園になっており総面積は約 4300km<sup>2</sup>に及ぶ。マレーバク、虎、アジア象のほか、約 250 種の野鳥、約 300 万種の昆虫などが生息する自然の宝庫として知られている。公園内には、いくつかホテルもあり、一般の観光客でも宿泊できるようになっている。

#### 2 表現の確認 (P69)

「条件に合ったアドバイスをする」「自分の考え方を婉曲に伝える」の二つに分けて、そこで使われる表現を整理してあります。そのため、①-⑤はテキストに出てくる順ではないので、2回に分けて聞き、1回目は「条件に合ったアドバイスをする」、2回目は「自分の考え方を婉曲に伝える」表現に注目させるといいでしょう。

「条件に合ったアドバイスをする」表現の①「～なら」と②「～(ん)だったら」は同じ意味・機能で、「自然が好きなら」=「自然が好きだったら」のように言い換え可能です。

「自分の考え方を婉曲に伝える」の③「～(ん)じゃないでしょうか」、④「～(ん)じゃないかと思います」、⑤「～かもしれません」は、ここでは相手に提案したりアドバイスしたりするときに使われています。



す。空所にはしていませんが、会話の中にある「～でしょう(あまり期待しない方がいいでしょう)」も同じ用法です。このような表現は「～です／～ます」に比べて、相手に丁寧な印象を与えます。

### 3 モデル会話の確認とシャドーイング (P70)

「なにしろ、世界一古いジャングルの一つですからね。」の「なにしろ」は、相手にすすめたいときに使える強調表現です。「なにしろ、おもしろい／かわいい／自然がきれい…」などのように使えます。反対に、否定的なことや注意したほうがいいことを、相手に柔らかく伝えたいときは、「あまり期待しない方がいいでしょうね」や「ちょっと、厳しいかもしれません」を使っています。B1 レベルなので、このような配慮表現にも少しずつ注意させるようにするといいいでしょう。

#### ◆ シャドーイング

「中級 2」では、1 文がだんだん長くなりますが、ポーズや意味の切れ目に注意すると、シャドーイングしやすいと思います。何回か繰り返し、自然な速度に言えるように練習させてください。

### 4 再話する (P70)

観光地を紹介するための練習です。ここでは、例として「タマン・ネガラ」を題材に話してみます。全体がやや長いので、はじめはカードの①と②、次に③のように別々に練習してから、①②③をいっしょに話すようにするといいいでしょう。そのとき、**2**の表現が、少しでも使えているかどうか確認させてください。ただし、スクリプトと同じである必要はないので、「～なら」と「～かもしれない」「～(ん)じゃないかと思います」だけなど、学習者が自分にとって使いやすいものや使ってみたいものを選んで使うようにすればいいでしょう。

### 5 自分のことを話す (P71)

#### (1) 話したいこと整理する

「話すまえに」で取り上げた観光地などから、話してみたいところを一つ選んでメモを作ります。「タマン・ネガラ」のような特定の観光スポットでもいいですし、都市や地域などでもかまいません。なかには、美術館や博物館のように自然とはあまり関係のない場所を選ぶ場合もあるでしょうが、日本人に聞かれる可能性のありそうなところならかまいません。同じ場所を選んだ学習者が多ければ、準備は相談しながらすすめさせてもいいでしょう。逆に、選んだものが重ならないよう調整してもいいでしょう。

メモになっている「②見どころ、おすすめのポイント」と「③注意したほうがいいこと」は、その国の人だからこそ知っている、ガイドブックにはあまり載っていない情報を考えさせるといいいでしょう。

なお、日本人には人気があるけれども、そこに行くのはすすめない場合もあると思います。そのときは、「①全体的なコメント、特色」→「②行かない方がいいと思う理由」→「③どうしても行くなら注意した方がいいこと」という流れで、メモを作らせます。

(2) 話す

日本人にある場所について聞かれて答えるという設定ですが、練習では、選んだ場所を先に確認してから話します。なお、この練習が終わったあと、聞き手役が自由に場所を選んで質問し、話し手はその場で考えて話すという練習をやってみると、より実践的でおもしろいかもしれません。

## PART 4 読んでわかる「四季折々に楽しめる富士五湖」

**Can-do 09** 旅行ガイドブックなどの観光案内を読んで、そこでどんなことができるかなど、観光地の特色が理解できる。

日本の観光地についての情報は、インターネットやガイドブックなどで母語でも得ることができますが、日本語でも読めれば、最新情報やより詳しい情報を入手することができるでしょう。ここでは、日本の旅行雑誌などやガイドブックなどから、行きたい観光地についての情報を得ることが目標です。

### ● 読むまえに (P72)

富士山近くにある富士五湖周辺の観光スポットについて、ガイドブックから情報を得る活動です。事前活動として、4つの観光スポットの写真を見て、どんなところで何ができそうか、自由に話し合います。目的は、それぞれの観光スポットのイメージを膨らませることなので、実際にそこでできると違っていてもかまいません。また、①の場合なら「スキー、夏スキー？人口ゲレンデ、アクティビティ…」のように、連想した内容を日本語でメモさせると読解タスクのよい事前活動になります。

なお、③の写真は、富士山麓にある「氷穴」の中の様子ですが、少しわかりにくいかもしれません。「白く光っている柱のようなものは何？」「どんなところにある？」「暗いのはどうして？」などのヒントを教師が出すといいでしょう。

### 1 内容を理解する (P72-73)

(1) では、ざっと全体を読み、写真とマッチングさせることによって全体的な特徴を把握させ、(2)と(3)でややくわしい内容を理解させます。

#### (1) 1回目の読み:それぞれのスポットの全体的な特徴を理解する

4つの観光スポットの説明を読み、「● 読むまえに」で見た4つの写真の中から一致するものを探します。それぞれのスポットには「山中湖 花の都公園」「鳴沢氷穴」のように場所の名前がついていますから、当てはまりそうな写真を最初に予測させてから説明を読ませるといいでしょう。わからないことばがあっても、この段階では辞書はひかせず、わかったことに印などをつけさせ、だいたいの内容を予測させてみてください。どんな予測をしたかをペアやグループで話し合い、理解を深めます。

#### (2) 2回目の読み:それぞれのスポットでできることを季節ごとに理解する

タイトルに「四季折々に楽しめる」と書いてあるように、季節ごとのいろいろな楽しみ方が紹介されています。そこで、それぞれのスポットの情報を、春、夏、秋、冬に整理しながら読みます。たとえば、「紅葉台」の場合なら「…展望台からは、360度の大パノラマが広がる」「秋には美しく紅葉した樹海が見られる」「夏はハイキングを楽しむ人が多い」のように、選択肢の「紅葉…大パノラマ…ハイキング…」と、季節を表すことばを手掛かりにするといいでしょう。

◆では、完成した表を見ながら、それぞれの場所で、いつ、どんなことができるのかをほかの人と比べます。そのとき、わかりことばなど、補足的な情報があれば、クラスで確認するといいでしょう。

### (3) 3回目の読み: 注意したほうがいいことを理解する

それぞれの場所に行くときに注意したほうがいいことや、事前に準備しておいたほうがいいことが何かを、それぞれの場所の説明から探します。「紅葉台」の場合は、「道幅が狭いので、運転には注意」と、「注意」というわかりやすい表現があるので探しやすいでしょう。ほかの3つも、「バーベキューも可能(要予約)」「(ふじてんリゾート)」「開花状況をチェックしてから訪れたい」(花の都公園)、「夏では上着が必要だ。滑りやすいので、歩きやすい靴があると安心」(鳴沢氷穴)、のような表現が手掛かりになるでしょう。学習者がなかなか情報を見つけ出せない場合は、たとえば、「「バーベキューは、行けば誰でもできますか?」(ふじてんリゾート)」「氷穴の中の温度はどうですか? 歩くときは、サンダルでもいいですか?」(富岳風穴)、などのように、考えるきっかけとなる質問を教師がするといいでしょう。

なお、先の「～には注意、要～、～てから～たい、～が必要、～があると安心」などの表現は、情報を把握して意味を理解した上で、確認してください。

## 2 読むためのストラテジー (P73)

漢字熟語の意味を推測するストラテジーを練習します。漢字の意味がわかれば、熟語の読み方がわからなくても、意味の推測が可能だということに学習者が気づくことがねらいです。吹き出しの中のイラストの部分では、「火=fire、山=mountain → 火山=fire mountain, volcano?」などのように、意味の確認では母語を使ってもかまいません。練習では、「四季、上着、花畑、温室」のような比較的わかりやすいものを取り上げてあります。ほかには「最大、初心者、上級者、夏季」(ふじてんリゾート)、「背景、開花、有料、遊具、冬季」(花の都公園)、「地下、林立」(鳴沢氷穴)などが比較的推測しやすいと思われます。ただし、推測では、漢字の意味を知っていることが前提になるので、このストラテジーは学習者の漢字力に左右されます。漢字をあまり知らない学習者の場合は、ここでの練習が漢字学習の動機付けになるといいでしょう。

未知語の推測では、いくつかのストラテジーをいっしょに使うことが多いです。たとえば、「雪がない夏季は、サマーゲレンデでスキー、スノーボードができるほか…」で「夏季」ということばを推測するとき、漢字から「夏の季節」という意味だろうと推測するとともに、文全体を読んでその意味が文脈に合っているかどうかチェックしています。「読むためのストラテジー」では、練習の都合上、一つのトピックに一つのストラテジーだけを取り上げていますが、練習では、ほかのストラテジーをいっしょに使用させてもかまいません。

### 3 読んだあとで (P73)

行き先を決める場合、自分が何をしたいのかという希望と、そこで何ができるのかという情報とのマッチングが重要になります。ここでは、そういう実際の行動に近づけていくために、したいことを考えさせた上で、行きたい場所を選ばせるといいでしょう。行きたい場所がない場合は、自分のしたいことがない、寒いところは苦手など、その理由を説明させるといいでしょう。

### 4 読むのに役立つ文法・文型 (P74)

#### ① ～に違いない (P74)

動詞とイ形容詞の場合は、「V／イ形容詞(普通体)＋に違いない」(このワインはおいしいに違いない)、名詞とナ形容詞の場合は「N／ナ形容詞＋に違いない」(ここから見る富士山の景色は日本一に違いない、この店は有名に違いない)の形で使われ、確信のある推量を表します。

旅行ガイドブックでは、例文にある「感動するに違いない、気持ちがいいに違いない」のほかにも、「一生の思い出になるに違いない、楽しめるに違いない」のように、その場所の魅力を強く読者に訴えたいときに使われます。一方、エッセイや論説文などでは、筆者の強い主張を表す場合が多いですが、ここでは、その用法についての例文は取り上げていません。

#### ② Vほか、～ (P74)

「V(辞書形)＋ほか」以外にも、「N＋のほか」の形で使われます。「～だけではなく、～も」と同じ意味ですが、どちらかという、書きことばで使われることが多い表現です。

教科書にある「サマーゲレンデでスキー、スノーボードができるほか、マウンテンバイクなどのアウトドアレジャーが楽しめる」は、「サマーゲレンデでスキー、スノーボードができるだけではなく、～」「サマーゲレンデでスキー、スノーボードができるし、～」と書き換えが可能です。このように、新しい表現を紹介する場合、すでに学習者が知っている類似表現をいっしょに整理しておくといいいでしょう。

#### ③ ～ことに (P74)

「うれしいことに、～」「驚いた／びっくりしたことに、～」「残念な／がっかりしたことに、～」「悲しいことに、～」「腹が立つことに、～」など、出来事についての感情を表現します。多くの場合、出来事を表す文の前において使います。使い方は難しくありませんが、主に書きことばに使う表現です。ここでは、意味がわかれば十分です。

#### ④ ～ため (P74)

例文の「V(普通体)＋ため」以外にも、「イ形容詞い＋ため」「ナ形容詞な＋ため」「N＋のため」(空気が薄いため／山道が急なため／雨のため、途中で予定を変更した)のように、イ形容詞、ナ形容詞、名詞にも接続して使われます。

原因を表す「～ため」は、「～ので／から」と言い換えが可能です。話しことばでは、「ので／から」のほうがよく使われる傾向があります。教科書には文を作る練習は一つしかありませんが、基本的な表現なので、ほかの練習を取り入れてもいいでしょう。

なお、「～ため(に)」は、「留学するために、勉強している」のように目的を表す用法もあります。学習者が混同しないようにしてください。

### 漢字のことば 漢字の整理 (P74)

旅行ガイドの中に出てきた漢字が取り上げられています。これらのことばが本文のどこに出てきたかを確認し、読み方、意味を確認したあと、キーボードで入力するなどの練習をしましょう。

#### ◆ 漢字を手がかりにことばを増やしたり整理したりする

漢字の字形に注目させます。これまで字形に注目する練習としては、「シ」がつく漢字(「中級 1」トピック4)、「口」が入っている漢字(「中級1」トピック8)がありました。ここでは、特定の要素に注目するのではなく、漢字を4パターンに大別してみます。このように漢字を構成要素に分解することは、漢字を覚えたり増やしたりするときの助けになるでしょう。

- ・左右:【紅】【吸】【能】【冷】【柱】【畑】【植】【物】
- ・上下:【葉】【蔵】【花】【背】【景】【熱】【帯】【具】
- ・によろ 【込】【遊】
- ・垂(たれ)【庫】

※この中のどこにも当てはまらないものに【可】【氷】があります。また、今回取り上げた漢字には例がないので、構え(かまえ)【門】【間】【問】については紹介していません。

教科書の漢字を4つに分類したのち、共通のパーツ(例.きへん、くさかんむり、しんによろなど)があるかどうか注目させてもいいでしょう。ただし、ここでは、偏(へん)や旁(つくり)、冠(かんむり)などの用語を使って解説する必要はありませんし、「きへん」「くさかんむり」のような呼び方を、あえて教える必要はありません。

## PART 5 書く「おすすめスポットは…」

**Can-do 10** 友人に、自分の国の観光地などをある程度くわしく紹介するメールを書くことができる。

おすすめの場所について、その魅力が伝わるように紹介できることが目的です。ここでは、自分の国や地域への旅行を考えている友人から、観光地について問い合わせを受けたときに、その返事を書くという設定になっています。コミュニティ誌やインターネットでの観光地紹介など、設定は学習者に合わせて変えてもいいでしょう。

## 1 書く (P75)

## (1) 書くための準備

夏休みに自分の国に旅行に来る予定の友人から、メールをもらったという設定です。モザイクがかかっている部分は、自分の名前、国名／都市名などを入れて読んでみます。そして、メールを書いた人が、おすすめのスポットを知りたがっていることを確認します。

## (2) 返信メールを書く

(1)のメールに返信するという形で、おすすめスポットを紹介するメールを書きます。学習者には、具体的な人(架空の人でもよい)を設定させて、その人の性別、年齢、好みなどを思い浮かべながら、紹介したい場所や内容を考えさせるといいでしょう。相手はガイドブックの情報についてはある程度調べているので、そこに住んでいないとわからないような情報を入れて書くことが大切になります。

メールの形式や表現については、必要であれば、下記のようにモデルを示してもいいでしょう。

●●さん

メールありがとう。

こちらも、忙しいですが、元気です。

今年の夏休みに、●●に来るんですね。とてもうれしいです。

さて、私のおすすめは……

連絡をお待ちしています。

●●

## 2 書いたあとで (P75)

学習者同士で、書いたメールを読み合います。紹介を読んで、どこのスポットが魅力的に感じられるかなど、相互にコメントし合わせるといいでしょう。

## 教室の外へ

### わたしだけのフリース (P76)

このトピックは「富士登山」を題材にしていますが、実際のコミュニケーション場面としては、観光、アクティビティ、食事、宿泊、交通など、いろいろな分野にわたっています。トピックに出てきた活動と関連させながら、自分がさまざまな場面でする行動をシミュレーションしてみれば、自分だけの「これが言いたい、これが必要」という表現が、いくつか出てくると思います。

### 教室の外の活動のアイデア

#### ①

富士山は写真の題材として非常にポピュラーなので、ネットで検索すれば、富士山の素晴らしい写真がいくつも見つかると思います。写真だけではなく絵画や浮世絵を見てみたり、また季節ごとに、「富士山 春」などの写真を見て比べてみたりするのもいいと思います。気に入った写真があったら、印刷してポートフォリオに入れておくのもいいでしょう。

写真や絵をクラスでシェアしたり、スライドショーで見て感想を言い合ったりする活動にしてもいいかもしれません。

#### ②

YouTube などの動画サイトには、富士登山の様子を録画して紹介した動画が多数載せられています。個人で撮影したものや、番組として制作されたものなど、さまざまです。ここではこれを視聴して、具体的な富士登山のイメージを持つのが目的です。日本人が撮った動画だけでなく、自国の人が富士山に登って自国の言語で解説している動画があれば、それを見てもいいでしょう(例えば「climbing mt fuji」と入れて検索すれば、英語のものが見つかります)。

また Google Map のストリートビューでは、富士山の登山道も対象になっているので、バーチャルに歩くこともできます。富士登山の仮想体験をしてみれば、トピックへの理解がより深まるでしょう。

#### ③

このトピックでは、富士山周辺の観光地の情報がいくつも紹介されました。これらについて、ガイドブックや WEB サイトなどで、よりくわしく調べてみる活動です。本文に出てきた中から興味のあるものについて調べてもいいですし、旅行サイトなどを見て、本文に出てこなかったスポットで、行ってみたいと思えるところを探してクラスで紹介するという活動にしてもいいでしょう。



## 4

自国の観光地などが日本語のサイトでどのように紹介されているかを、WEB サイトで実際に調べてみます。何を紹介するときどのような語彙・表現が使われているかに注目して、自分が日本語でそこを紹介するときの参考にするのもいいですし、日本人がそのスポットについてどのようなコメント・評価をしているのかに注目し、日本人がどのような点を重要視しているのか、価値観の違いについて考えてみたりするのもいいでしょう。

## トピック3 健康的な生活

健康に暮らすにはどうすればいいか、スポーツ、食生活の工夫、ダイエットの是非、ユニークな健康法など、健康についてはさまざまな話題があります。ここでは、友人や周りの人と自分の体験、知っている情報を共有したり、それについて意見が言えるようになりたいことを目指します。

### ◎ 扉／準備

#### ● トピックについての質問 (P77)

健康と生活の関係についてイメージを膨らませることがねらいです。健康をめぐる話題は、運動、食事、生活習慣、健康グッズの利用など、さまざまです。扉の写真を見ながら、健康のために毎日の生活で気をつけていることがあるかどうか、クラスで話し合います。また、ダイエットなど、何か特別な健康法を試したことがある人がいたら、それについて話してもらいたいでしょう。

なお、扉の右下の写真は、座っている男の人が「つぼ押し器」を使っているところです。つぼ押し器は、肩こり解消のために、自分では手が届かない背中をつぼを押すために使います。

#### 1 写真やレアリアを見る (P78)

健康に関係のあるポスターを6種類選んであります。それぞれ、食生活、睡眠、心の健康、運動、健康診断、衛生管理などの必要性を訴えています。タスクそのものは簡単なもので、「健康にはどれがいちばん大切だと思うか?」とか「ほかに健康に必要なものは何か?」など、自由な話し合いに発展させるといいでしょう。

#### 文化 文化について考える (P78)

ここでは、「健康な人」のイメージを具体的に考えてみることによって、「健康」についての考え方の違いに気づくことがねらいです。たとえば「スリムで痩せている」、「筋肉がついている」、「体を鍛えている」、「タバコを吸わない」、「野菜や果物をよく食べる」とか、「明るくて、くよくよしない」、「趣味が多い」など、外見だけでなく生活習慣、食べ物や嗜好など、自由に意見を出し合います。そのとき、1の日本のポスターを見て気がついたことと関係付けてもいいでしょう。また、逆に、「健康でない人」のイメージから考えて見るのもおもしろいかもしれません。

#### 2 語彙や表現の確認 (P79)

健康について話すときによく使う表現を取り上げています。「栄養のバランスがとれた食事」「筋肉をつける」「ストレスをためない」「楽しく生活する」「健康診断を受ける」「夜更かしをしない」「規則正しい生活習慣」など、フレーズ全体の意味を確認してください。

なお、「スポーツクラブ」は「中級1」トピック1にも出てきましたが、一般には会員制のジムのことで、各種トレーニングやフィットネスのプログラムに参加できるようになっています。

#### ◆ 赤字の言い方に注目しましょう

「いつものではないが、そうしている」ことを表す表現は「なるべく、できれば、できるだけ」の3つです。これらのことばは、「なるべく／できるだけ～ようにしている(意志・努力)」「できれば～たい(希望・願望)」のように使います。それぞれニュアンスの違いはありますが、ここではあまり気にする必要はありません。

それに対して、「必ず、定期的に、毎年／月／週／日」などは、「いつもそうしている」ときに使われる表現です。

### 3 その他の活動 (P79)

健康食品(サプリメント)の広告を載せてあります。ダイエットや健康食品の話題が、PART 2 や PART 4 に出てくるので、そのための事前活動になっています。

はじめに、写真と「安心ダイエットサプリメント」という商品名から、どんな食品かを確認します。そして、「こんな方へ」からはどんな人を対象とした商品で、「感謝の声がぞくぞくと寄せられています」からはどんな効果があるかがわかると思います。

◆で、この商品を買いたいかどうかを考えると、この広告で使われている表現に注目させます。「自然植物成分 100%」「安心ダイエットサプリメント」などのことばから安全性をアピールしていること、「リピート率 93%」から人気を、「もう手放せません」「1週間で体調がよくなりました」などからは効果をアピールしていることがわかるでしょう。そして、このような食品が信頼できるかどうか、またそう考える理由などについて、クラスで話し合ってみます。多分、国によって差があるとは思いますが、過大表現が多いこのような広告の場合、あやしいと考える学習者も多いと思います。それぞれの国に類似の商品や食品の問題があるかどうかなどと、話を発展させてもいいでしょう。

## PART 1 聞いてわかる「ウォーキングがいいんじゃないですか」

**Can-do 11** 健康維持のためにやっている運動の話聞いて、その運動の特徴やいい点が理解できる。

健康に運動の話題は欠かせないでしょう。日本では、若い人にもシニア層にも、運動を日常生活に取り入れている人が増えているようです。そのため、運動はよく話題になることの一つです。ここでは、自分に合う運動を見つけるために、ほかの人の運動の体験談や説明を聞いて、それぞれの運動の特徴や長所を整理して、比較検討できるようになることを目指します。

## 場面・設定の確認

どこかの国の「日本語おしゃべりサークル」(日本語学習者と現地の日本人が日本語で交流する場)で、話し合っている場面です。「何か運動を始めたいって思っているんですけど…」と言っている男性(聞き手)の立場で、その場にいる4人の話を順番に聞きます。

## ● 聞くまえに (P80)

これから聞く話の中に出てくる4つの運動の写真を見て、特徴や違いを考えてみます。「部屋の中でできる」「気持ちがよさそう」「一人でできる」「音楽を聞きながらする」など、それぞれの運動の特徴として思いつくことを簡単な日本語であげさせてみるといいでしょう。出てきたことばをメモしたり、板書したりしておくと、次の **1** の練習につながりやすいです。

**1** 内容を段階的に理解する (P80)

(1)では4人がそれぞれすすめている運動が何かを理解し、(2)(3)でそれぞれの運動の特徴やいい点を把握します。

(1) 1回目の聞き:どの運動をすすめているかを理解する。

4人がそれぞれすすめている運動と、その運動をどこでしているか聞き取ります。準備活動を十分にしてあればとくに問題ないと思います。それ以外にもわかったことがあれば、(2)に進むまえに自由に言わせてもいいでしょう。

(2) 2回目の聞き:運動の長所を理解する

それぞれの運動のいいところを、9つの選択肢をヒントに聞き取ります。選択肢がやや多いので、聞くまえに意味を確認し、どの運動に当てはまりそうか予測させてから聞かせるといいでしょう。「腹筋」については、会話の中で聞き手が「腹筋？」と聞き返すことによって、話し手の説明を引き出しでいることにも注目させましょう。

## (3) 3 回目の聞き:運動の特徴を理解する

それぞれの運動の特徴を理解するための手掛かりになるように、テキスト中のことばを選択肢としてあげてあるので、それがどこに出てくるかに注目して聞かせます。

そのあとで◆では、選んだことばを使って、それぞれの運動の特徴を説明してみます。すぐに説明するのが難しければ、もう一度、聞かせてもかまいません。①「ボディコンバット」なら、「音楽を聞きながら体を動かす。空手などの動きをする。普通のエアロと違って、気合いが入る。」のように言えるといいでしょう。ただし、正しく日本語で言えるかどうかを確かめることが目的ではないので、運動の特徴が理解できたことが確認できれば十分です。

**2** 聞くためのストラテジー (P81)

## (1) ストラテジーの機能と言い方を確認する

聞き手として、相手の話に関心があることを示すためにコメントするストラテジーを取り上げて練習します。ここでは、「へー、おもしろそうですね / それは、すごいですね / よさそうですね」などのようなコメントが一言加えられるようになることがポイントです。

①平野さん、②清水さんの会話の一部を聞いて、聞き手がどうコメントをしていたかを確認します。「へー、それはおもしろそうですね」「へー、気持ちよさそうですね」の二つですが、「へー」「それは」の部分は省略可能です。

## (2) ストラテジーを使ってみる

③大西さん、④ミンさんの話の一部を使って、ポーズ(★)のところで、コメントしてみる練習です。コメントの仕方は自由です。そのあとで、◆では **1** の会話の中で使われた表現と聞き比べます。ただし、正答があるわけではないので、伝えたい気持ちを表現できるようになることが大切です。

## (3) 自由にコメントしてみる

話を聞いて、自由にコメントしてみる練習です。ペアになって、一人は話し手役、もう一人は聞き手役になります。4 人の話の中から、好きなものを一つ選んで練習します。①平野さんの話を選んだ場合であれば、話し手役は、平野さんになったつもりでスクリプトを見ながら平野さんパートを言います。聞き手役は、相手の話を聞いて自由にコメントします。スクリプトを読む練習ではないことに注意してください。また、学習者がスクリプトを読むのに苦勞する場合は、教師が行ってもかまいません。

なお、教科書 P81 の写真は腹筋ローラーなので、**1** で聞くときの参考にしてください。

**3** 聞いたあとで (P81)

4 つの中で、自分に向いている運動を考えます。「部屋の中でできるから」「毎日続けられそうだから」など、聞いた情報から理由が言えるといいでしょう。ここで紹介された運動には関心がない場合はほかの運動を紹介してもらったり、運動に興味がない人にはその理由を言ってもらったりするといいでしょう。

**■ 聞いたことをまとめる (P81)**

選択肢は名詞なので、形を変える必要はありません。「(②体)を動かす」「運動神経に(④関係)なく誰でもできる」「けがの(⑤リスク)が少ない」「(⑫場所)も取らない」など、全体の意味を理解できるかどうか確認してください。

## PART 2 会話する「どんなダイエットしてるの？」

**Can-do 12** 健康法などについて、自分の考えを述べたり、相手にアドバイスしたりできる。

友人にアドバイスする会話です。よくないと思う点を指摘したり、そう思う理由を言ったりしながら行きますので、B1 の会話としては、比較的チャレンジングな Can-do かもしれません。ここでは健康をトピックとして話していますが、勉強のこと、仕事のこと、生活のことなど、いろいろな機会でのアドバイスに応用できるでしょう。またここでは、友達同士の会話として普通体で話すことも、目標になっています。

### ● 会話するまえに (P82)

会話のテーマが「ダイエット」なので、まずはダイエットに関して、スキーマを活性化します。これまで読んだり聞いたりしたことや、自分の経験、知人の経験など、自由に話してください。学生がこうした話題についてあまり知らない場合は、教師がこれまで流行ったいくつかのダイエットを紹介するなどしてもいいでしょう。またダイエットについてどう思うか、簡単な意見交換をしてもいいかもしれません。ただし、クラスによって、これがデリケートな話題になるおそれがある場合や、誰もあまり興味がなさそうな場合は、ごく簡単にすませてください。

会話の舞台は、カザフスタンの日系企業のオフィスです(なので二人は共通語として日本語を使っています)。現地人のサウレさんと、日本人でカザフスタンに長く住んでいるまどかさんが昼休みに昼食を食べながら話しているという設定です。

### 1 会話の内容を理解する (P82)

はじめに①で、まどかさんのダイエット法を聞き取ります。朝食を抜く、昼はリンゴだけ、夕食は量をあまりとらない、などがわかれば、これに対するサウレさんのアドバイスも聞きやすくなると思います。②のサウレさんのアドバイスは、朝食を抜くのはよくない、栄養のバランスが大切、運動が必要、という3点を確認してください(ロールプレイ前の練習でも確認します)。

### 2 ことばの形式に注目する (P82)

はじめに、二人がお互いに普通体で話していることを確認します。二人は長い間同じ会社で働いているので、友達同士のような関係になっていると考えられます。おそらく歳も近いのでしょう。また、昼休みの雑談なので、ここでは普通体になっていますが、同じ二人でも、職場で仕事の話をするフォーマルな場面では、丁寧体になるかもしれないことについても触れておくといいでしょう。

本文には、健康に関する「炭水化物」「タンパク質」「カロリー」「有酸素運動」などの、このトピックに特有の、比較的難しいことばもいくつか出てきます。まとめて簡単に意味を説明してもいいでしょう。

### 3 会話に役立つ文法・文型 (P83)

#### ① Vなんて (P83-84)

「～なんて」にはさまざまな意味がありますが、ここでは動詞や文について、話者の驚きを表す場合の「V なんて」を取り上げています。この「～なんて」は「～などと(いうのは)」から来た表現であると考えられますが、このことに触れても学習者の理解の助けにはなりにくいので、動詞に「なんて」を付けた形として紹介するといいいでしょう。

練習でははじめに音声を聞き、それに対してコメントを言う練習をします。①-⑤の文は、音声を聞いたあとで、それに対して言うコメントの文になります。P83 のイラストを使うなどして、役割を理解させてください。練習は選択肢を選んで形を変えて入れるだけですが、選択肢を見る前に、音声だけを聞いた段階で、自分だったらどう言うか、考えさせてもいいかもしれません。

なお、この「V なんて」は「V なんか」で置き換えることはできません(④参照)。

#### ② ～どころか (P84)

状況から予想されることを否定して、それとは反対の、意外性の高い事態になることを表す表現です。後件には予想を裏切る悪いことが来ることが多いですが、必ずしもそうとは限りません(「ダイエットに失敗するどころか、30kg も体重を落とした」など)。「～」の部分には、動詞、形容詞、名詞などいろいろなことばが来ることができ、その形もさまざまですが、ここでは文につけて言う練習をします。練習で( )に入れることばは、会話の A のパートの一部をそのまま使って「～どころか」を付けて言うと、いちばん簡単ですが、いろいろな言い方が可能であることを紹介してもいいでしょう(例:③「ゆっくり休めた…」→「休めたどころか」「休めるどころか」「休むどころか」など)。

#### ③ ～(の)は、～ことだ (P84)

練習としては単純な変形練習ですが、この言い方では「～ことだ」の部分で、話者が聞き手に伝えたい内容を話しているという点に注意します。

#### ④ Nなんか(～ない) (P85)

「なんか」にもさまざまな用法がありますが、ここではNを軽視し、そのあとに否定文(あるいは意味的な否定を伴う文)を続けることで、それを強く否定する言い方を取り上げます。これは話しことば的な表現で、書きことばでは「N など」になります。この「N なんか」は「N なんて」で置き換えることもできます。

◆の絵を見ながら自由に言う練習は、聞いた音声を覚えて再現することが目的ではありません。絵を見ながら、自分が言いたいことを産出する練習です。ポイントは、対象を軽視して言う言い方なので、あまりいいコメントは言わないという点でしょう(例:ヨガなんか→やりたくない、やっても効果がない、できない、等)。

なお、例示の「N なんか」は次のトピック 4 (P103)で扱います。



#### 4 話すためのストラテジー (P85)

単語が思い出せないとき、それを考えて会話が止まってしまう学習者も少なくありません。そうした時、そのことばを無理に思い出そうとしないで、不完全なまま言って、聞き手に補ってもらうことで、会話を止めずに進めることができます。たとえば、ここで練習するのは、思い出せないことばの一部を「なんとか」で言い換えて言うストラテジーです。積極的に使ってみよう意識させましょう。

なお、「なんとか」がことばの終わりに付くときは、「な<sup>ん</sup>とか」のように、「な」の後ろで下がります(例:「た<sup>ん</sup>ぱく<sup>な</sup>ん<sup>と</sup>か<sup>か</sup>」)が、ことばの途中に使うときには一つのことばとして発音するので、「なんとか」に下がり目はなく、ずっと同じ高さで発音されます(例:「ゆ<sup>う</sup>なん<sup>と</sup>か<sup>う</sup>ん<sup>ど</sup>う<sup>う</sup>」)。とくにこのストラテジーを使った学習者の発音が聞き取りにくい場合には、アクセントにも注意してください。どの部分を「なんとか」で言うかはいろいろな言い方ができ、解答例にはいくつかの言い方が示されています(音声はそのうちの一つだけが録音されています)。

#### 発音 発音の練習 (P85)

日本語では、母音/i/と/u/は/k/、/s/などの無声子音に挟まれたとき、声を出さずに無声化母音として発音されます。本文では、できるだけ音声学の用語を使わないように、「キ・ク・シ・ス～」のように説明しています。

はじめに、無声化している母音としていない母音を比べて聞きます。\_\_\_\_\_の部分の母音は、後ろに無声子音が来ているので無声化し、\_\_\_の部分は後ろに有声子音が続くので、無声化が起こらない発音になっています。違いがわかりにくい場合は、教師が少し大きめに発音して聞かせてもいいでしょう。違いを確かめたあと、文の中で出てくる無声化母音(\_\_\_\_\_の部分)について、無声化して発音する練習をしてください。自分で無声か有声かを確認するためには、喉に手を当てる、耳をふさいで発音してみる、などの方法があります。

#### 5 ロールプレイ (P86)

はじめに(1)①で、サウレさんのアドバイスのポイントがどのような順番で出てきているか、チェックします。②で、それは具体的にそれぞれ会話のどこの部分かを確認したあと、そこで使われている表現を見てみます。「会話で役立つ文法・文型」で練習した表現のほか、「～だよ」「～しなくちゃ」「ダメ」など、普通体の友達同士で使われるアドバイスの表現も、確認してください。

(2)のロールプレイでは、まず①で、「野菜と果物しか食べないダイエット」がよくないとアドバイスする会話をします。それが実際にどのようなダイエット法であるかは、とくに気にする必要はありません。本文の内容を思い出しながら、栄養のバランスや運動の必要性などについて話すようにします。

②では、ダイエットだけではなく、健康について自由にアドバイスをします。相談する側は、健康や美容に関する自分の悩みを相談しますが、悩みがない、または本当の悩みを言いたくない場合は、イラストを参考に、架空の悩みを設定して話してもいいでしょう。またアドバイスする側は、相手に質問してから、問題点を指摘したり、その理由を話したりして、自分の考えを自由に話すようにしてください。

### PART 3 長く話す「病気の原因を消してくれるんです」

**Can-do 13** 自分が知っている健康法について、やり方や効能、経験などを具体的に説明できる。

それぞれの国や地域に特有の健康法について話す練習をします。PART 1 は相手から情報を収集する方でしたが、ここでは、情報を提供できるようになることが目的です。

#### ● 話すまえに (P87)

自分が実行している健康法、テレビやネットなどで見たおもしろい健康法など、いろいろな健康法についてクラスで自由に話し合います。

#### 1 モデル会話を聞く (P87)

飛行機の中で、岡本さんが「青竹踏み」をしているのを見て不思議に思ったカモーラさんが、岡本さんに何をしているのか質問しました。今度は、カモーラさんが岡本さんからウズベキスタンの健康法について質問を受け、説明している場面です。

設問①－③では、ウズベキスタンの「煙を浴びる健康法」について、効果、使い方を確認します。教科書にはイスリックを燃やしている写真がありますから、参考にしてください。また、次の88ページには、「乾燥したイスリック」(上)、「子供に煙をかけているところ」(下/左)、「イスリックをお守りとして車に吊るしてあるところ」(下/右)の写真があるので、音声を聞かせたあとで見せて、何の写真か確認するといいいでしょう。

なお、「青竹踏み」というのは、教科書の写真のように、半分に切った青竹の上に立って、足で竹を交互に踏む健康法で、血行がよくなり、足の疲れがとれると言われています。もともとは、竹を使いましたが、最近では、写真のようにプラスチック製で、軽くて持ち運びに便利なものが使われています。日本のエアラインの中には、機内に青竹を準備してあり乗客に貸してくれる場合もあります。

#### 2 表現の確認 (P87)

「使用法の説明」「効能の説明」「具体的な例」の順に、健康法の紹介で役に立ちそうな表現をまとめてあります。

①②は、指示詞の文脈指示の用法に関する設問です。指示詞が何を指しているか考えます。そして、前出のことばを指す場合「それ/その」のように「そ」を使うことを確認してください。また、指示詞を使うことによって、文と文のつながりが明確になり、結束性(まとめ)が出てくることに注目させてください。

「効能の説明」「具体的な例」では、時の表現「～(の)とき、～と」がよく使われます。いずれも既習の表現ですが、合わせて確認しておいてください。

#### 3 モデル会話の確認とシャドーイング (P88)

ウズベキスタンの健康法についての説明の仕方を、スクリプトを見ながら確認します。とくに、難しい表現はありませんが、2 で注目した表現がどのように使われているか注意させます。「実は、そ

れから」などの接続の表現、「病気の原因を消してくれる、煙をかけてくれる、車の中にぶら下げてくれました」の「～てくれる」の用法にも、注意させるといいでしょう。

#### ◆ シャドーイング

イスリックの煙の効能と、使用の具体例を話しているところをシャドーイングします。シャドーイングの部分が長いので、必要なら途中で切って、練習してもかまいません。意味を考えながらまねすると、比較的スムーズに話せるようになると思います。

#### 4 再話する (P88)

健康法について説明する練習です。ここでは、ウズベキスタンの煙を浴びる健康法の情報を使って話してみます。4枚のメモのうち、「②効能」と「③具体例」が話の中心になります。②と③は、メモとしては分かれています相互に関係しています。話すときは、②(1)→③(1)、②(2)→③(2)のように、②と③を交互に話します。

#### 5 自分のことを話す (P89)

##### (1) 話したいことを整理する

自分の国や地域の健康法を一つ選んで、それについて説明するためのメモを作ります。それぞれの家庭に伝わるユニークな健康法を選ぶようにすると、同じ国の学習者が多いクラスの場合はおもしろいと思います。「①方法」「②効能」「③具体例」の中でどの部分をくわしく話せば相手にとってわかりやすいかをよく考えてからメモを作ります。「③具体例」では、自分が体験したことがない場合は、知っている身近な人の例を紹介すればいいです。聞き手が「なるほど」とか「それは、おもしろい」と感じるようなエピソードを入れるといいでしょう。

##### (2) 話す

同じ国の学習者同士での会話の場合は、すでに知っている健康法の話になる可能性もありますが、具体例の部分は、人によって違うはずです。

Can-do チェックでは、紹介された健康法がはじめて聞いた場合でもわかるかどうか、その健康法について具体的なイメージが持てたかどうか、聞き手にコメントさせ、それを参考に評価させてみるといいでしょう。

## PART 4 読んでわかる「本当に効くのかな？」

**Can-do 14** インターネットの掲示板などで、健康食品についてのコメントを読んで、書いた人の意見がだいたい理解できる。

インターネットの匿名掲示板で、健康食品についての書き込みを読む設定です。こうした掲示板には「2ちゃんねる(5ちゃんねる)」など非常に大きなものがあり、さまざまな話題が扱われています。日本語で何か検索した場合に、このような掲示板やそのまとめサイトなどがヒットする場合も多いでしょう。これらについては、時には汚いことば遣い、差別的な表現、人をバカにするような態度の書き込みなども確かにあり、「学習者に読ませたくない」と思う教師もいると思います。しかし、その一方で、実際に目にする機会も多く、話題も豊富であり、くわしい情報や本音の情報が取れる可能性があること、また表現や内容が特徴的な分、学習したことが現実の読みに生かせるので、「実際に学習者が接する可能性のある読解素材」の一つとして、あえて取り上げました。特徴を理解した上でうまく利用すれば、決して避ける必要はないと考えます。学習者には、必要に応じてその特徴や注意点などを説明してください。

「俺」「お前」「メン」「食う」などの乱暴なことばも、これまでの一般的な日本語教科書にはあまり出てこなかったかもしれませんが、やはりここで接しておくことは意義があると考えます。ただし、学習者によってはこういうことばを知ると喜び、すぐ使いたがる人もいますので、使える場面と使えない場面について注意しておく必要があるでしょう。

## ● 読むまえに (P90)

掲示板の話題は健康食品についてなので、はじめに健康食品について、スキーマを活性化します。伝統的な健康食品や、いかにも怪しい健康食品など、いろいろあると思います。これまでどんな健康食品があったかをクラスで話し、続く読解の準備とします。「準備」の3の広告(P79)を思い出してもいいでしょう。

## 1 内容を理解する (P90-91)

(1) 1回目の読み: 質問者の意図を理解する

インターネットのこうした掲示板では、はじめに質問や話題提供などの発言によりスレッドが立てられ(この最初の書き込みは発言番号が1番になるため、「1」と呼ばれます)、それに対する反応が、短い書き込みで続いていくのが典型的なパターンです。

ここでははじめに、最初の書き手「1」の書き込みの意図が「ゲンキニールという健康食品は本当に効くのか?」という質問であることを確認して、このスレッドの趣旨を理解します。

なお「名無しさん」というのは匿名で書き込んだ場合に自動的に表示される名前であり、同じ「名無しさん@健康生活」であっても書き手はそれぞれ別人であることを確認してください。

## (2) 2回目の読み: 続く書き込みの内容を分類・整理する

「1」の質問の意図を理解したあと、続く 2-13 の書き込みにざっと目を通し、どのような書き込みがあるかを理解します。掲示板では書き手が自由に好きなことを書き込むため、質問に答えているものから、関係ない冷やかしまで、さまざまなものが入り交じっています。

まず「A. ゲンキニールが効くか効かないかについて」で、「1」の質問に直接的に答えて「効くかどうか」を答えている発言を特定します。そのあと、それ以外の発言は、どのような意図で書き込まれているのか、発言を見ながら、その内容を分類・整理します。「効くかどうか」以外にも、ここでは健康商品の販売方法に関する注意や、健康食品一般についての記述、またあまり意味のない冷やかしなどがありますので、それぞれの発言を読んで、どれに該当するか、考えます。

## (3) 3回目の読み: 発言のつながりを整理する

こうした掲示板では、ある発言に対して別の人が発言をしたり、別の発言にさらに別の人が発言したりしながら、話がパラレルに展開することも多くあります。ここでは発言の対応関係を考え、どの発言がどの発言を受けて書かれたものであるのかを判断して、全体の構成、つながりを整理します。「>>3」などのように、記号で発言先の番号を直接示しているものもありますが、番号は直接示さず、文の流れからそれがわかる場合もあります。

このあと◆では、自分でこの健康食品についてどう思うか考えます。発言「3」のように褒めている意見もあるが、あまり信用できなさそうなこと、ほかの発言からは、むしろ効き目は薄く、販売方法も疑問の余地があるということなどが感じられるかもしれません。こうした匿名掲示板では、各発言が無責任に書き込まれるため、発言の真偽はわからず、読み手の判断にゆだねられることとなります。この健康食品についてどのように判断するか、それはどこから判断したかなど、クラスで話してみるのもいいでしょう。

**2** 読むためのストラテジー (P91)

インターネット上ではさまざまなスラングやアスキーアート(文字で作られる絵)、定型表現などが使われています。多くの場合、こうしたものは他者の書き込みにつきこみを入れたい時などに用いられるため、情報としてあまり重要なものではありません。読解の目的が、情報を取ることであるような場合には、こうした書き込みは無視して読み飛ばすというのも、読解活動をスムーズに行う上での一つのストラテジーです。

ちなみに、「キター」は「来た」の意味です。ここでは健康食品に対して不自然に肯定的発言をしている書き手に対し、別の書き手がこれを健康食品販売業者の書き込みであると断定し、「業者が来た」という意味の発言になっています。「ハケン」は「発見」、ここでは「紅茶キノコ」という古い世代しか知らない情報について書き込んでいる発言者を、「昭和生まれ発見」という意味で、からかっています。「～俺が通りますよ」は自分の経験を言うときに使われるネット掲示板の定型表現の一つで、このアスキーアートとともに使われます。このほか本文にある「www」なども、ネット特有のスラングです(「笑い」のイニシャル「w」から来ていますが、どちらかという、馬鹿にしたような笑いのニュアンスが含まれます。その見た目から、「草」などの表現を使って言うこともあります。「金のムダw」のよ

うに 1 個だけでも使われます)。クラスの興味によっては、こうしたネットスラングを集めて紹介してもいいでしょう。なおアスキーアートについては「教室の外へ」(P94)にもタスクがあります。

### 3 読んだあとで (P91)

匿名掲示板の情報の価値や注意点について考えるのが目的です。書き手が特定できる SNS や登録制掲示板の書き込みと比べると、匿名掲示板の書き込みは無責任で真偽がわからないものが多くなりますが、一方で本音の情報がわかるという意見もあるでしょう。嫌い、読みたくない、などの意見を持つ学習者がいた場合のフォローとしてください。

### 4 読むのに役立つ文法・文型 (P92)

#### ① V たところ (P92)

「V たら」と置き換えが可能ですが、「V たところ」のほうが、書きことば的な表現です。中級 1 のトピック 9 の会話で取り上げた「V たところだ」(中級 1:P191)とは、まったく別の表現ですので、混同しないようにしてください。

#### ② ～っぽい (P92)

「～ようだ」「～みたいだ」とほぼ同じ意味で使われることばですが、非常にインフォーマルな言い方です。日常的な話しことばや、この掲示板のように話しことばをそのまま文字にしたような書きことばの場合に使われます。

「～っぽい」にはいくつかの意味があり、「子供っぽい」「安っぽい」のように名詞やイ形容詞の語幹などに付いて、その特徴が見た目に強く現れているような場合に使ったり、「怒りっぽい」「あきっぽい」のように、動詞の連用形に付いて、その動作が簡単に起こりやすいことを表すのに使ったりするのが、伝統的な「～っぽい」の用法です。

しかし、ここで取り上げる「～っぽい」はこれとは違い、名詞、動詞の辞書形、た形、ない形などに広く付き、意味も「～みたいだ」の意味で、個人の推量や判断を示したり、断定を避けたりする言い方です。「マルチ商法っぽい」「ダメっぽい」「無理っぽい」のような名詞、ナ形容詞に付いた形だけでなく、「だまされたっぽい」ほか「効かないっぽい」「よくなってきたっぽい」のように自由に作ることができます。現在では若者だけでなく、日常的に使われている表現で、学習者が生の日本語に接したとき、目にする(耳にする)ことも多いと思われるので、ここで取り上げました。

この用法の「～っぽい」は、非常にインフォーマルな用法なので、フォーマルな場面や書きことばではあまり使われないことに注意を促す必要があるでしょう。

#### ③ ～わけじゃない (P92)

動詞、イ形容詞、ナ形容詞のいろいろな形につきます。肯定文に続くと、「はっきりそうだとは言えない」という弱い否定になり、否定文で「～ないわけじゃない」となると、「それを完全には否定できない」という弱い肯定になります。いずれもややあいまいな立場を表します。

「効き目がある」「効き目がない」「効き目があるわけじゃない」「効き目がないわけじゃない」の意味やニュアンスを比較したりしてみるのもいいかもしれません。とくに「ないわけじゃない」という二重否定の言い方は、混乱しやすいので、注意してください。

なお、ここではくだけた文章なので「わけじゃない」という形になっていますが、フォーマルな文では「わけではない」になります。

#### ④ Vくらいなら、～ (P92)

Vには話し手が強く否定したいと思っっていることが入ります。それと比べると、後件のほうがまだいい、という意味を表します。そのため、後件には現実的ではない極端な例が入ることもあります。

また後件には「ほうがいい」「ほうがマシだ」などの比較の表現が付くことも多いです。なお、「くらいなら」は「ぐらいなら」で置き換えることもできます。

#### 漢字のことば 漢字の整理 (P92)

本文に出てきた漢字が取り上げられています。これらのことばが本文のどこで出てきたかを確認し、読み方、意味を確かめたあと、キーボードで入力するなどの練習をしましょう。

##### ◆ 漢字を手がかりにことばを増やしたり整理したりする

人を表す「～者」「～師」「～家」「～手」「～士」などのことばを思い出してみます。クラスで知っていることばを挙げさせると、いくつか集まるでしょう。

ここでは、これらの漢字が人を表す意味で使われているということが確認できれば結構です。どのような時にどの漢字が選ばれるのか(いつ「～者」を使い、いつ「～師」を使うか、など)や、意味にどのような違いがあるか(「医者」と「医師」、「作者」と「作家」など)の規則を説明することは、この目的ではありません。「単語によって違う」程度の説明にして、あまり深入りしないようにしてください。

**PART 5 書く「世界の健康法」****Can-do 15** 健康法について具体的に紹介する記事を、インターネットの掲示板などに書くことができる。

インターネットの質問サイトには、いろいろな質問が寄せられます。日本語で書かれたこのような掲示板に、答えを書くことで、コミュニケーションの幅を広げます。

**1 書く (P93)****(1) 書くための準備**

ここでは日本人が世界の健康法について知りたいという質問を書き込んでいます。回答者は、実際には日本人でも外国人でもあり得ますが、この例では、最初の回答を外国人(ウズベキスタンの人)が書いている設定になっています。二つ目の回答は誰が書いたかは不明ですが、「ネットで見た」フィンランドの健康法について書いています。このように、自分の国の健康法について書いてもいいですし、ネットやテレビなどで見た、別の国の健康法などについて書いてもいいでしょう。

ここでは、くわしく読んで詳細を理解するのではなく、これから書く内容やその設定、全体の構成がわかれば結構です。

**(2) 回答を書く**

自国の健康法や、自分の知っている健康法について、回答を書きます。内容は、PART 3 「長く話す」で話す練習をした内容と同じですので、それについて書いてもいいし、違う内容にしてもかまいません。各内容の構成も、PART 3 (P89)を参考にしてもいいでしょう。質問掲示板の場合は、PART 4 で見た匿名掲示板とは違って、丁寧体を使ったかなりフォーマルな書き方になることが普通です。ここでも回答例のように、「です・ます」体で書かせるのがよいでしょう。

**2 書いたあとで (P93)**

ほかの人の回答を読むときは、最初の質問者になったつもりで読むようにしてみましょう。同じ国の同じ健康法ばかりになってしまった場合は、誰の説明がわかりやすいか、考えてみるのもいいでしょう。



## 教室の外へ

### わたしだけのフリース (P94)

(例)は、自分の健康状態を説明するために必要な、やや専門的なことばを挙げました。持病がある、アレルギーがある、特別な薬を飲んでいるなど、もし自分の健康に関して何か特別なことを言う必要がある場合は、辞書などで日本語を調べてメモしておく、将来にわたって使うことができるでしょう。

このほか、自分がしているスポーツの用語、運動全般やトレーニング関連の用語、健康法や美容など興味がある話題に出てくることばなど、自由にメモするようにしてください。

### 教室の外の活動のアイデア

#### ①

短い質問に答えていけば、健康状態を診断してくれる WEB サイトがいくつかありますので、これを体験してみます。紹介されている「カラダカラ」には、「ストレス度チェック」「お肌の年齢チェック」など、さまざまな診断が 50 種類以上ありますので、好きなものを選んでやってみるとおもしろいでしょう。そのほかにも、自治体や保険組合などが作った「生活習慣のチェック」「心の健康チェック」などのようなものもあり、質問の数や結果の出し方も異なります。クラスに合わせて、日本語の量や語彙の難易度などが合ったものを教師が選んで紹介するといいかもかもしれません。

#### ②

ラジオ体操の動画は、動画サイトにいくつもアップされています。スタジオでインストラクターが実演している動画を見ながら、自分でも一緒にやってみることもできますし、学校や職場などでしているところを写した動画を見れば、日本のラジオ体操の様子を知ることができます。

#### ③

このトピックで話題となった、世界の健康法について、動画をいろいろ見てみる活動です。「エリンが挑戦！ にほんごできます。」は国際交流基金が制作したサイトで、「見てみよう」のコーナーでは日本の文化に関する動画を無料で見ることができます。16 課の「見てみよう」では、乾布摩擦、青竹踏みなどの動画があります。

#### ④

「顔文字」はメールやメッセージなどでよく使われるもので、(´-`)のような単純なものから、☺(o^o)のように世界の文字を駆使した高度なものまで、さまざまです。アスキーアートはネット掲示板などでよく使われるもので、数行のものから数十行に渡る大規模なものまであります。いずれも検索すれば、これらをまとめたサイトがヒットしますので、いろいろなものが見られます。見るだけでなく、気に入ったものを日本語の辞書に登録してメールで使ったりしてもいいでしょう。

## トピック4 舞台を見るなら

演劇や踊りなどの舞台芸術には、国によっていろいろなジャンルやタイプのものがあり、外国を訪れたときなど、機会があれば一度見てみたいと思う人が多いでしょう。そこで、このトピックでは、自国を訪れた日本人旅行者に質問されたときなどに、自国の伝統芸能や舞台などについて、ある程度くわしく説明ができるようになることを目指します。このようなことができると、自分の国の文化紹介のきっかけになるでしょう。また、日本の舞台芸術についての話題にも参加できるようになることも目標にしています。

### ◎ 扉／準備

#### ● トピックについての質問 (P95)

芝居、歌劇(オペラ)、踊り、人形劇などを生で見た経験があるかどうか、どんなものが好きか、今まで見たものの中でよかったものがあるかなど、自由に話し合います。それによって、さまざまな舞台芸術があることに気づくことが目的です。

扉の舞台の写真は、日本の「歌舞伎」とインドネシアの「ケチャ」です。それぞれの国にはどんなものがあるかを考えるきっかけにしてください。歌舞伎もケチャも、その国を代表する伝統的な舞台芸術ですが、ミュージカルやショー、ダンスなど、新しい舞台について話してもいいでしょう。

#### 1 写真やレアリアを見る (P96)

日本で上演されている公演の写真です。選択肢から当てはまるものを選ぶように指示がありますが、名前を覚えることが目的ではありません。写真を見て、いろいろなジャンルのものであることやこの中の相違点に気づくことが目的です。一つ一つについて、教師がくわしく説明する必要はありません。興味のある学習者には、ネットなどで調べてみるよう促すといいでしょう。➡「教室の外へ」①

参考までに、写真①～⑥は次のとおりです。

- ① 歌舞伎: 日本の伝統芸能の一つで、役者は男性に限られる。演目は、踊りが中心のものからセリフが多いものまで多種多様で、衣装や化粧なども独特。
- ② オペラ: 歌劇は、もともとは西洋のものだが、日本でもオペラ劇団があり、いろいろな作品が上映されている。
- ③ 文楽: 日本の伝統的な人形劇。物語を語る「太夫」、「三味線」、人形を動かす「人形遣い」(3人で1人の人形を操るのが基本)から成るが、いずれも男性に限られる。
- ④ 宝塚: 女性だけの歌劇団で、歌と踊りが特徴。兵庫県宝塚市を本拠地とする「宝塚歌劇団」を略して「宝塚」と呼ばれる。
- ⑤ 新喜劇: 日本で発達した独特の喜劇で、大阪の「吉本新喜劇」と「松竹新喜劇」が有名。写真の「吉本新喜劇」は、漫才的で、芸人のキャラクターやギャグを楽しむという色合いがある。

⑥ 落語:最後に「オチ」がつく滑稽な噺をして、語りだけで人を楽しませる。落語家/噺家(話し手のこと)は、高座(舞台のこと)に座り、一人で何役も演じる。衣装や舞台装置などは使わず、ことばと仕草だけで表現し、使うのも扇子などの小道具に限られる。

### 文化 文化について考える (P96)

はじめの質問や 1 で考えたことをもとに、自国の舞台芸術の個々の例について、「よく見に行くのはどんな人ですか?」「どんな人に人気がありますか?」「どんな演目がありますか?」「演じているのはどんな人ですか?」「いつ頃からあったのでしょうか?」「値段は?」など、具体的に質問するといいいでしょう。それによって、自国のさまざまな舞台芸術の位置づけや背景について考えてみるのがねらいです。さらには、舞台芸術が、いつ頃どのように生まれ、どう継承されてきたのか、私達の生活の中にどう息づき、また変化してきているのかなど、自由に話し合ってみてください。

### 2 語彙や表現の確認 (P97)

舞台について話すときに、よく使われる表現を取り上げてあります。選択肢になっていることばのうち、「技術、値段、伝統」などは既習だとは思いますが、文脈の中で使い方を確認してください。なお、「寄席」というのは、落語などの催しを観客に見せるための場所や集まりのことです。

#### ◆ 赤字の言い方に注目しましょう

(A)「ポジティブなことを言っている」表現:(~が)いちばんです、(~に)感心させられます、(~の)ファンです。「ファン」は人物だけでなく「宝塚のファンです」のようにも使えます。

(B)「ネガティブなことを言っている」表現:イマイチな(人もいる)、(~は)どうかしてほしい。

「イマイチ」には「今日の演技はイマイチだった」「イマイチおもしろくなかった」のような使い方もあります。「今ひとつ」から来ている比較的新しい表現で、話しことばでよく使われます。略語がもとになった俗語的表現なので、カタカナで表記されるのが一般的です。

### 3 その他の活動 (P97)

舞台などについてコメントするときに使う表現を整理することが目的です。たとえば、「うまい」は「①今日の役者さんの演技はうまかった、④このオペラは演出がうまい、⑤音楽がよかった、演奏がうまかった」のように、複数のことがらのコメントに使えます。このように、選択肢になっている a-k のことばは、①-⑥のいくつかのものについてコメントするときに使えます。巻末に解答例がありますが、「使う、使わない」の解釈には人によって幅があるので、解答のとおりでなくてもかまいません。

なお、写真はオペラ、歌舞伎、舞踏、ミュージカルなどの舞台の写真です。舞台のイメージがわかるように載せてありますが、写真を使って「衣装がきれいですね」などと、練習させてもいいでしょう。

## PART 1 聞いてわかる「歌舞伎、いいですねえ」

**Can-do 16** 歌舞伎などの舞台芸術を見た経験談やコメントを聞いて、意見の違いやその理由が理解できる。

舞台や伝統芸能についての話題は、背景知識がある程度ないと理解しにくいものの一つですが、自分が興味にあるものについて、積極的に情報収集できるようになると理解が深まります。また、人から情報収集してみると、意見の違いや見方の違いに気づくことでしょう。ここでは、人による意見の違いやその人がそう思う根拠を整理しながら聞けるようになることを目指します。また、人の話を聞きながら、自分の興味の有無を示していけるような聞き手になることも、ここでの目標の一つです。

### 場面・設定の確認

ある国に住んでいる日本人の家で、お茶を飲みながら雑談をしているところです。日本へ旅行予定の女性(外国人)が、歌舞伎について日本人に質問しています。「歌舞伎を見てみようかなって思っているんですけど…」と言っている女性(聞き手)の立場で聞き、歌舞伎を見るかどうかを決めます。

#### ● 聞くまえに (P98)

話題が「歌舞伎」なので、まず、歌舞伎からイメージすることを、それぞれ自由に頭に思い浮かべてみます。歌舞伎にはいろいろな演目がありますが、ここではそのような説明は抜きにして、イラスト、扉や準備ページの写真、歌舞伎の映像(画像・動画サイトなど)を参考にイメージしたことを言わせればいいでしょう。歌舞伎を見てみたいと思ったかどうか、またどうしてそう思ったのかについても話し合ってみると、それぞれが持っている歌舞伎のイメージや好みの違いがわかるでしょうし、より積極的な聞きにつながると考えられます。

#### 1 内容を段階的に理解する (P98)

(1)で4人それぞれの歌舞伎(伝統的な歌舞伎)についての考えの違いを確認したあとで、(2)では歌舞伎についての話を中心に、(3)では歌舞伎以外のものについての話に焦点を当てて聞きます。

##### (1) 1回目の聞き:話し手の歌舞伎についての考えを理解する

それぞれの人の話全体を聞いて、歌舞伎(ここでは伝統的な歌舞伎を指す)をすすめているかどうかを把握します。②野口さんの答えに迷うかもしれませんが、「歌舞伎」と「スーパー歌舞伎」を区別して話しているので、「b.すすめていない」かつ「c.ほかのものをすすめている」であることがわかります。答えが一つとはかぎらないことを事前に言うておいてもいいでしょう。

(2) 2回目、3回目の聞き:歌舞伎についてのコメントの違いを理解する

①北村さん、②野口さんの話だけを聞きます。はじめは、二人が何についてコメントしているのか、話題の違いを把握し、次に、それぞれの点について、どう言っているかを聞き取ります。たとえば、「セリフ」についてコメントしているのは野口さんだけ、「音楽」についてコメントをしているのは北村さんだけです。「役者の演技」については二人ともコメントしていますが、コメントの内容は違ってきます。このように、聞きながら情報を整理していけるようになることが目標です。

(3) 4回目の聞き:歌舞伎以外のものの情報を整理する

②野口さん、③杉本さん、④高木さんの3人が、歌舞伎の代わりに何をすすめているか、その説明と、すすめる理由を聞き取ります。理由については選択肢があるので、選択肢の内容を確認し、予測しながら聞かせるとわかりやすいでしょう。

なお、④高木さんの話は、「歌舞伎」から話題が大きく飛躍しているので、少し理解しにくいかもしれません。はじめは「お笑い」の話をしていて、その中でとくにすすめているのが「新喜劇」であることに気づくことがポイントです。

## 2 聞くためのストラテジー (P99)

トピック3 (P81)では、相手の話に積極的に興味や関心を示すコメントの仕方を練習しましたが、ここでは、あいづちの違いによって、関心の有無を示すことができることに注目します。このような聞き方ができるようになると、自分の興味のない話題になりかけたとき、なんとなく、相手にそれを気づいてもらうことができるようになります。

「中級1」のトピック8(中級1:P171)では、友人同士のおしゃべりで、相手の話に同意したりしなかったりするあいづちに注目しました。それに対して、このトピックでは関心の有無を示すあいづちだという点が異なっています。

(1) ストラテジーの機能と言い方を確認する

③杉本さん、④高木さんの話の一部を聞き、聞き手がどのようなあいづちを打っていたか、聞き取ります。そのあと、◆であいづち部分だけ編集した音声聞いて、③は相手の話に関心がある場合、④は関心がない場合であることを確認します。④は、全体のイントネーションや言い方の特徴に注意してください。また、音声をまねして言う練習を加えてもいいでしょう。

(2) ストラテジーを使ってみる

(1)の③④と同じ話(★の部分が無音になっています)を聞いて、関心の有無によってあいづちを使い分けてみる練習です。実際の気持ちとは違うかもしれませんが、体験としてやってみます。ただし、無関心を示すあいづちでは、相手にあまり嫌な感じを与えてしまわないよう注意してください。

**3** 聞いたあとで (P99)

自分だったら歌舞伎を見に行くか、それともほかのものを見に行くか、また、そう思う理由を話します。4人の話を聞いたあとでは、はじめに考えた「歌舞伎」のイメージが変わったかどうかについても考えさせると、より現実の聞きに近づくでしょう。

**■** 聞いたことをまとめる (P99)

歌舞伎、スーパー歌舞伎、宝塚、新喜劇についての説明に使われたいろいろな表現が選択肢になっています。「ストーリーもドラマチックだから(⑧退屈しない)し」など、文脈をよく理解することが大切です。「(新喜劇は)、ギャクが(⑩中心)のお芝居で」の「～が中心のN」も、この機会に確認しておいてください。また、「毎回、必ずちょっと(⑪泣ける)プロットが(⑫入って)いて」の「泣ける」は、準備 **3** (P97)に出てきた表現ですが、意味的には「泣かせるプロット」という言い方も可能です。なお、プロット(plot)は、話しの筋道、骨組み、構想という意味で、この文は「全体の中で泣かせる要素が入っている」という意味になります。

## PART 2 会話する「楽しめると思いますよ」

**Can-do 17** 芝居などの演目、チケットの予約方法、観劇のマナーや楽しみ方など、質問に答えてくわしい情報が提供できる。

ここではオペラを題材に、自分の国の舞台芸術を見に行く際の、チケットの買い方や演目の紹介、観劇のマナーなどを教える会話を練習します。モデル会話では相手の質問に答えて話すターンが多くなっていますが、一問一答で答えるのではなく、くわしく話したり、手順を説明したりすると、B1らしい会話になります。

### ● 会話するまえに (P100)

質問では、自国で舞台芸術を見に行った経験について考えます。「オペラなどの」と書いてありますが、ここではチケットの買い方の手順について思い出せばよいので、オペラや舞台でなくても、音楽のコンサートなどでも結構です。この会話のテーマはオペラですが、もし学習者がオペラにはまったく興味がない(または自国にオペラがほとんどない)場合でも、日本人から、コンサートや舞台芸術の切符の買い方やマナーなどを聞かれることは、少なくないと思います。その国でよくありそうなものに置き換えるなど、興味をうまく引きつけるようにしてください。

設定は、ドイツの大学の研究室における、大学教師同士の会話です。なお「サバティカル(研究休暇)」という制度が一般的でない場合、簡単に説明してください。

### 1 会話の内容を理解する (P100)

①の質問は会話の前提になりますが、これは簡単に答えられると思います。②では、今井教授がどんなことを聞いたか、会話のテーマだけをまず聞き取ります。ここではカタリーナさんがどう答えたかは置いておきます。主な話題がチケット、演目、服装の3点であることが確認できればよいでしょう。

### 2 ことばの形式に注目する (P100)

はじめに、両者がお互いに丁寧体で会話をしていること、またお互いに「～ていただきたい」「おっしゃって」など、敬語を使っていることに注目させます。この会話では、二人の年齢や地位の上下には関係無く、二人があくまでも仕事上のフォーマルな関係であり、また今井教授は同僚というよりも、サバティカルで来た「お客さん」のような立場なので、おそらくカタリーナさんとは友達といえるほどの関係ではないだろう、ということを考えます。トピック 3 のダイエットの会話(P82-83)では、同じ仕事上の関係でも、サウレさんとまどかさんはお互い普通体で話していました。二つの会話を比べて、何が違うのか、普通対と丁寧体の使い分けにはどんな要素が影響するのかを考えさせてもよいでしょう。そのあと、スクリプトを見ながら( )の中の表現をチェックし、会話の内容も確認します。

ここで話題になっている演目について解説すると、『カルメン』はフランスのビゼー作曲のオペラで、スペインを舞台にジプシー女性カルメンを巡る恋と悲劇を描いた作品です。「前奏曲」を初め、「闘

牛士の歌」「ハバネラ」など有名な曲がたくさんあります。ワーグナーの『ワルキューレ』は4部作『ニーベルングの指輪』の第2作で、神と人間の複雑な関係が描かれます。第3幕の「ワルキューレの騎行」が有名です。いずれもYouTubeで「Bizet Carmen」「Wagner Die Walküre」など検索すれば、映像を見ることができます。オペラの雰囲気を楽しむため、学習者の興味によっては、クラスで簡単に見せてもいいかもしれません。

### 3 会話に役立つ文法・文型 (P101)

#### ① せっかく(～ん)だから、～ (P101-102)

「せっかくだから」という単独での用法と、「せっかく～(ん)だから」という、文に付ける用法を練習します。この「せっかく」は、「あまりない機会だから、この機会をぜひ利用する」という意味で、ほかの言語になかなか訳しにくいことばです。練習の例文から、そのニュアンスをつかませるようにしてください。練習は選択肢から選ぶだけですが、Aの発話のあと、選択肢を見るまえに、Bで自分だったらどう言うか、考えさせてもいいでしょう。

#### ② ～にかざる (P102)

「Nにかざる」と「Vにかざる」の両方をここで練習するため、①では例をそれぞれ1つずつ(計2つ)示してあります。練習では「～がいちばんいい」から言い換えさせているとおり、話者の非常にポジティブな評価を表します。「AはBにかざる」のように、「～は」とセットにして教えるとよいでしょう。

解答では、「Nがいちばんいい」の場合には「Nにかざる」を、「Vのがいちばんいい」の場合には「Nにかざる」「Vにかざる」の両方の表現を示しています。

なお「～にかざる」には、「チケットは一人一枚にかざる」「結婚相手の学歴や年収なんて気にしない。ただしイケメンにかざる」など、「限定」を表す用法もありますので、この用法とは区別してください。

#### ③ ～(の)かわりに (P102)

ここでも、「Vかわりに」と「Nかわりに」の両方を練習します。「かわりに」のまえにくるものが、本来期待・予想されていたもの／ことであることを確認し、それがいない場合の別の選択肢が後ろに来ることを確認してください。

#### ③ Nなんか (P103)

トピック3では、Nを軽視して、それを否定する「Nなんか」を取り上げましたが、ここでの用法は、例を挙げる「Nなんか」です。「たとえばNとか」で言い換えることが可能な例です。この場合、Nを軽視するニュアンスはありません。

練習は、音声を聞いて、どの話題について話しているか絵を選ぶだけですが、そのあと、◆で絵を見ながら「Nなんか」を使って会話を作る練習をします。その際、聞いた音声を覚えて忠実に再現



するのが目的ではありません。絵を見ながら「N なんか」を使って自分で自由に文を作らせてください。

#### 4 話すためのストラテジー (P103)

相手の質問を聞いて、それを「～ですか?」という形で質問の話題を確認してから答えるストラテジーです。もし理解が違っていれば相手が訂正してくれるでしょうし、質問の話題を確認することによって、自分が答えを言うための準備の時間を確保したり、会話の流れを整理したりすることができます。

(2)の練習は、①-③だけでなく、教師が適当な質問をほかにもいくつか考えて言ってみて、学生に「～ですか」で確認させてもいいでしょう。

#### 発音 発音の練習 (P103)

イントネーション、とくに文末のイントネーションには、文法的な機能(肯定か疑問かなど)を表すだけでなく、感情を表す機能もあります。イントネーションの実現には、音の高低の変化(上昇か非上昇か)に加えて、音の高低の変化の幅、全体的な高さ、伸ばし方、強弱など、いくつかの要素があります。どのような発音がどのような感情になるかという対応はなかなか示すことが難しいので、ここでは(1)、(2)a、b、cを比べてみて、意味の違いがイントネーションに現れていることが確認できれば十分です。

(1)は下降調のニュートラルなイントネーションで確認しています。(2)aは残念な気持ちを表し、全体が低く、遅めに、弱めに発音されます。bは反論、疑問で、文末が上昇調になっているのが特徴です。cは驚きを表しているので、全体の高低の幅が広がっています。

#### 5 ロールプレイ (P104)

はじめに(1)で、カタリーナさんのパートを、**A**チケットについて、**B**オペラの演目について、**C**服装について、それぞれどこで話しているか、分析します。ここでは今井教授のパートは無視して、カタリーナさんの発言のみに注目させてください。チケットの話題は、2カ所に分かれて出てくるので注意してください。それぞれの部分では、カタリーナさんは今井教授の質問を受けて、ある程度長くまとまりのある説明をしています。この点に注目させて、続くロールプレイでは、質問に答えて一問一答の会話にならないように意識させておきましょう。

(2)のロールプレイの①は、オペラの話題です。ここではまだ「本当に言いたいこと」を言う練習ではありませんから、本文で話されていたことを思い出しながら、オペラに関する会話を適当に作ってみてください。もちろん、この段階から、自分の国でオペラを見る実際のシステムについて話してもかまいません。

②では、自国の舞台芸術を見に行きたい日本人を想定して、できるだけ本当のことが言えるようなロールプレイをしてください。舞台にまったく興味がなく、何も言えない学習者がいた場合は、音楽のコンサートでも、スポーツ観戦でもかまいません。イラストには、サーカス、ケチャ、ルチャリブレ(メキシコのショー的要素の強いプロレス)、フラメンコが例として示してあります。このように、伝統的

なものから新しいものまで、何について話しても結構です。目標は、質問に答えながら、チケットを買う手順を説明したり、行った際のマナーや楽しみ方を説明したりすることです。聞かれたことだけでなく、積極的にアドバイスをするようにさせてください。

### PART 3 長く話す「市内の劇場で見ることができます」

**Can-do 18** 自分の国の伝統芸能や舞台、ショーなどについて、特徴や見どころなどを、ある程度くわしく説明できる。

舞台や伝統芸能などに旅行者や出張者などを案内するときに、くわしく話せるようになると、会話のよいきっかけになるでしょう。取り上げるものによっては、特殊な語彙を必要とするものもありますが、少し準備をして、自国の魅力を豊かに伝えられるようになることを目指します。

#### ● 話すまえに (P105)

それぞれの国の舞台や伝統芸能、またはショーなどで、日本人や外国人に人気があるもの、旅行者が見に行きたがるものなどを、日本語で簡単に話しておきます。

#### 1 モデル会話を聞く (P105)

ホテルのロビーでナムさんが、出張者の小野さんを「水上人形劇」に案内する予定について話しているという設定です。教科書の写真(下)は、水上人形劇を上演する劇場の写真です。設問の①-④にそって、水上人形劇がどんなものか聞き取ります。とくに、ナムさんが「④すすめる理由」としてどんな点を挙げているかに注意させ、「わかりやすい、短い話で飽きない、ベトナム語がわからなくても楽しめる」などのポイントを把握させます。

設問の答えを確認したあと、次のページ(P106)に水上人形劇の写真が載せてあるので、聞いてわかったことと実際の様子を比べてみてください。YouTube などの動画サイトにも水上人形劇の映像があるので、クラスで紹介してもいいでしょう。

#### 2 表現の確認 (P105)

話の流れの順に、「どんなものか説明する」「由来や歴史を説明する」「すすめる理由を言う」の3つに分けて、便利な表現を整理してあります。

⑨「～がもとになっている」と、⑩「～V普通形+だけで(も)楽しい」「(～すると楽しい)を強調した表現)以外は、これまで出てきたものの復習が中心になります。①②⑧の文脈指示の「そこ/その」は、トピック 3(P87)で出てきました。「すすめる理由を言う」ときに使う⑩⑪「～ので/から」も初級で勉強しましたが、いろいろなものが使えるようになることが B1 レベルの目標です。ほかには、「農村、豊作を祈る、民話」などの語彙の意味も確認しておいてください。

#### 3 モデル会話の確認とシャドーイング (P106)

まえの 2 で注目した表現が、実際の説明の中でどのように使われているかを確認しながら聞きます。スクリプトの中に「もともとは、豊作を祈る意味があったらしい」とありますが、これは、伝統芸能が祭りや年中行事や宗教などと結びついていた場合によく使われる表現です。ほかには「収穫を祝う」「感謝を捧げる」「祈りを捧げる」などの表現もあります。それぞれの国でも関係することがあれば、適宜紹介するといいいでしょう。

## ◆ シャドーイング

すすめる理由を述べているところをシャドーイングします。あまり長くないので、何回か繰り返して練習して、自然なリズムやイントネーションで言えるように挑戦させてみてください。

## 4 再話する (P106)

伝統芸能や舞台、ショーなどについて説明する練習で、ここでは、ベトナムの水上人形劇を題材にします。話の流れにそって、3枚のメモに内容を整理してあります。水上人形劇特有の表現も多く、実際に水上人形劇を見たことがない場合、話し手の立場になるのは難しいかもしれません。写真があるので、写真を見ながらメモの内容を確認して、話の流れを頭の中で思い出させてから、話させるといいでしょう。話させるまえに、カードを見ながら、音声をもう一度聞かせてもかまいません。

ここでの目標は、水上人形劇の話を上手にすることではなく、与えられた情報を使ってまとまりのある話ができるようになることです。最後は、①－③のメモの内容をつなげて話す練習をさせてみてください。これぐらいの量の話ができるようになると達成感を感じる学習者も多いと思われます。

## 5 自分のことを話す (P107)

## (1) 話したい内容を整理する

日本人を案内したり、日本人に紹介したりする機会の多いものの一つを選んで、話すためのメモを作ります。モデルの「ベトナムの水上人形劇」の場合は、演目がたくさんあるので水上人形劇全体の紹介になりましたが、演劇やオペラ、バレエやミュージカルなどの場合は、特定の劇団などの一つの演目について話してもいいでしょう。また、扉の写真(P95)にあるように、屋外で行う公演、公園やストリートなどで行う大衆芸能など、それぞれの国や地域で、実際にありそうな場面を考えて、内容を決めてください。

## (2) 話す

会話の切り出しが「〇〇にお連れします」となっていますから、ここは友達同士の会話というよりは、少しフォーマルな場面であることを意識させてください。話したあとで、Can-do チェックのチェックポイントにあるように「見どころや魅力」がうまく相手に伝えられたか、振り返ります。何回か相手を変えて話すとい練習になります。また、学習者が取り上げたものにあまりバラエティがなく、同じものを取り上げた人が多い場合は、「すすめる理由や見どころ」について誰の話がいちばん魅力的で見た気持ちになったか、聞き手役になった人からあとでコメントをもらおうといいでしょう。

## PART 4 読んでわかる「とっても厳しい世界ですよ」

**Can-do 19** 芸能の世界を扱ったある程度長い文章を読んで、内容が理解できる。

ここでは「インターネットで宝塚のことを調べていて、Q&A サイトがヒットした」という設定の読解活動です。このような Q&A サイトには、「Yahoo 知恵袋」「教えて！goo」などいろいろあり、一般の人が自由に質問を書き込み、それに一般の人が自由に答えるという形の掲示板になっています。取り上げられている話題も日常の小さな疑問から恋愛の悩み相談までさまざま、なかには日本語学習者が日本語について質問しているものもあります。具体的な話題が多く、B1 レベルに合っているものが多いので、学習者に紹介するとよいでしょう。ここでは、トピックに合わせて、宝塚の話題を取り上げた記事を扱っています。

### ● 読むまえに (P108)

宝塚について、知っていることを確認します。宝塚のことは PART 1 でも扱いましたので、このトピックを順番に学習した学習者は、概要は知っていると思いますので、それを確認します。準備にも写真がありますが、映像を見せると効果的でしょう。出演者が全員女性で、男性役も女性が演じること、歌や踊りを中心としたショーであることを確認してください。

### 1 内容を理解する (P108-109)

#### (1) 1 回目の読み: 中心となる質問と答えを見つける

はじめに、この Q&A の内容を大まかに理解するために、このトピックの骨組みとなる「質問と答え」を理解します。はじめに質問者の書き込みから、「どんなことが知りたいのか」を考えます。その次に、これに対する回答者の書き込みのうち、答えとなる大切な情報を探して、線を引きます。質問者の「なれるかどうか」という問いに対して、回答者のほうは、さまざまな関連情報を書き込んでいます。

なお、一般に「宝塚」と言われているのは「宝塚歌劇団」という劇団で、「宝塚音楽学校」という独自の学校を持ち、ここで 2 年間歌や舞踏を学んで卒業してはじめて劇団の舞台に立てるという、独特のシステムを持っています。この部分は本文ではあまり触れていないので、必要に応じて紹介してください。インターネット上にも宝塚のシステムを解説したサイトがいくつかありますので、適宜参照してください。

ここで読むのは「ベストアンサー」です。一般的に、こうした Q&A 掲示板は、質問に対して答えがいくつか寄せられる音が普通ですが、その中で質問者が「最も役に立った回答」として選んだものが、「ベストアンサー」です。この質問にも回答がいくつか書かれているかもしれませんが、ここではこの「ベストアンサー」だけを読んでみるという設定です。

#### (2) 2 回目の読み: 部分ごとにくわしい内容を把握する

(1) で全体の Q&A を理解したあと、ここでは一段落目 (A) の部分と二段落目 (B) の部分の内容それぞれについて、比較的詳細に理解します。A は、タカラジェンヌになるためのシステムを詳細

に述べている部分です。また[B]の部分の意図は、「トップスターになれるか」という質問者に対して、それがいかに難しいことであるかを伝えることです。はじめの設問では、選択肢 a-fのうち、a、c、e、f についても確かに触れられているものもありますが、それは主要な目的ではないことに注意します。

続く設問の○×問題を解くためには、それぞれの部分をさらにくわしく読む必要があります。○×を確認する際、なぜそう思ったのか、どこからそれがわかるか、根拠となる部分を言わせるようにするとよいでしょう。

### (3) 3 回目の読み: 筆者の意図を理解する

最後の段落([C]の部分)では、質問者に対する回答者の最終的な結論がまとめられています。「なれますか?」と軽く書き込みをした質問者に対し、「本気でなりたいたったら」と、質問者が本気ではないと断定し、「こんなところで質問している場合じゃない」と、自分で努力もせず、安易に掲示板で質問している質問者に厳しいことばを投げています。「誰にもわかりません」と答えているものの、その程度の覚悟でなることはまず「無理」であるということを言いたいのだ、という全体のニュアンスを読み取らせてください。このニュアンスについては、続く「読むためのストラテジー」でも確認します。

## 2 読むためのストラテジー (P109)

この書き込みで回答者が言いたいことは、上の(3)でも考えました。このように、書き手のことばの選び方によって、その書き手の態度を推測することができます。たとえば「とても難しいと思います」ではなく、ここで「超難関です」、「ちょっと厳しいかもしれません」ではなく、ここで「まず無理です」と書いている理由を考えさせます。両者を比べてみて、どのような違いが感じられるか、話し合ってみるのもいいでしょう。

ここでは質問への回答の書き込みでしたが、たとえば商品や映画、旅行サイトなどの口コミにも、こうした書き手の感情が使われていることばに表れている場合がよくあります。たとえば文中に「まったくダメ」「無駄」「論外」「信じられません」などがあれば、書き手は相当感情的に悪印象を持っていることがわかりますし、逆に「感激」「すばらしい」「ブラボー」「本当によかった」「涙が止まりません」などのことばがあれば、書き手が非常に感動してほめているだとということが読み取れると思います。

似たストラテジーとして、「中級 1」のトピック 4(中級 1:P109)で、コメントで使われていることばから、書き手の気持ちがプラス評価かマイナス評価かを考えましたが、ここではより深く、書き手の感情を考えます。

## 3 読んだあとで (P109)

伝統芸能や舞台芸術の世界というのは、宝塚などと同様に、独特の人材養成のシステムを持っているものです。日本でも、たとえば歌舞伎なども同じような特殊なシステムを持っています。ここでは自分の国の伝統芸能や舞台芸術の世界を宝塚と比べながら、自由に話してください。

#### 4 読むのに役立つ文法・文型 (P110)

##### ① Vには (P110)

動詞の辞書形に直接付いて、目的を表す言い方です。「V(ため)には」と、「ため」が省略されているという説明をしてもいいかもしれません。「には」のあとには、その目的を達成するために必要なことを述べるため、「～が必要だ」「～なければならない」などのことばが使われることも多いことを説明してもいいでしょう。

なお写真は兵庫県宝塚市の宝塚大劇場と、近くを走る阪急電車です。

##### ② ～うちに (P110)

この「～」の部分にも、動詞、イ形容詞、ナ形容詞、名詞のどれも来ることができます。ナ形容詞に付くときは「～なうちに」、名詞に付くときは「～のうちに」(例. 夏休みのうちに)になります。似ている表現に「～あいだに」がありますが、「～うちに」のほうが、その状態の間でなければならないことについて述べるニュアンスがあります。

##### ③ ～かどうか (P110)

この文型も、「～」の部分に動詞、イ形容詞、ナ形容詞、名詞のどれも来ることができます(ナ形容詞には「な」を取った形に付きます)。「～かどうか」から「どうか」を取っても意味は変わりません(なれるか/なれるかどうか)が、「～かどうか」のほうが、より選択の意味がはっきりします。疑問詞のある疑問文には使いません(「どうしたらなれますか?」→「どうしたらなれるか(×どうか)」)。

##### ④ Vて(いる)場合じゃない (P110)

今していることを否定するだけでなく、その瞬間に、ほかにすることがあるはずだ、というニュアンスを表します。ほかの人に強くアドバイスするときに使われることが多いですが、自分で自分に対して使い、自分の決意などを表す場合もあります。この用法は、「今していること」だけでなく、今したいと思っていること、しようと思っていること(実際はしていない)の場合にも使うことができます(例: 「飲みに行っている場合じゃない」→実際は飲みに行っていない。飲みを誘われたので断っている)。

#### 漢字のことば 漢字の整理 (P110)

本文に出てきた漢字が取り上げられています。これらのことばが本文のどこで出てきたかを確認し、読み方、意味を確かめたあと、キーボードで入力するなどの練習をしましょう。

##### ◆ 漢字を手がかりにことばを増やしたり整理したりする

「こうえん」のような、漢語の同音異義語に注目します。ほかにも「きかん」「こうせい」「せいか」など、いくつか挙げられるとよいでしょう。学習者から出ない場合は、教師がひらがなで「きかん」などと与え、学習者に漢字のことばを考えさせるとよいでしょう。なお、「機関・期間」と「気管・帰還」のように、

読み方は同じだがアクセントが異なる語の組が出た場合、それを使ってアクセントの違いに注目させてもいいでしょう。

なお、教師が自分でもあまり思いつかない場合は、ネットで「同音異義語」と検索すれば、例がいくつも見つかります。



## PART 5 書く「ぜひご参加ください！」

**Can-do 20** 地域の行事や催しなどについて、内容や見どころを説明する案内を書くことができる。

イベント案内のチラシを作るというタスクです。ここでは自国の芸能を見に行く会の案内、ということになっていますが、行事の内容や見所、詳細などが書ければ、違った設定にしてもかまいません（例：自分が出演している行事に客を呼ぶためのチラシ、友人を公演に誘うメール、etc.）。

### 1 書く (P111)

#### (1) 書くための準備

見本の例は、日本語講座の学習者が、地域に住む日本人を誘って水上人形劇を見に行く会のチラシです。日本人クラブや日本料理店にあるような、日本人が見る掲示板に貼るためのもの、という想定です。

はじめに誘いの文があり、日時などの情報が続いたあと、その公演の解説や見所などが続いています。この構成を確認することによって、自分で書くときにどのようなことを書けばいいのかを確認します。

#### (2) チラシを書く

次に、自分で同じようなチラシを作ります。グループで作業しても、個人ごとに作らせてもかまいません。(1)の見本は手書きで作成されていますが、手書きではなくコンピュータを使って作成してもいいでしょう。具体的な公演の種類は、PART 3 (P107) で練習したものを使って書いてもいいし、それ以外のものを選んでかまいません。単に事実を並べるだけではなく、内容や見所を魅力的に紹介し、チラシを読んだ者が「行ってみたい」と思うようなチラシを目指してください。

可能であれば、機関や地域で実際に行われるイベントと関連づけて、本当に実施するイベントの案内を作り、実際に掲示板に掲示して参加者を募り、集まった人達とイベントを実施すれば、より意味のある活動になるでしょう。

### 2 書いたあとで (P111)

ほかの人(グループ)が書いたものを見て、コメントし合います。同じ公演を選んだ場合には、どのような点が違うか比較したり、どのチラシが「いちばん行きたくなる」かコンテストしてみたり、いろいろ話してみてください。

## 教室の外へ

### わたしだけのフリース (P112)

(例)に挙がっているのは、オペラの日本語でのタイトルです。自分の好きなオペラ作品について話したいとき、日本語のタイトルが必要なので、これをいくつかの作品について調べておいたという状況を想定しています。同じように、自分の好きな舞台芸術の作品名や、専門的な語彙などを調べてメモしておけば、これらについて話すときに使うことができます。

そのほか、自国の伝統芸能を説明するときに必要なことばや、逆に歌舞伎や宝塚など日本の舞台芸術について読んだときに知ったことばなど、いろいろメモしておくといいでしょう。

### 教室の外の活動のアイデア

#### ①

本文に出てきた日本の舞台芸術を、実際に動画で見えます。授業のまえにあらかじめ見ておけば、本文の内容をより深く理解することができます。授業のあとで見る場合には、授業でやったことから想像していたものと比べてどうだったか考えるのもいいと思います。動画サイトには、数分程度の紹介画像から、1 時間を超える本格的な舞台の映像まで、さまざまなものがありますので、興味に応じて選ぶといいでしょう。「shinkigeki english」のように、ローマ字や英語で検索すれば、字幕付きの動画や、外国人向けの紹介動画なども見つかります。

#### ②

「宝塚」は歌劇団および音楽学校が公式ウェブサイトを持っています。サイトには、演目の紹介、出演者の紹介などさまざまな情報がありますので、これらを見て、PART 4 の理解の助けとすることができます。サイトには英語版のページもありますので、こちらを見てもかまいません。

#### ③

「チケットぴあ」など、日本にはチケットを販売するサイトがいくつかあります。サイトに行けば、日程、地域、公演の種類などで絞り込んで見ることができますし、それぞれの公演には簡単な紹介が書かれています。自分が興味のあるものを探してみたり、日本に旅行するつもりになって架空のスケジュールシミュレーションしてみたりするのもいいでしょう。値段を自国の同様の公演と比較してみたりするのもいいかもしれません。

#### ④

歌舞伎をはじめ、このトピックで紹介した演劇や芸能は、海外公演を行うこともあります。国際交流基金が招聘し、公演を開催することもあります。自分の国や町で、そのような機会があるかチェックし、可能であれば実際に行ってみることで、生の文化体験をすることができます。

## トピック5 身近なニュース

ニュースについての話題は、インフォーマルな場面でもフォーマルな場面でも大人の会話では一般的なものの一つです。少し社会的な話題についてもコミュニケーションできるようになると、会話に参加する機会が増えていくでしょう。ここでは、比較的良好なタイプのニュースなら情報収集をしたり、また、自分の身近なニュースであれば積極的に情報発信したりできるようになることを目指します。なお、このトピックは「中級 1」トピック 5「最近どう?」と同様に、特定の話題を扱うのではなく、ニュースという切り口でさまざまな話題を扱います。

### ◎ 扉／準備

#### ● トピックについての質問 (P113)

ニュースには、さまざまな媒体のものがああります。新聞やテレビのニュースはもちろんですが、ビルや電車の掲示板に映し出されるニュース、ネット上で見るもの、また人から聞いた事故の目撃情報などもニュースの一つと言えるでしょう。

扉の写真を見ながら、最近、気になったニュースについて簡単に話し合います。また、どんなジャンルのニュースに興味があってよく見ているか、どんなジャンルのニュースなら日本語でも話せそうかを振り返らせてみてもいいでしょう。

#### 1 写真やレアリアを見る (P114)

いろいろなメディアのいろいろなニュースを取り上げています。選択肢にあるように、ニュースを伝えるメディアやジャンルの広がり気づかせることがねらいです。ここでは、ニュースのくわしい内容まで把握させる必要はなく、見出しや写真などから推測させて、どんな種類(ジャンル)のニュースかがわかれば十分です。

なお、解答では、②のニュースのジャンルは「a. 社会」となっていますが、火事であることから「g. 天気・自然・災害」と理解する学習者がいてもかまいません。同様に、④のニュースは「c. 経済」と「d. 国際」となっていますが、「アベノミクス」ということばがわからず、dだけとしてもかまいません。

ニュースの内容(④以外は架空のもの)は以下のとおりですが、その内容をくわしく解説する必要はありません。

- ① 国会のニュース: 参議院本会議で、野党の党首が代表質問を行った
- ② 苫小牧(北海道)で火災があったが、けが人はなかった
- ③ 古川麦(ミュージシャンの名前)のニューアルバムが発売が決定した。全国ツアーも実施予定
- ④ パリの同時多発テロの真相: パリで起った同時多発テロの真相(本当はどうであった)を語る  
崖っぷちのアベノミクス: 安倍政権の経済政策であるアベノミクスが危ない状況になっている
- ⑤ ~さんが金メダルを獲得した

⑥ 関東地方(さいたま市北部)で震度6強の地震があった。津波の心配はない

### 文化 文化について考える (P114)

ここでは、ラジオ、テレビ、新聞、ネットなど、どんなメディアでニュースを得ているかについて考えます。ニュースのジャンルによって、または同じニュースでも目的によってメディアを使い分けているように思います。身近なニュースだけではなく、外国や国際社会のニュースの場合なら、どうやってその動きを知ったり、最新情報を得たりしているかなど、何をどんなメディアを使って見ているか／読んでいるか／聞いているか、最近の具体的なニュースについて、自由に話してみるといいでしょう。日本語でまだ話せないことについては、母語やクラスの共通語を使ってもかまいません。

### 2 語彙や表現の確認 (P115)

5人の人がインタビューに答えて、いろいろなニュースについて話している場面です。ここでは、このトピックのPART 1 (P116-117)、PART 2の会話 (P118-119)の準備になるように、そこに出てくる語彙を選択肢にしてあります。語彙に注目させるだけでなく、ニュース全体を理解させ、背景知識を活性化させておいてください。

#### ◆ 赤字の言い方に注意しましょう

自分でニュースについて話したり、人からニュースを聞いたりしたときのコメントを、肯定的か、否定的かで分けます。教科書に載っているもの以外にもいろいろありますので、知っているものがあつたら、クラスで共有しておくといいでしょう。

(A)「肯定的なコメント」:楽しみです、やってくれましたね

(B)「否定的なコメント」:怖いです、勘弁してほしい、ひどい話です

### 3 その他の活動 (P115)

インターネットのニュースサイトの見方を紹介しています。サイトによってレイアウトの違いはありますが、内容・構成は似ているので、コツをつかめば、興味のあるジャンルのニュースだけ見たり、動画ニュースだけ見たりすることができるようになります。実際のニュースサイトにアクセスして、比べてみるといいでしょう。➡「教室の外へ」①

## PART 1 聞いてわかる「逮捕されました」

**Can-do 21** 身近なテーマについての短いニュースを聞いて、要点が理解できる。

インターネットであれば、場所や時間に関係なく、日本語のニュースが見られます。サイトにアクセスして生の日本の情報に触れることができると、日本事情についていろいろな発見があることでしょう。また、インターネットの動画ニュースは、見出しや映像から内容が予測しやすいこと、全体があまり長くなく何回も繰り返して聞けること、字幕などが付いていることから、学習リソースとしても効果的なので、ぜひ利用してほしいものの一つです。そこで、ここでは、ニュースから主要な情報が把握できるようにするための聞き方を主に学習します。

## 場面・設定の確認

家などで、インターネットのニュースサイトを見ている場面です。

## ● 聞くまえに (P116)

4 つの日本のニュースの写真を見て、どんなニュースだと思うか自由に話します。そして、予測した内容を(例)のようメモしておきます。これは、次の **1** (1)の活動につながります。

**1** 内容を段階的に理解する (P116)

ここでは、ニュース前半だけを聞いて、どんなニュースかを把握します。ニュースの後半は、**2** で、聞くためのストラテジーを関係づけて聞きます。

(1) 1 回目の聞き: 予測が合っていたかどうか確認する

①-④のニュースの前半だけを聞いて、「● 聞くまえに」で予測したことが当たっていたかどうか、確認します。ここで聞くのはニュースの前半部分だけですから、提供されない情報が半分以上あることとなりますが、それを明らかにすることも目的のひとつです。

(2) 2 回目の聞き: 前半の内容をくわしく理解する

もう一度、各ニュースの前半部分だけを聞きますが、そのまえに、選択肢のことばの意味を考えながら、どのニュースに関係がありそうか分けさせておきます。ニュースを聞き、選択肢のことばの分け方が合っていたか、またどこに出てきたかを確認させます。そのことばだけを聞き取るのではなく、その前後に注意させ、どんな文脈で使われているに注目させるといいでしょう。それによって、ニュースの内容がよりくわしく理解できるようになります。

たとえば、①のニュースの場合であれば、「22 日、……『金色のサルがいる』をいう通報が入り、駆けつけ大阪府警の警察官によって捕獲されました」という文を聞けば、そのだいたいの意味が理解できるようになるでしょう。

◆では、ニュース①-④に分けたことばを見ながら、ペアやグループでそのことばについてどう言

っていたかを話します。ディクテーションではないので、①のニュースの場合であれば、「大阪の公園に『金色のサルがいる』という通報／連絡があって、警察官が、そのサルを捕獲しました／捕まえました」というようなことが言えれば十分です。

## 2 聞くためのストラテジー (P117)

内容を予測するのは、ニュースの最初だけではありません。ニュースを聞きながら、頭の中でそれまでに提供された情報を整理し、わかっていないことは何か、自分が知りたいことは何か、常に目的を持った聞き方ができるようになると、内容把握に役立ちます。ここでは、そういう積極的な聞き方ができるように、ニュースの後半部分を使って、質問を考えてから聞く練習をします。

### (1) ニュースの続き(後半)の内容を予測する

それぞれのニュースの続きの部分で提供されると思う情報、知りたいと思うことについて、質問を立ててみます。**1** (1)で確認したように、ニュースの前半部分だけでは「わからなかったこと」を思い出してみると考えやすいでしょう。練習では質問は3つに限定してありますが、数は問題ではありません。また、イメージがわきやすいように、続きの映像を写真にして載せてありますが、写真についての質問だけを書くわけではないことに注意してください。

### (2) ニュースの続き(後半)を聞く

ここでは、ニュースを漠然と聞いたり、全部を理解しようとしたりするのではなく、(1)で立てた質問の答えがあるかどうか、ある場合はどう言っているかに注目して聞きます。終わったら、ペアやグループなどで、お互いに自分の質問の答えがあったかどうか、わかったことを共有します。人によって、質問がある程度異なっているでしょうから、答えを共有することによって、ニュースの後半の内容について理解がすすむと思われれます。

最後に、◆でニュースの前半と後半をあわせて、ニュース全体を聞きます。ここではじめて、それぞれのニュース全体を通して聞くこととなります。ほかにわかったことなどをメモし、ペアやグループ、クラスで共有して、わかることを増やします。

B1 レベルとしては覚える必要はない難しい語彙も使われていますが、文脈からわかることは積極的に推測し、その上で、教師が適宜、意味を確認します。実際の動画ニュースでは、スクリプトが表示されるものもあるので、最後の段階になって、スクリプトや語彙表(まるとサイトからダウンロード)を見て聞き直してみてもかまいません。ただし、教師が細部にわたって一つ一つ説明する必要はありません。実際のニュースを聞く場合は、逐語訳するような聞き方はしないという点に十分に注意してください。

## 3 聞いたあとで (P117)

ここで取り上げたニュースは、①動物のニュース、②強盗事件のニュース、③季節のニュース、④スポーツのニュースです。いずれも身近なニュースで、国や地域が違っていても共通していると思

われます。そこで、これらのニュースと類似のニュースの例を、それぞれの国や地域の最近のニュースから挙げさせてみてください。なお、このあと、実際のニュースサイトでこれらのジャンルのニュースを日本語で見してみる活動を取り入れるといいでしょう。➡「教室の外へ」①

#### ■ 聞いたことをまとめる (P117)

4つのニュースを要約します。選択肢になっていることばは、「輸入や飼育が法律で(②禁止)されている」「(⑥容疑)を認める」「(⑩注目)を集める」「(⑫活躍)が目立つ」のように、動詞とセットにして、文章中での意味・使い方を確認してください。

なお、ニュースの要約なので、(1)「絶滅危惧種、闇ルート」、(2)「覆面、刃物」、(3)「最盛期」、(4)「着ぐるみ」など、そのニュースに関係のある特別な語彙が出てきますが、理解できれば十分で、覚えさせる必要はありません。

## PART 2 会話する「火事だそうですよ」

**Can-do 22** ニュースで知った事件や目撃した事故などについて、状況や原因などをある程度くわしく説明したり、質問に答えたりすることができる。

自分が見聞きした身近なニュースを、ほかの人に教える会話です。単にどこで何があったという事実を言うだけでなく、ニュースの詳細を説明したり、その原因を述べたり、自分のコメントを話したりするような、B1 レベルのまとまりのある話を目指します。相手からの質問に答える場合も、一問一答になるのではなく、できるだけくわしい情報が話せるようになることが目標です。

### ● 会話するまえに (P118)

会話の前の質問では、このトピックのテーマである「身近なニュース」について話します。政治、経済、国際関係などのグローバルな話題については、B1 ではまだ扱える必要はありません。B1は、身近で具体的なニュースを扱うレベルです。地元テレビなどで報道されたものでも、自分が直に体験したものでもかまいません。「火事や事故」だけでなく、イベント、季節の話題など、身近なニュースをクラスで簡単にシェアしてください。

会話の設定は、ウクライナの日系企業のオフィスで働く 3 人の会話です。おそらくこのオフィスには全部で 3 人だけしか働いていないのでしょう。高須さんが年上の上司で、中井さんとオレーナさんが比較的若い部下であるということを確認します。中井さんは日本から派遣された駐在員、オレーナさんは現地採用のウクライナ人スタッフで、オフィスの共通語は日本語です。

### 1 会話の内容を理解する (P118)

中井さんが遅れてきた理由は「道路が渋滞していたから」ですが、さらにその原因として、「橋が火事で通行止めだった」ということを確認します。橋の状態は、はじめに今の状態を、それから将来の修復の見込みと、分けて聞くようにしてもいいでしょう。

### 2 ことばの形式に注目する (P118)

普通体と丁寧体の使い分けは、上司である高須さんが常に普通体を、比較的若い部下の 2 人（中井さんとオレーナさん）は常に丁寧体を使っていることを確認します。中井さんはときどき「知らなかったな」「勘弁してほしいなあ」などの普通体を使っていますが、これはほかの人に話しかけるのではなく、自分の気持ちを表した、独り言のような時に使っていることに注目させてください。

( ) の中にことばを入れながら、中井さんが遅刻したことと道路の渋滞、渋滞の原因である火事の詳細、橋の現在の状態と復旧の予定など、詳細を確認するとよいでしょう。

### 3 会話に役立つ文法・文型 (P119)

「ニュース」というトピックに合わせ、ここでは比較的フォーマルな固い表現が中心になっていません。



### ① ～せいで (P119-120)

名詞に「N のせいで」と付くのが最も簡単な形ですが、ここでは動詞や形容詞に付く形も練習します。それぞれ現在形にも過去形にも否定形にも付きます。「～せいで」に続く後件には、比較的よくないことが来るのが普通です。

練習は、後件を読んでから、その原因を考えて、「～せいで」を使って言う練習です。選択肢を見ないで、まず後件の文だけを見て、その原因を考えて言わせたり、またイラストだけから状況を考えて言わせたりするなどの練習を行ってもいいでしょう。選択肢を選んで文を言う練習のあとで、◆で絵を見ながら文を言う練習をしますが、①-⑤の文を覚えて再現するのが目的ではないので、原因→よくないこと、という関係になっていれば、例文から離れて、自由に作らせてもかまいません(例:山道で転んだせいで、頂上に行けませんでした、など)。

### ② Nによると (P120)

ニュースの情報源を示す表現です。ここではイラストを見ながら、その情報源と、聞いた内容をほかの人に伝えて言う練習をします。情報源の「～によると」は、イラストから想像できることを自由に言ってください。ここでは必ずしも解答と一致する必要はありません(例:③「うわさによると」→「聞いた話によると」「友達によると」、⑤「調査によると」→「資料によると」「雑誌によると」「このグラフによると」などでも OK)。情報源を自分で想定し、「～によると」でそれを言えることが大切です。なお文末も、解答では「～そうです」になっていますが、ほかの表現(「～と聞きました」「～みたいです」など)でもいいでしょう。

### ③ V 見込みだ (P120-121)

ニュースなどで聞いた話をほかの人に伝える練習です。練習では、これらが「聞いた話」であることを示すため、文末がみな「～って言ってました」の形になっています。「～見込みだ」の部分が予想を表し、「～って言ってました」が伝聞を表すということを、必要に応じて整理してください。必ずしも「～見込みだって言ってました」だけでなく、「～見込みだそうです」や「～見込みだとのこと」などでも言うこともできます。またこの表現が、比較的フォーマルな場面で使われる「固い」表現だということにも注意をうながしておきましょう。

### ④ 話すためのストラテジー (P121)

思い出せないことばを「とにかく適当に言うてみる」というストラテジーです。疑問調で語尾を上昇させて言うことで、自信がないことを相手に伝えることができます。そのことばが正しいときには聞き手が肯定してくれ、間違っているときは聞き手が訂正してくれる、という状況を想定しています。

学習者の中には、一つの単語が思い出せないだけで、考え込んでしまって会話が止まってしまう場合もあります。そのような事態を避けるため、「自信がなくても、とにかく何か言うてみる」ことをすすめています。(3)の「会話の例」の音声では、①と②それぞれに、「何か言ったことばが間違っていて訂正されるパターン」と、「合っていたのでそのまま会話が続くパターン」の両方が収録されて

います。また、一つの言い方を言うだけでなく、可能性があることばをいくつか続けて言う（「消化車？防火車？消防車？」など）ことも有効でしょう。大切なのは、単語が思い出せないからと言ってそこで悩むのではなく、適当にでも言って、なんとか会話を続けるということです。これは、トピック3の「～なんとか～」（「有なんとか運動」など）のストラテジー（P85）にも共通しています。

### 発音 発音の練習（P121）

日本語の自然な文では、文の途中とくに新しい情報（フォーカス）がなければ、どんどん下がっていくイントネーションになります。外国人学習者の場合、この「どんどん下げる」がなかなか難しく、途中の単語ごとに高くしてしまい、どこが大切な情報なのか、わからなくなってしまうことが多くあります。このような不適切な発音も、（× ）として音声を入れてありますので、聞き比べてみましょう。練習では、青の曲線を見ながら、文全体が一つのヤマとして下降調で発音されていることを確認し、自分でもそのように発音してみます。

逆に、文の途中にフォーカスが来てそこが高くなる場合については、中級1のトピック6で練習しました（中級1 PART 2 : 発音: 「文のフォーカスとイントネーションのヤマ」P139）。適宜参照してください。

### 5 ロールプレイ（P122）

はじめに、会話の中のオレーナさんの話をくわしく分析します。オレーナさん以外の人（中井さん、高須さん）のセリフの部分は、ここでは無視してもかまいません。

作業は、次の3段階です。まず(1)①で、オレーナさんの話を、ニュースの伝聞の部分と、自分のコメントを話している部分に分けます。次に(1)②で、**A**の伝聞の部分を、a-dの内容ごとに整理します。最後に◆で、これらが質問に答えて言っているのか、自分から言っているのかを区別します。これらの作業によって、聞いたことを伝聞の形で言う言い方と自分のコメントを言う言い方の違いに注目させたり、また会話が質問に答えるだけでなく、自分からも情報を提供することで話が続けているのだということを意識させたりすることができます。

続くロールプレイ(2)は、はじめに①で、モデル会話にならって、「近くの工場の火事」を伝える会話をします。モデル会話で聞いた内容や、自分の知っている知識を使って、「火事」の様子を考えます。これは、ロールプレイのためのフィクションですから、適当に考えて言わせてください。質問に一問一答で答えるだけでなく、自分から積極的に詳細情報を提供するなど、B1らしい会話を目指してください。

②のロールプレイでは、自分の町で起こった事件や事故について、ニュースで見た内容を伝える形で話します。町で本当にあったニュースについて話してもいいですし、練習のために架空のニュースを考えて話してもいいでしょう。ただし、ここではローカルな身近なニュースについて具体的な話をするのが目標ですので、政治や国際などの抽象的なニュースにならないようにしてください。やはりここでも、質問に答えるだけの一問一答で終わらないようにしましょう。聞き手のほうも、そのニュースに興味を示しながら、聞きたいことを質問していくと、会話が発展していくかもしれません。

### PART 3 長く話す「市のホームページで見たんですけど…」

**Can-do 23** 自分の国や地域などのニュースについて、ある程度くわしい内容とその背景などが説明できる。

この PART では、情報提供者として、同じ国に住む日本人に対して、自国のニュースの内容を説明できるようになることを目指します。その国のことばがよくわからないと、身近なニュースであっても最新のくわしい情報は入手しにくいものです。そこで、そういう人に日本語を使って説明することができれば、会話のいいきっかけになりますし、自国のことを理解してもらうチャンスにもなるでしょう。PART 2 との違いは、一人でまとまりのある話ができるようになることです。

#### ● 話すまえに (P123)

最近のニュースの中で、日本人の友人や知人に教たいものを自由に挙げさせます。ニュースといっても深刻なものでなく、話のネタになるようなおもしろいものや、地域のお得な情報、日本関係の話題など、現地の日本人との会話のきっかけになりそうなものが多いと思います。実際に友人や知人がいる人は、その人の顔を思い浮かべながら、考えてさせてみるといいでしょう。

#### 1 モデル会話を聞く (P123)

ある国の日本人補習校の出迎え時間に、子供を待ちながら、父母が雑談をしている場面です。話題はごみの捨て方ですが、これは、生活に密着した身近なニュースの例として取り上げました。

モデル会話を聞くときは、教科書のイラストにあるごみの絵を見ながら聞き、ゴミ捨てるの仕方がどう変わるのかを確認します。ごみについての話題は比較的一般的なものなので、特別な背景知識がなくてもわかると思います。それぞれの国の分別のシステムなどと比較させてみるのもいいでしょう。

#### 2 表現の確認 (P123)

全体を、「ニュースを簡単にまとめて伝える」導入部分と、それについて「内容を説明する」部分に分けて、モデル会話の流れにそって、表現を整理してあります。

①③⑦⑩など、伝聞・引用を示す「～そうです、～らしいです、～って書いてありました」が中心になっていますが、これらはすでに既習項目だと思うので、簡単に確認する程度でいいでしょう。「大きさ(⑤によって)値段が違う」の「～によって」は、「中級 1」トピック 2(中級1:P69)の「国によってバラエティがある」と同じ用法です。この「中級 2」では、トピック 8 の文法・文型(P182)で取り上げます。「(⑧まえから)、……。 (⑨でも)、……。 (⑩それで)、……」は、3 つの文の意味関係に注目させてください。

#### 3 モデル会話の確認とシャドーイング (P124)

まえの 2 で確認した談話の流れ(とくに、ニュースの要点、詳細情報、背景、補足情報という構成)と表現に注意して、スクリプトを見ながら、説明の仕方を確認します。比較的親しい間柄なので、「～なくちゃいけなくなる」「で、～」「～みたいで…」などの、縮約表現や言いさし表現が使われて

います。また、最後に、簡単にニュースのコメントを述べて話を終わらせるという談話構成になっています。

#### ◆ シャドーイング

ニュースの切り出し部分から詳細情報までをシャドーイングします。シャドーイング箇所が短いので、発音やイントネーションにも気をつけて練習させてください。

#### 4 再話する (P124)

「ごみの捨て方」を例にして、ニュースを説明する練習をします。話の展開の順に、①-④のメモに情報がまとめてあります。はじめに「ニュースの要点」を要領よく話し、「詳細情報」「背景」などを述べ、必要があれば「補足情報」を加え、最後に「コメント」してまとめるという談話構成に注意しながら、話させてください。

#### 5 自分のことを話す (P125)

##### (1) 話したいことを整理する

トピックとして選ぶニュースは、日本人が興味を持ちそうなことならなんでもいいですが、友人との雑談場面でのおしゃべりに合う話題を選ばせてください。B1 レベルは、身近で具体的な話を目指すレベルなので、取り上げるニュースは、新聞やテレビで大きく取り上げられるようなニュースよりもむしろ、「日本のラーメン屋が来年開店」「日本との間に直行便の就航が決まる」「●●でストが予定されている」「連休で●●が大渋滞／大混雑」「●●が初公開」「●●の値上げが決まる」など、身近で、かつ自分の日本語でくわしく内容が説明できそうなニュースがいいでしょう。あまり難しい社会問題のニュースを取り上げてしまうと、自分の意見を述べることが主になるので、ここで学習した談話構成に合わなくなってしまうので注意してください。クラスの中で選んだニュースにバラエティがあると、(2)の話す練習が楽しくなると思われます。

内容のメモを作るときは、レポーターやキャスターとして報道することが目的ではないので、自分がくわしく話したい部分を中心に考えさせるといいでしょう。選んだトピックによっては「③背景」が思いつかない場合もあるかもしれませんが、その場合は、カットしてしまってもかまいません。また、モデル会話では、「②詳細情報」→「③背景」の順になっていますが、取り上げるニュースによって、順番が逆の方がいい場合もあるでしょう。これについても、適宜、調整してください。

##### (2) 話す

(1)の準備をする段階では、新聞記事などからネタを集めるのはかまいませんが、話しことばと、書きことばは違います。新聞を読んでいるような不自然な会話にならないように注意してください。また、ここでの目的はクラス内での学習活動としてのプレゼンテーションではないので、「～のニュースの報告」のような場面や目的がわからない活動になってしまわないよう、聞き手を意識した話し方になっているか注意してください。

## PART 4 読んでわかる「外国人観光客向けアプリが話題に」

**Can-do 24** ニュースの記事を読んで、できごとの要点や背景が理解できる。

インターネット上にはさまざまな無料ニュースサイトがあり、日本のニュースサイトにも簡単にアクセスできます。ここでは、ネット上のニュースから主要な情報を把握することが目標ですが、ニュースのタイトルから内容を予測し、問題意識を持った積極的な読み方ができることを目指しています。また、ここで学んだとをきっかけに、それぞれが興味のある分野のニュースを実際のサイトから見つけて読んでほしいと思います。

● 読むまえに (P126)

インターネット上でニュース記事を読むことがあるか、身近にどんなニュースサイトがあるか、どんなジャンルのニュースに興味があるかなど、自由に話します。娯楽やエンターテインメント関係の情報が主体のサイトなど、いろいろなニュースサイトがあることに気づくといいでしょう。話題にするのは、日本語のニュースサイトでなくてもいいですが、もし、日本のニュースサイトを見たり読んだりしたことのある学習者がクラスにいれば、そのサイトを紹介してもらおうといいでしょう。

1 内容を理解する (P126-127)

はじめに、(1)と(2)でタイトルから内容を予測してから読ませ、次に(3)(4)で、段落ごとに内容を整理して読みます。

(1) 見出しから内容を予測する

新しいアプリが開発されたというニュースを読みます。ジャンルとしては「IT・科学」となっていますが、内容は外国人観光客をターゲットとした日本旅行用のアプリのニュースなので、特別な背景知識がなくても読めるものの一つだと考え選びました。

読むまえに、「新たな日本の魅力を発信！リピーター外国人観光客向けアプリ『NippoNavigation』が話題に」という見出しだけから、この記事にはどんな情報が書いてあるかを考えさせ、それを「質問」の形で書かせます。これは、目的を持って読むことの重要性を認識してもらうためです。質問は、例にある「何ができるアプリか？」「どんな観光情報か？」のような一般的なものでも、「アニメについての情報があるか？」のような個人的なものでもかまいません。自分がこのアプリを使うとしたら、どんなことを知りたいかという観点から考えさせると、いろいろな意見が出るでしょう。また、どんなことを考えたかをクラスでシェアして、板書しておいてもいいと思います。

(2) 1回目の読み: 予測した情報について書かれているか探す

(1)で立てた質問の答えを捜しながら読みます。目的は、自分で予測したり、知りたいことを考えたりしながらその答えを探していく読みを体験させることです。(1)で質問を板書した場合は、クラス全体で、どれについて書いてあったかチェックするといいでしょう。そしてニュースなどのタイトルから内容を予測して読むことによって、情報の把握が容易になることに気づけるといいでしょう。

なお、この読み方は **2** で取り上げる読むためのストラテジーを使っているのです、ここで、それを確認してもかまいません。

### (3) 2 回目の読み: 段落ごとに要点を把握する

この記事は、**A**–**E** の5つの段落に分かれています。まず、わからない語彙や表現にとらわれず、段落ごとに何が書いてあるのか、要点を把握するような読み方をさせます。アーオの選択肢を見ればある程度の予測がつくでしょう。それぞれの段落の要点と記事の全体構成がわかったら、次に、**A**「イ. ニュースの大まかな内容」とはどのようなことか、**B**「ア. アプリが作られた背景」とは何かなどのように、それぞれの段落の内容について具体的に確認します。

### (4) 3 回目の読み: 記事の説明と具体例を結びつける

記事で述べられている説明内容を、自分が知っている事例と結びつけながら読むことは、内容を本当に理解するために大切なことです。ここでは、**B** **C** の段落に注目し、観光客の二つのニーズ、①「定番のニーズ」と②「最近のニーズ」が実際に何を指しているか考えさせます。

**B** の「外国人の日本旅行といえば、有名観光地、伝統文化、日本料理やショッピングなどが定番だった」「しかし、……日本を深く理解したい、日本の多様な面が見たい、現代の日本の文化を体験したい、といったニーズが最近目立つようになった」という箇所が、それぞれ、どんな例に結びつくかがわかれば、この説明が本当に理解できたこととなります。**C** で「有名観光地の情報はもちろん、地元の人しか行かないような飲食店やイベントなど……」と、「有名観光地」と「地元の人しか行かないような飲食店」が対比されているので、それを参考に考えます。日本の例で考えるのが難しければ、自国の観光スポットの場合に置き換えて考えさせてみるのもいいでしょう。

## **2** 読むためのストラテジー (P127)

**1** (1) (2) で体験した読解ストラテジーの確認になります。ニュースの見出しから内容を予測し、どんなことを書いてあるか、どんなことを知りたい／読み取りたいかについて自ら質問を立て、その答えを探すために読んでいくような積極的な読み手のストラテジーです。「PART 1 聞いてわかる」でも使用したストラテジーですが、ニュースなど情報提供型のテキストの場合、内容スキーマからの予測が比較的容易なので使用しやすいでしょう。

## **3** 読んだあとで (P127)

ニュース記事は日本に来た外国人観光客向けのアプリの話でした。ここでは、自分の国に来た外国人観光客向けアプリを想定して、どんなアプリが作りたいか自由に考えます。自国のことをよく知ってもらうためにはどんな過ごし方をしてもらいたいのか、どんなふうに楽しんでもらいたいのか、そのためには、どんなアプリがあれば便利だろうか、考えさせるといいでしょう。ここでは、実際にアプリが作れるかどうかの技術的な面は問題にする必要はありません。自分の身の回りの環境にひきつけて読むことによって、さらにこの記事の理解が深まることが期待されます。

また、事後活動として、クラスや個人で、気になったニュースを読んでもみる活動に、ぜひ発展させてみてください。各国で出されている日本語のフリーペーパーや簡単な日本語新聞などのニュースは B1 レベルの学習者にも比較的読みやすいものが多いでしょう。また、インターネットで、「日本、サービス、商品」などのことばで検索して、ニュースを探してみてもいいでしょう。➡「教室の外へ」③

#### 4 読むのに役立つ文法・文型 (P128)

##### ① N に関する N (P128)

「～に関する」は「～についての」とほぼ同じ意味です。書きことば的なやや固い表現になります。後ろに動詞が来る場合は、「～に関して調査する」のように「～に関して」になります。

##### ② N といえば、～ (P128)

ここでの「N といえば、～」の用法は、「東京の人気スポットといえば、東京スカイツリーだ」「日本料理といえば、すしと天ぷらだ」の例のように、誰もが定番だと思うものを挙げるときの使い方です。教科書の例文がわかりにくい場合は、「●●料理といえば、～」「●●といえば、～」などのように、自国の例を用いて紹介したり、考えさせたりするとわかりやすいでしょう。

「N といえば、～」には、これとは別に、会話などで相手が言ったことから話題を引用する用法(A: 日本に行ったら、スカイツリーに上りたいなあ。 B:スカイツリーといえば、上るのもいいけど、夜のライトアップを見るのもきれいらしいよ。)もありますので、混乱しないようにしてください。

##### ③ N に対して (P128)

対象をはっきりと示したいときに使う表現です。「外国人観光客に(対して)、日本の魅力を伝えている」のように、「対して」は省略することもできます。

なお、「N に対して」には、「前のモデルのアプリに対して、新しいアプリは、情報量が増え機能もよくなっている」のように、対比の用法もあるので、混乱しないようにしてください。

##### ④ N はもちろん、N も (P128)

「～はもちろん～も」は「～も～も」とだいたい同じ意味です。名詞以外のものが来る場合は、「この映画は、おもしろいのはもちろん、歴史の勉強にもなる」「温泉に入るのはもちろん、スキーをするのもいい」などのように、「～の」をつけて名詞化します。ここでは、読んだときに意味がわかれば十分です。

#### 漢字のことば 漢字の整理 (P128)

ニュース記事の中で使われている漢字が取り上げられています。これらのことばが記事のどこに出てきたかを確認し、読み方、意味を確かめたあと、キーボードで入力するなどの練習をしましょう。

## ◆ 漢字を手がかりにことばを増やしたり整理したりする

漢字のことばの中から、「増加」「拡大」のように、似ている意味の漢字二つから作られる 2 字熟語に注目します。ほかに何かがあるか考えるのが難しい場合は、下記のように板書し、B群の漢字から●に当てはまるものを選んで熟語を作らせてもいいでしょう。漢字熟語の例は、インターネットで「漢字の 2 字熟語、似ている意味」などで検索すれば、調べられます。

A:「減●」「禁●」「●路」「開●」「●去」「●地」

B:土、過、始、道、止、生、少、

ここで漢字熟語の語構成を紹介する目的は、漢字熟語の意味を、漢字一つ一つの意味から推測するときの手掛りにするためです。漢字熟語の語構成には一般に次のような分類があり、この「中級 2」では①～⑤を紹介してあります。

なお、以下は教師の参考情報として載せるものです。学習者の漢字学習の動機付けに役立つのはかまいませんが、一度に全部を教えて、漢字の講義にならないよう注意してください。

- ①同じ意味・似た意味を組み合わせる【増加】→トピック 5(P128) ※このトピック
- ②反対の意味・対になる意味を組み合わせる【着脱】→トピック 6(P146)
- ③前の漢字の意味が後ろの漢字の意味を修飾する:【笑顔】→トピック 7(P164)
- ④前の漢字が後ろの漢字の意味を打ち消す:不、無、未、非～【不快】→トピック 8(P182)
- ⑤後ろの漢字が接尾語になっている:～的【印象的】→トピック 1(P56)
- ⑥後ろの漢字の意味が前の漢字の目的になる【作文】
- ⑦前の漢字の意味が後ろの漢字の主語になる【頭痛】



**PART 5 書く「ニュースをシェア」****Can-do 25** 興味のある身近なニュースを、内容についてのコメントをつけて、SNSなどで紹介できる。

SNS などでは、自分の友達に、興味を持ったニュースなどをシェアすることがあります。そのときに、単にシェアするだけではなく、どんなニュースか、自分はどう思ったかなどのコメントをつけると、実際に読んでみる人が増えると思います。そこで、ここでは、身近なニュースについて簡単に紹介できるようになることを目指します。

**1 書く活動 (P129)****(1) 書くための準備**

ニュースをシェアしている SNS の紹介文の例を見ます。シェアしている記事は、「PART 4 読んでわかる」で読んだものと同じです。この例では、記事の内容を単に要約しているのではなく、この記事の情報価値(おもしろいところ、意義がある点など)は何かを簡単にまとめ、自分の感想やコメントなどを、わかりやすく親しみのある文章で書いていることに注目させてください。

**(2) SNS に書く**

実際に、SNS でニュースをシェアする場合、あまり長いコメントをつけない人もいますが、ここでは、シェアする記事を読んでみたくなるように紹介文をつけて書いてみます。シェアする相手は、日本人や日本語を勉強している人など、日本語がわかる友達や知人です。シェアする記事は、日本語のサイトで見つけたものでも、SNS の翻訳機能を前提として自国のニュースをシェアしてもいいです。クラスの状況に合わせて、やり方は工夫してください。SNS が一般的でない場合や、SNS に興味がない学習者の場合も体験として投稿するという設定で書かせてみてください。

**2 書いたあとで (P129)**

ほかの人が書いたニュース紹介を読んでみて、興味を持ったニュースがあるかクラスで自由に話してみます。そのとき、紹介文のどんな点がよかったか、おもしろく感じたかを、コメントさせるといいでしょう。

## 教室の外へ

### わたしだけのフレーズ (P130)

ニュースについては日常の話題として取り上げられることも多いと思います。ニュースの話が出たとき、自分ならどんなことを話すか、そのときにどんなことばを知っていたらスムーズに話ができるか、考えてことばやフレーズをメモします。例のように、政治や経済など、抽象的で難しいニュースについて、「あまり興味がない、話したくない」ことを伝えるための表現をメモしてみるのも可能性の一つです。

### 教室の外の活動のアイデア

#### ①

日本のニュースサイトで、実際のニュース動画を見てみます。サイトには文字情報のニュースも多く掲載されているので、これを読むのもいいでしょうが、「映像」などのタブを開くことで、テレビニュースからの映像を見ることができます。自分の好きなものを選んで視聴してください。WEB には常に最新のニュースがありますので、こうしたサイトで定期的にニュースを見る習慣がつけられれば、日本語力の向上にもつながるでしょう。一方、ニュースサイトではなく、YouTube などの動画サイトでは、過去のニュースの映像が見られる場合があります。この場合、例えば「ニュース 相撲」「ニュース 動物」など、キーワードを追加することで、自分の興味のあるニュースを見ることができます。

NEWS WEB EASY は、日本に住む外国人などを想定した、やさしい日本語で書かれたニュースサイトです。本文にはすべて振り仮名がつけられているほか、下線の引かれた単語にカーソルを合わせると、辞書が出てくるなどの工夫もあり、外国人がニュースを題材に日本語を学習するのに向いています。音声も聞けますが、合成音によるやや不自然な発音ですので、注意が必要です。

#### ②

検索サイトのニュース検索で、自分の国の国名を入れてみることで、日本で紹介されている、自国に関するニュースを読んだり見たりすることができます。その国の人ならそのニュースは知っていると思いますので、日本語でどのように紹介されているか、自国での紹介の仕方と違いはあるか、などを考えてみてもいいでしょう。記事本文の内容が難しくても、見出しを見るだけでも、自国を紹介するための語彙を広げることができます。

#### ③

海外で、その国に住む日本人を対象に作られた、日本語新聞やコミュニティ誌、フリーペーパーなどで、そこに書かれているニュースを読みます。その国の一般的な新聞とは異なり、日本でのニュースや、その国と日本との関係を扱ったニュース、また現地の日本人コミュニティでのニュースなどが載っています。これらの中から、興味がある記事を読みます。

## トピック6 これが欲しい！

なくては困る身近なもの、手に入れたいと思う商品や買って帰りたいお土産などについての話題を、このトピックでは取り上げます。ほかの人からは一見くだらないと思われるようなものでも、本人には貴重であったり、どうしても手に入れたいと思ったりすることがあると思います。外国に行ったり住んだりするときはなおさらでしょう。これら欲しいものについて、どうしてそれが必要なのか、どうやって手に入れるかなどのコミュニケーションできるようにすることが目標です。

### ◎ 扉／準備

#### ● トピックについての質問 (P131)

扉の写真は、日本の店でお土産を選んでいるところ、ショッピングサイト(Amazon)の配達用の箱、それに、たこ焼き器でたこ焼きを作っているところです。これらの写真を見ながら、日本の品物で欲しいものを自由に考えてみます。また、それをどうやって手に入れるかについて経験やアイデアを共有します。「日本に旅行に行ったときに買う」「友達に頼んで送ってもらう」「インターネットで注文して取り寄せる」「自国に住んでいる日本人に交渉して譲ってもらう」など、日本語が必要になる場面を具体的に思い浮かべることができるといいでしょう。

#### 1 写真やレアリアを見る (P132)

日本人が、外国に行くときによく持っていくものの例です。どんな品物かは、選択肢と写真をマッチングして考えます。ここでの目的は、日本人がなくては困ると思っているものはさまざまであることに気づくことです。そして、日本人がこれらのものを持っていく理由についても少し考えてみると、次の「文化」の質問につながりやすいでしょう。

以下は、商品についての簡単な説明です。これらのものがもし身近にあれば、実物を用意するとクラスが盛り上がるでしょう。とくに、正露丸は臭いにインパクトがあり、驚く学習者が多いでしょう。

- ① 正露丸: 腹痛、下痢などに効く胃腸薬。明治期以降、一般用薬品として日本では広く用いられている。家庭の常備薬的な位置づけにある。
- ② ラップ: 日本製のラップは切りやすく使いやすという評判があり、日本製のラップでないといにくいという日本人もいる。
- ③ ふりかけ: 白ご飯の上にふりかけて食べる。いろいろな味付けのものが出ている。
- ④ 入浴剤: バスタブにお湯をはって入れて使う。香りを楽しむものから、温泉の成分が入っているもの、健康にいいものまでさまざまな種類がある。
- ⑤ お弁当用の型: 見てきれいなお弁当を作るためのグッズで、おにぎりや野菜などをいろいろな形にすることができる。
- ⑥ フリクションペン: 書いたあとで簡単に消せるペン。ボールペンのようなものから、色つきのマーカーペンまでいろいろな種類のものがある。

## 文化 文化について考える (P132)

1 の写真を見ながら、日本人がこのようなものを外国に持っていく理由を考えてみます。「お風呂が好き」「ごはんを毎日おいしく食べたい」「料理は、見た目が大切」「薬はいつも使っているものが多い」「文具にはこだわりがある」など、具体的に考えられるといいでしょう。次に、自国の場合だったら、外国に行ったり住んだりするときにどんなものを持って行くか考えます。具体的に持っていくものに違いはあっても、食料品や薬、日用品など、共通の背景があることに気づくことがねらいです。

## 2 語彙や表現の確認 (P133)

5 人がネットショッピングの利用法とその理由を話しています。ここでは語彙や表現の理解だけでなく、ネットショッピングの利用の仕方が人や世代によってさまざまなことに気づくことも目的です。インターネットでものを購入することが一般的でない国や地域の場合は、教師が必要に応じてそれについて説明を加えてください。

### ◆ 赤字の言い方に注目しましょう

前件と後件の関係から、赤字になっている接続表現の機能を考えます。

(A)「結果を述べる」ときに使う表現:それで、おかげで

(B)「理由を説明する」ときに使う表現:だって、というのは

ただし、「だって～」は話しことば特有の表現で、「理由を説明する」というよりも「言い訳をする」ようなニュアンスがあるので注意してください。

## 3 その他の活動 (P133)

ショッピングサイトや通信販売のカタログを見ているという設定で、日本の商品を取り上げてあります。タスクは、商品とそのキャッチコピーをマッチングさせることですが、マッチングさせたあと、どのことばを手がかりに商品を選んだかを話し合わせることによって、商品の特徴やセールスポイントを考えるきっかけになるといいでしょう。

キャッチコピーには普段はあまり使わないような表現が使われることが多いので、教師が簡単に説明を加えてください。「プルン、ふわふわ、ラクラク」など商品の特徴を描写する表現や♪の使用について注目させると楽しいでしょう。

## PART 1 聞いてわかる「これがないと困る」

**Can-do 26** 身近にある日用品などについてのやりとりを聞いて、それがどんなものか、どうして必要かが理解できる。

「これがないと困る」というタイトルの通り、自分のこだわりのある品物についての話を聞きます。ここでは、現在外国に住んでいる日本人と、日本に住んだことのある外国人が、それぞれ「なくて困った／困っている」ものについて、その理由や背景を話しています。話の内容は個別的で具体的ですが、具体的な情報だけではなく、その背景にある共通の問題点が理解できることもポイントにしてください。

### 場面・設定の確認

モニカさんの家に集まって友人同士でおしゃべりをしている場面です。モニカさんがりんごが切るときに、ナイフではなく「リンゴカッター」を使ったことをきっかけに、外国に生活するときに「ないと困るもの」の話に発展します。ここでは、モニカさんは話し手側で、聞き手は「え、日本にはないんですか?」と言っている女性(外国人)です。この人の立場になって聞きます。

話し手が全員女性なので、どの声が誰の声かが聞き分けにくいかもしれませんが、主な話し手は①-④の番号の順なので、イラストを確認しながら聞くとわかりやすいでしょう。

### ● 聞くまえに (P134)

準備の文化の質問(P132)と似ていますが、外国で生活したり旅行したりするときに、自分が持っていくものや持っていきたいものを挙げさせます。どうしてかということも考えてさせると、次の聴解活動の助けになります。

### 1 内容を段階的に理解する(P134)

(1) 1回目の聞き:話題になっている品物を理解する

それぞれの人が必要だと言っているものをイラストから選びます。「歯ブラシ、くつ、シャンプー、ハンドクリーム」などは単語が聞きとれれば簡単に選べると思います。「葛根湯」と「静電気防止のキーホルダー」は、会話の中でそれぞれについて説明しているので、説明を聞いてどんなものか把握することがポイントです。

(2) 2回目の聞き:それぞれの品物の背景の違いを理解する

話し手が、それぞれのものがなくて困ると考えているのには、背景の違いがあります。選択肢は4つに分けてありますが、ポイントは二つです。一つは「売っているかどうか」という点、もう一つは「使い慣れているかどうか、サイズが合うかどうか」という点です。選択肢の違いをよく確認してから聞かせてください。

(3) 3回目の聞き:ないと困る具体的な理由を理解する

(2)はなくては困る理由を一般化して理解しましたが、ここでは、それぞれについて、個別的で具体的な理由を聞き取ることがねらいです。

◆では、わかったことをほかの人と共有し、把握できた情報が同じかどうか確認するといいいでしょう。必要なら、話し合ったあとで確認のためにもう一度聞かせてもかまいません。

## 2 聞くためのストラテジー (P135)

相手の話を聞くとき、内容についてわからなかったことや疑問に思ったことなどについて「質問しながら聞く」ストラテジーを取り上げます。ここで紹介したほかにもいろいろな言い方があります。

(1) 質問の形を理解する

①モニカさん、②洋子さん、③真奈美さんの話から、聞き手が質問している箇所を抜き出してあります。ここでは、聞き手が a-e でどう質問したかを聞き取ります。

a では、りんごカッターを「母に国から送ってもらった」と聞いて、少し驚いて本当かどうか確認したくて「わざわざですか?」と言っています。b では「静電気防止のキーホルダー」がどういうものかがわからず、「何のキーホルダー?」と聞き返しています。そして、cでは静電気防止の方法がわからないので、「え、どうやって?」と質問しています。d は「風邪薬は葛根湯じゃなきゃダメ」という発言に対して「どうして?」と理由を質問している例です。さらに、e「風邪の引き始めに効く」ということがどういうことかイメージできず、「引き始め…ですか?」と説明を求めています。

(2) 質問の機能を理解する

(1)で聞き取った会話文を見ながらもう一度聞き、それぞれの質問の意図を考えます。答えは選択肢から選ぶ形式です。自分が質問したつもりになって会話を聞いてみると、選びやすいでしょう。

ここでの目的は、質問にはいろいろな意図があつということに気づくことです。質問の形式はここでは例にすぎず、発話意図と1対1に対応しているわけではないので、その点には注意してください。

(3) ストラテジーを使ってみる

教師が智子さん役になって、スクリプトを使って話します。スクリプトには、真奈美さん、洋子さんの発話部分も入っているので、その部分は適宜カットしてください。学習者は智子さんの話を聞いているつもりになって、スクリプトは見ないで、疑問に思ったところで質問してみます。できれば、この話をはじめて聞いたという設定で行ってください。

たとえば、「日本ではそんなに小さな靴を売っているんですか?」「歯ブラシ、どうして大きいとダメなんですか?」「え、ここでは、靴は買わないんですか?」など、いろいろ考えられるでしょう。それに対して、智子さん役の教師も自由に答えてみてください。ことばの意味がわからないときの単なる聞き返しと違い、相手の発話の途中で内容に質問をはさむことは、実際にはなかなか難しいことです。まず、「え?」と言って相手の話を止めてからだ、質問しやすいでしょう。

**3** 聞いたあとで (P135)

実際に外国に行ったときに、「これがなくて困った」という体験があるかどうか話します。自分の体験にかぎらず、友人や家族から聞いた体験、またはネットなどで読んで知っている情報などを共有してみるといいでしょう。

**■** 聞いたことをまとめる(P135)

なくてはならないものについての4人の話をまとめてあります。選択肢は動詞が中心なので、文脈に合わせて適当な形にします。「車や家のドアに(④触った)とき」のアスペクトがタ形となるのは、実際の動作を頭に思い浮かべるとわかりやすいでしょう。「使い(⑦慣れた)もの」「体に(⑨優しい)」は、ひとつの表現としてとらえるといいでしょう。また、「探せと(⑩言われる)」の「探せ」は命令形です。人に言われたことを伝える(伝聞)の場合にはよく使われますが、命令形そのものを話しことばで使うと非常に乱暴に聞こえるので注意が必要です。初中級トピック1(初中級:P29)では、「がんばれー、行けー」とスポーツの応援で慣用的に使う場合が取り上げられています。命令形に、ここではじめて触れる学習者には簡単に説明を加えてください。

## PART 2 会話する「私、たこ焼き大好きなんだ」

**Can-do 27** 自分が欲しい商品について、その特徴と欲しい理由をある程度くわしく説明できる。

日本から買ってほしい品物について、どんなものが欲しいか、その特徴をくわしく相手に伝える会話です。「中級 1」のトピック 8 の電子辞書の会話と同様の Can-do ですが、ここでは特徴の説明だけではなく、なぜそれが欲しいと思うのか、理由を説明しながら、相手に上手に頼むことが目標です。

### ● 会話するまえに (P136)

はじめに、日本のお土産について、何が欲しいか話します。日本に行ったことがある人も、行ったことがない人も、これまでの知識や経験などにもとづいて、いろいろ自由に話せると思います。クラスの学習者がこれについてあまり知らない場合には、ヒントとなる写真や実物などをいくつか用意し、知っているか知らないか、それは何かなど話してもいいでしょう。

会話では、日本とメキシコという、お互い離れた場所に住む友人同士が、Skype や Facetime などのインターネットツールを使って話しています。パメラさんのうちに、日本に住む亜紀さんが泊まりに来るので、日本からのお土産を頼むという設定です。欲しい品物のくわしい説明だけではなく、なぜ欲しいと思うのか、背景について話すことで、B1らしいまとまりのある会話を目指します。

### 1 会話の内容を理解する (P136)

①について、「たこ焼き器」を聞き取るのは難しくはないと思います。「たこピック」については、このことばや「串」などの語彙が聞き取れない場合は、具体的にどんなものかは想像しにくいかもしれませんが、たこ焼き器以外に何か付属品を頼んでいることがわかればいいでしょう。②の理由は、「～んだ」「～から」「～し」などの表現を使って述べています。特定の部分を探すのではなく、全体として理由となる背景をまとまりとして述べていることに注目します。

### 2 ことばの形式に注目する (P136)

お互いに普通体で話す、友達同士の会話です。会話の登場人物は二人だけですので、上下関係や親疎関係を考えずに、単純に「友達同士だから普通体」と答えることができるでしょう。

たこ焼きについてよく知らない人が多い場合、作り方とともに、簡単に説明してください。食べたことのある人に、説明してもらってもいいでしょう。「アヒージョ」は写真(P137 上)が出ているように、エビや野菜などの具材をオリーブオイルとニンニクで煮込んだ料理です。必要であれば、これも簡単に説明してください。



### 3 会話に役立つ文法・文型 (P137)

#### ① ～ってもらえない？／～てもらって(も)いい？ (P137-138)

自分が欲しいお土産を依頼するための文法・文型として、「～てもらえない？」「～もらってもいい？」という依頼の表現を練習します。両者に大きな違いはありません。後者の「～もらってもいい？」という表現は、あまりこれまでの日本語教材では扱われていませんが、実際には非常によく使われる表現です。「～もらって(も)いい？」と「も」が( )に入っているのは、「～もらっていい？」「～もらってもいい？」という言い方がどちらもあることを示しています。「も」があってもなくても意味やスタイルに大きな差はありませんので、どちらを使ってもかまいません。なお、これは比較的新しい表現で、一部には違和感を持つ人もいます。

練習では「～ほしい」となっている自分の希望を、「～もらえない？」「～もらってもいい？」という表現で依頼する練習です。依頼する相手は離れている場所において、インターネットで話しているという設定です。シチュエーションを想像しながら練習してください。また(2)で、丁寧体での言い方でも練習します。クラスによっては「～していただけませんか？」「～いただいてもよろしいでしょうか？」など、敬語を使ったさらに丁寧な表現を紹介してもかまいません。何か物を買ってきてもらう場合、どんな人に何を依頼するか、具体的に想像しながら練習してください。

#### ② さすがに～(ない) (P138)

状況から予想できることを言う言い方ですが、ここでは「(メキシコでは)さすがに売っていない」「(重いので)さすがに運べない」など、「～ない」「無理」「あきらめた」など、否定的なことを言うシチュエーションを中心に練習します。与えられた状況から、どのような否定的状況が「予想できる」のか、関係を考えながら練習させるとよいでしょう。⑥のみ、「さすがによく切れる」と、肯定的な評価につく言い方を取り上げています。こうしたものは、ほかにも例えば「××社の機械はさすがに性能がいい」などがありますが、参考として触れる程度でいいと思います。

#### ③ ～って言っても、～ (P138-139)

「情報を付け足す」表現として取り上げていますが、「ても」を使っているように、この付け足される情報は、どちらかというと前件と反対の意味を持っているという点に注意します(例:バーゲンって言っても→そんなに安くない)。例文の「たこ焼き器って言っても」「八ツ橋って言っても」は、「同じ八ツ橋って言っても／一言で八ツ橋って言っても→いろいろある」という反対の意味が含まれています。練習では、後件の文はそのまま使い、その前に「～って言っても」を挿入する練習になります。文の最後をどのような形にするかは、実際の会話場面を想像しながら、自由に考えてもかまいません(例:いろいろな種類があるよ／あるね／あるんだけど…／あると思うな、等々)。

なお、「～って言っても」は話しことば的で、書きことばでは「～と言っても」になります。

#### 4 話すためのストラテジー (P139)

これから話そうと思うことのトピックを、「～は…」という言い方ではじめに示します。はじめにこれを言うことで、発言権を維持しながら、これから話す内容を考える時間を取ることができます。聞き手にとっても、話しのトピックが示されることで、理解しやすくなります。

ここでの「～は」は、トピックを示す「は」ですので、続く文の主語になる必要はありません。例えば「サイズは…L サイズで…」のように言う場合は主語になっていますが、「サイズは…大きめのものがない…」「サイズは…できるだけ大きいのを買って…」のように、自由に文を続けることもできます。(2)①②の練習では、吹き出しに書かれている内容だけではなく、自由にいろいろなトピックを加えて練習させてください。

#### 発音 発音の練習 (P139)

鼻母音で発音される「ん」の練習です。「ん」の後ろに母音などが来たとき、「ん」は口を閉じないで鼻母音として発音されます。もし鼻母音ではなく[n]で発音したら、「でんあつ」ではなく「でなつ」のようになってしまいます。口を閉じないで「ん」を発音する練習としては、はじめに「でうあつ」のように発音して口の形を意識し、それから口の形をかえなくて鼻から息を出して「でんあつ」にする、などの方法があります。もし鼻母音の発音が難しい場合は、「でん、あつ」のように途中で切れ目を入れることで、「でなつ」にならないように発音するという方法もあります(日本語として少し不自然な発音になりますが、意味は誤解されなくなります)。

#### 5 ロールプレイ (P140)

(1)の会話の分析では、**A**は簡単に見つかるでしょう。**B** および**C**もそれほど難しくはないと思います。目的は、その内容の会話がどこにあるかを見つけるというよりは、**B**や**C**の内容でどんなことを話しているのかを確認し、続くロールプレイの手がかりにします。

(2)①のロールプレイでは、「たこ焼き器」を買ってきてもらう会話をします。たこ焼き器のくわしい情報は、モデル会話の内容を思い出しながら、適当に考えて言えば大丈夫です。このとき、どんなたこ焼き器がほしいかという情報に加え、なぜ自分がそれを欲しいと思っているのか、理由を言うようにします。B1らしい、ある程度まとまりのある話になるよう、意識して話させてください。

(2)②では自由に、自分が欲しいお土産について説明する練習をします。例に挙げてある写真は、それぞれ浴衣セット、食品サンプルのマグネット、いろいろなお菓子、折り紙の本、です。この写真から考えてもいいですが、自分が本当に買ってきてもらいたいものを考えて言うほうが、モチベーションのある練習になると思います。ここでもやはり、欲しい物のくわしい説明とともに、なぜそれが欲しいのか、理由も話すようにします。

### PART 3 長く話す「珍しくて喜ばれると思います」

**Can-do 28** 自分の国のお土産について、どんなものがあるか、すすめる理由とともにアドバイスできる。

日本人から自国のお土産についてアドバイスを求められることはよくあると思います。B1 レベルなので、相手のニーズを考えて、すすめる理由をわかりやすく加えながら話せるようになることを目指します。

#### ● 話すまえに (P141)

旅行者や出張者など、短期滞在の外国人にすすめたい自国のお土産とその理由を簡単に話します。いろいろな種類のものや、いろいろな理由が出てくるといいでしょう。また、ここでは自分が住む地域や町のお土産について話してもかまいません。

#### 1 モデル会話を聞く (P141)

日本からの出張者の池津さんに、現地職員のサイドさんがお土産についてアドバイスしている場面です。二人はカイロの道を歩きながら話していて、実際にお土産を見ながら話しているわけではありません。そのため、サイドさんは、おすすめのお土産についてどんなものか簡単に説明しています。教科書には、サイドさんが話題にしたお土産の写真が載せてありますから、写真を見ながら、それぞれについてサイドさんがどう説明しているかを確認し、すすめる理由を把握します。

#### 2 表現の確認 (P141)

「提案する・すすめる」と「すすめる理由を言う」の二つに分けて、使えそうな表現を整理してあります。二つに分けてあるため、必ずしも①～⑩の番号が話の順番になっていないことに注意してください。

「提案する・すすめる」表現の「①～なんかどうでしょう、②～は人気があります、④～がおすすめです」は、これまでに出てきた表現なので、再度確認してください。

「すすめる理由を言う」の「⑤かさばらない、⑥誰にあげてもいい、⑨一度使ったらやめられない、⑩珍しくて喜ばれると思う」は、お土産をすすめるときに使える便利な表現として覚えておくといいでしょう。

#### 3 モデル会話の確認とシャドーイング (P142)

スクリプトを見ながら聞いて、内容と表現を確認します。「そうですねえ、えっと…、えー」などのフィラー、自信がないときに使う「日本語でなんでしたっけ…象形文字？」(P121 参照)のようなストラテジーについても注意させるといいでしょう。

なお、2では取り上げませんでした。最後の「よろしかったら、ご案内しましょう」という言い方も便利なので、合わせて確認してください。

## ◆ シャドーイング

上に述べたような、フィラーやストラテジーの使用箇所もシャドーイングの対象になっていますので、まねさせてみてください。このような言い方ができれば、うまくことばが思い出せないときに便利だということに気づくといいでしょう。

## 4 再話する (P142)

自分がすすめるお土産について話す練習です。ここでは、サイドさんの話に出てきたエジプトの4つのお土産を例に話してみます。①-④では、4種類のお土産それぞれについて、「説明をしながらすすめている部分」と「■すすめる理由」に分けてメモを作っています。情報量がやや多いので、話すまえにメモをよく見て、頭の中で、それぞれのお土産の特徴を整理させるようにしてください。話させるまえに、メモを見ながらもう一度聞かせてもかまいません。

◆では 2 の表現が使えたかどうか振り返りますが、モデルテキストと同じかどうかを確認するのではなく、機能に合わせて適切な表現が使えたかどうかを確認することが大切です。たとえば、提案したりすすめたりする場合は、「パピルスのしおりがおすすめてです。」「それから、香水瓶なんかどうでしょう。」「エジプト綿のタオルも、実用的で人気があります。個人的にもおすすめてです。」のように、同じ機能の表現を自由に組み合わせて使ってみるようなるといいでしょう。

## 5 自分のことを話す (P143)

## (1) 話したい内容を整理する

自国や自分の地域・町のお土産がトピックなので、いろいろなアイデアが思い浮かぶと思います。指示にも書いてありますが、このモデル会話のように複数の種類の品物を取り上げる場合もあるでしょうし、一つだけを取り上げてくわしく説明したい場合もあるでしょう。学習者が実際にすすめたいものが話せるように準備させてください。また、お土産をすすめる場合は、誰に質問されたかによってすすめるものが異なる場合があります。モデル会話では、一般的な場合として日本からの出張者にしてありますが、これについても自由に決めさせてください。

## (2) 話す

違う相手と何回か話すようにすると、同じお土産を取り上げる場合であっても、すすめ方や理由の説明のし方にはバラエティがあることに気づくでしょう。あとで、それぞれが話した相手の中で、誰のアドバイスがいちばん魅力的だったかクラスで話し合ってみるとおもしろいかもしれません。

## PART 4 読んでわかる「レビューの評判がよかったので…」

**Can-do 29** インターネットの通販サイトで、商品のレビューを読んで、いい点、悪い点が理解できる。

インターネットのショッピングサイトの商品説明とレビューを読みます。インターネットで商品を購入する場合、商品そのものを手に取って見ることや販売員に質問することができません。その代わりに、写真や商品説明から基本的な情報を確認し、「商品レビュー」を読んで、その商品が自分のニーズに合っているかどうかを把握する必要があります。このような情報把握ができるようになることが目的です。

### ● 読むまえに (P144)

ここでは、商品として、外国人がネットで買うかもしれない日本の品物の例として「たこ焼き器」を取り上げてあります。扉の写真なども参考にして、「たこ焼き器」がどんなものか、子供でも作れることが想像できればいいでしょう。「たこ焼き」の話題は PART 2(P136-137)でも出てきましたが、PART 2を扱わずにこの PART を行う場合は、扉の写真を見せながら、教師が「たこ焼き」について必要な情報を提供するようにしてください。

### 1 内容を理解する (P144-145)

(1)では、商品レビューから、自分にとって必要な情報だけを検索するような読み方を、(2)ではそれぞれの商品レビューの長所・短所を整理する読み方をします。どちらの読み方も、現実の読みに近づけるためです。

(1) 1 回目の読み: ポイントを決めて、「商品レビュー」から必要な情報を探す

まず、ネットショッピングのページをあまり見たことがない学習者がいる場合は、設問に入るまえに、全体を見て、商品の名前、商品説明、商品レビュー(総合評価の点数、★の数の意味など)について、ページの構成を確認します。

ここでのタスクは二つあります。一つ目は「商品説明」を読んで、商品の特徴を把握し、自分が買うかどうかを決めるためのポイントを決めることです。決めるポイントは、複数考えてほしいため二つと指定してありますが、それ以上でもかまいません。●印がついている 5 つの特徴については、逐語的に理解させる必要はなく、知らない語彙はできるだけ文脈や漢字などから推測させ、①ハイパワー、高温で、おいしいたこやきができる ②プレートにつきにくい ③はじめてでも簡単 ④洗いやすい ⑤プレゼントによい という点が把握できれば十分です。商品を買うかどうかのポイントとしては、この①-⑤の特徴をヒントにしてもいいですし、「簡単に作れる、失敗しない、おいしい、壊れにくい、手入れが簡単、デザインがいい」など、一般的に、調理器具を買うときのポイントから考えさせてもいいでしょう。

二つ目のタスクは、それぞれが決めたポイントについて、レビューに書いてあるか、書いてあるとしたらどのレビューにどう書いてあるかを探すことです。関係のありそうな箇所にアンダーラインを引か

せるなどして読ませるといいでしょう。関係のないところは読み飛ばすことも必要です。読み終わったら、それぞれが決めたポイントごとに、どう書いてあったかを、ペアやグループ、クラスで共有すると内容理解に幅がでるでしょう。

## (2) 2 回目の読み: 商品の長所と短所を理解する

「商品レビュー」の部分だけをもう一度読み、「いいところ」は何か、逆に「悪いところ・注意したほうがいいところ」は何か、整理します。この場合も、はじめは、読みながらアンダーラインを引かせ、それぞれの情報についてプラス評価かマイナス評価か印をつけさせてから、表にまとめさせるとわかりやすいでしょう。

表にまとめる場合は、該当箇所をそのまま書き写すのではなく、「簡単に外はカリカリ、中はトロトロのおいしいたこ焼きが作れました!」→「簡単においしいたこ焼きが作れる」のように、主要な情報部分に注目させるようにしましょう。一字一句にこだわるのではなく、要点を把握するのが B1 の読解の目的だからです。主要な情報が把握できたあとで、「カリカリ、トロトロ」などわからない部分の意味については、推測させてみたり、辞書で確認させたり、教師が説明したりしてください。

## 2 読むためのストラテジー (P145)

接続詞に注目し、後ろの文にどのような内容の文が続くか予測しながら読むストラテジーを取り上げてあります。基本的に「商品レビュー」では、1 (2) の活動で行ったように、「プラス評価」か「マイナス評価」か、書き手の立場がはっきりしていることが多いです。そこで、文と文の関係には、次のようなバリエーションが考えられます。

・プラス評価の文	しかも、それに、おまけに…	プラス評価の文
・マイナス評価の文	しかも、それに、おまけに…	マイナス評価の文
・プラス評価の文	ただ、でも、だけど…	マイナス評価の文
・マイナス評価の文	ただ、でも、だけど…	プラス評価の文

このストラテジーを使うと、初めの文(前の文)の意味がわかれば、次の文がプラスかマイナスか、すぐに判断できます。すでに 1 (2) の活動で、このストラテジーを使っている学習者がいたかもしれませんが、ここでは、もう一度、4 人のレビューの中の「しかも、ただ、それに、おまけに」の使用箇所と、その前後の文の意味を「プラス評価」か「マイナス評価」という観点から確認してください。

## 3 読んだあとで (P145)

「商品レビュー」には、それぞれの投稿のあとに「このレビューは参考になりましたか?」という問いがあり、読み手が「はい/いいえ」でコメントできるようになっています。ここでの指示は、「はい/いいえ」を決めることですが、どんな点が参考になったか/参考にならなかったのか、また、ほかに関連情報があればよかったかなどについても話させてみるといいでしょう。

#### 4 読むのに役立つ文法・文型 (P146)

##### ① ～ぶん (P146)

漢字で書くと「～分」となり、もともとは「量・程度」を示します。「高温になるぶん、消費電力が大きい」というのは、「高温になる」量や程度だけ、「消費電力」も大きくなるという意味になります。理解するときは、「高温だから」のように、理由として考えるとわかりやすいでしょう。設問になっている「安いぶん( )」の後件に、「壊れやすい、長持ちしない、品質がよくない、気軽に使える」などのことばが来ることがわかれば、この表現の使い方を理解したと言えるでしょう。

なお、「～ぶん」のまえには、動詞、イ形容詞、ナ形容詞、が来ます。動詞の場合は普通体、形容詞の場合は、例文にあるように、「ナ形容詞な＋ぶん」「イ形容詞い＋ぶん」となります。それぞれ、ナイ形や過去形につくこともできますので、必要ならば例文を補ってください。

##### ② Vている間/Vている間に (P146)

「V ている間」は、ある動作が継続する期間を表します。「V ている間～」の後件には「ある一定の期間継続して行われる動作や行為」がきます。それに対して、「V ている間に～」の後件には「その間に起こる出来事」がきます。これは助詞「に」の働きによるものですが、違いに注意してください。

設問の( )に文を入れる問題は、「～間/間に」のどちらの場合についてでもいいです。クラスで、できた例文を共有してみると、二つの違いがよくわかるようになるでしょう。

##### ③ V そうになる (P146)

もう少しでそうなると思ったが実際はそうならなかった、危ないところだったが助かったときに使う表現です。ここでは、買い物のトピックなので出しませんが、「ころびそうになる、車にひかれそうになる」などの例を紹介すると、理解しやすいと思います。なお、「泣きそうになる」「死にそうになる」は誇張するための比喩的な表現で、少し使い方が違うことに注意してください。

##### ④ ～とのことだ (P146)

「～そうだ」と同じような意味で、他から聞いた情報を伝えるのに使います。書きことばではよく使われる「固い」表現です。そのため、話しことばで使う場合も、仕事上での報告など、フォーマルな場面や話題に使われる表現であることに注意してください。

#### 漢字のことば 漢字の整理 (P146)

ショッピングサイトで出てきた漢字です。これらのことばが本文のどこに出てきたかを確認し、読み方、意味を確かめたあと、キーボードで入力するなどの練習をしましょう。

##### ◆ 漢字を手がかりにことばを増やしたり整理したりする

反対の意味や対になる漢字を組み合わせて作ったことばを挙げます。「着脱」は少し難しいことば

ですが、「着る+脱ぐ」と考えると意味が反対であることがわかりやすいと思います。ほかには、「上下」「左右」「大小」「前後」「男女」「新旧」「往復(する)」のような例がわかりやすいでしょう。

学習者だけで思いつくのが難しい場合は、「大●」「●女」のように、片方の漢字だけを与えて考えさせるといいと思います。

なお学習者の母語やクラスの共通語に似たような表現がある場合、比較してみるのも面白いかもしれません(例:「左右」と「right and left」など)。



## PART 5 書く「返品を希望します」

**Can-do 30** 商品が故障したり説明書と違っていたりしたときに、状況を説明するクレームのメールを書くことができる。

タスクは、購入した商品などについてクレームのメールを書くことですが、B1 レベルなので、何が問題なのかをわかりやすく説明できるようになることがねらいです。ここでは、インターネットで日本から買った商品について問題があってメールを出すという設定ですが、日本と仕事で商品を取引きをしている場合であるとか、取り寄せたものが届かない場合など、学習者のより身近な状況に変更してもかまいません。

### 1 書く (P147)

#### (1) 書くための準備

簡単なクレームのメールの例を読みます。(2)で書くときのポイントになっている「クレームのポイント」(商品名、注文日、配送日、商品の状況や問題点、要望、連絡先など)が、どこにどう書かれているか確認してください。

#### (2) メールを書く

取り上げる商品はなんでもかまいませんが、自分が注文する可能性のあるものの方がいいでしょう。商品によって、クレームの内容は個別になるので、わからない表現は辞書をひくなどさせて、それぞれに考えさせてください。前半部分は(1)のメールをモデルにして書かせてもいいでしょう。

なお、要望としては「返品を希望します、新品との取替えを希望します」など、いくつかの場合が考えられますが、表現については(例)を参考にしてください。ここでは、要望が妥当と思えるような理由(商品の状況や問題の説明)がきちんと書かれているかどうかのポイントになります。

### 2 書いたあとで (P147)

クラスで、メールを受け取ったショップの人になったつもりで、ほかの人が書いたメールを読みます。「クレームのポイント」が書かれているかどうかをチェックしたあとは、要求が妥当かどうか、納得できるかどうかという観点から、コメントし合うとおもしろいでしょう。

なお、こうした学習者同士の活動では、日本語の誤りを指摘し合わせるのではなく、内容的な面に注目した方が、活動が活性化します。誤字・脱字を含め、気になる文法の誤りなどは、学習者同士の活動のあとで、教師が確認するといいいでしょう。

## 教室の外へ

### わたしだけのフリース (P148)

(例)に挙げたのは、日本のお土産について話す際に、自分の好みを言うための表現でした。このほかにも、例えば日本で何かものを買う場合、自分の希望やこだわりを伝える表現だったり、自国のお土産や商品を説明するときに使う可能性のあることばだったり、いろいろ考えられます。

### 教室の外の活動のアイデア

#### ①

「準備」や「PART 1」で扱った、日本人が海外に持って行くことが多い品物について、インターネットで調べてみます。検索結果から、海外在住の日本人に聞いた「日本から持っていきべき便利グッズは？」という質問掲示板の質問や、「これだけは欠かせない！海外の生活に持っていきたい日本の便利アイテム 10 選」のようなコラムなど、いろいろな関連情報を探すことができるでしょう。知り合いの日本人がいる場合、「何を持ってきましたか」のような質問をしたり、授業でやったことやサイトで調べたことをもとに、「歯ブラシを日本から持ってきましたか」「現地のものに不満はありますか」など具体的な質問をしたりしてみるのもいいと思います。

#### ②

お土産について調べてみるタスクです。日本語で自国の国名に「お土産」と加えて検索すれば、日本語で書かれたその国のお土産の情報が見つかります。どんなお土産が人気があるかのほか、日本人がよく買うお土産は自分のお勧めのお土産と同じかどうか、日本人はどんなところを重視してお土産を選んでいるかなどを考えてみることも可能です。各国のお土産の画像検索は、結果を見ているだけでも楽しいですが、国ごとの特徴などがあつたら(食べ物が多い、シンプルで安そうな物が多い、派手な品物が多い…等)、それについて考えてみるのもいいかもしれません。国名の部分だけを変えて、いろいろな国のお土産を比較すると、おもしろいと思います。

#### ③

ネットの通販サイトを実際に見てみます。本文に出てきた品物を調べてみてもいいですし、本文にはなかったけれど自分が本当に「欲しい」と思っている品物について調べてみてもいいでしょう。一つの品物について、複数のレビューを比較してみることも大切です。

#### ④

海外の大きな町には、日系スーパーなど日本の品物が売られている店がときどきあります。オーセンティックな日系の店以外にも、アジア系の経営者が経営する店に、日本のものが売られている場合もあります。食料品、日用雑貨、伝統的な装飾品、本など、いろいろなものがあると思います。

で、本文に出てきた品物があるかを見たり、自分が欲しいものがあるかを探して、何か気に入ったものがあつたらそれを買ったりするのもいいでしょう。またそこで見た値段を、ネットで調べた日本での価格と比較してみたりするのもおもしろいかもしれません。

## トピック7 お気に入りの映画

音楽や映画などに関する話題は万国共通で、友達同士でも、またちょっとした社交場面などでも取り上げられやすいもののひとつです。音楽については「中級1」で取り上げたので、この「中級2」では「舞台芸術」に続き「映画」を取り上げます。B1 レベルなので、ある作品についてそれを見たことのない人にもその内容や魅力をわかりやすく説明したり、感想や意見を述べ合ったりできるようになることを目指します。

### ◎ 扉／準備

#### ● トピックについての質問 (P149)

扉の映画館のスクリーンに写っているのは『ローマの休日』(PART 3 で扱う)のシーンです。映画は、映画館で誰かと一緒に見る人もいれば、DVD を借りて一人で見る人もいると思います。ここでは、好きな映画や見たことのある日本の映画について自由に話し合います。映画の具体的なタイトルをあげてもいいですし、「ファンタジーが好き」「日本のアニメが好き」などのように、特定のジャンルをあげてもいいでしょう。内容についてまでくわしく話す必要はありません。クラスの仲間がお互いにどんなものに興味を持っているかがわかり、このトピックについて話したり読んだりできるようになりたいと思うことがねらいです。

#### 1 写真やレアリアを見る (P150)

日本映画にいろいろなジャンルがあることがわかるように、7つの映画のDVDの表紙を載せてあります。表紙の写真やイラスト、タイトルから自由に予想して、選択肢の中からあてはまりそうなものを選びます。映画の実際の内容ではなく、見て選べる可能性がありそうなものを解答例として巻末に載せてありますが、それと同じである必要はありません。むしろ、どうしてそう考えたかという理由を話し合ったり、ストーリーを予想したりすると楽しいでしょう。

取り上げた映画の参考情報は以下のとおりです。

- ① 『忘れないと誓ったぼくがいた』(2014年)：出会った人の記憶から消えてしまう不思議な少女と、そんな少女に恋をした高校生との純愛を描く。ファンタジー小説の映画化。
- ② 『八つ墓村』(1996年)：八つ墓村という架空の村を舞台にして起こる謎の連続殺人事件に探偵「金田一耕助」が挑むミステリー映画。奇怪な殺人事件はホラー的な要素もある。
- ③ 『奈緒子』(2008年)：自分のせいで人を死なせてしまうという過去を持つ主人公奈緒子が、高校でその人の息子と再会する。陸上競技を通じて、二人がともに成長していく。
- ④ 『秩父水滸伝必殺剣』(1965年)：明治時代を舞台にした剣豪アクション映画。青年剣士とライバルの、流派をかけた試合を描く。

- ⑤ 『のど自慢』(1999年): NHKの人気番組「のど自慢」に出場しようとするさまざまな人物の様子を描いた、笑いあり、涙ありのコメディ。
- ⑥ 『河童のクゥと夏休み』(2007年): 現代によみがえった河童の子ども「クゥ」と、小学生康一との友情を描く長編アニメーション。監督は、「クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶアッパレ! 戦国大合戦」の原恵一監督。
- ⑦ 『Avalon』(2000年): 「攻殻機動隊」などアニメ作品を手がける押井守が監督した、オンラインゲームを題材にした実写 SF アクション映画。ポーランドで撮影され、出演者もポーランド人を起用している。

## 文化 文化について考える (P150)

1 の DVD の表紙などと比較しながら、自国の映画の特徴を考えてみます。「アニメ作品はあまりないし、大人には人気がない」「CGを使ったスケールの大きい SF が一番」「人と人の交流を描いた作品に優れた作品が多い」「ストーリーよりも映像の美しさが大事?」「文学的な難解なテーマが好まれる」「踊りのシーンが欠かせない」など、具体的な作品名を挙げながら考えてみるといいでしょう。映画の国際比較をすることが目的ではありませんが、どうしてそういう特徴があるかや好まれる理由を考えさせてみるのもおもしろいと思います。

## 2 語彙や表現の確認 (P151)

映画について感想やコメントを述べるときに使う表現を紹介しています。「展開が速い/遅い」「迫力満点/迫りに欠ける」などの反対の言い方、「盛り上がり欠ける＝クライマックスがない」などの同じ意味の表現も確認しておくといいでしょう。なお、「映画は映画館の大きいスクリーンで見るとかぎる」の「～にかぎる」はトピック4のPART2(P102)で出てきた表現で、「大きいスクリーンで見るとがいちばん」という意味です。

### ◆ 赤字の言い方に注目しましょう

映画についてのコメントでは、「あの映画、おもしろかった」のように映画自体についてコメントする場合と、「おかしくて、笑いが止まらなかったよ」のように、どちらかというときそれを見たときの感情の動きを示す場合があります。ここでは、その二つに分けて違いを考えてみます。

(A)「映画自体についてコメントしている」表現:「淡々としている、すばらしかった、ひどかった」

(B)「話し手の感情や心の動きを表している」表現:「ハラハラ、ドキドキした、退屈した、興奮した、がっかりだ、感動した、泣けた」

なお、赤字にはしてありませんが、「イマイチだった、よかった、ダメだった、いいところがなかった」なども、上の(A)の例です。ただし、すべての表現が(A)と(B)にはっきり分かれるわけではないので、神経質になる必要はありません。

**3** その他の活動 (P151)

5つの映画のセリフから、それが使われているシーンを考えてみます。それぞれのセリフの出典は次のとおりです。ただし、ここでは、シーンを当てるのが目的ではなく、自由に想像してみることが目的です。例えば「バルス！」なども、手がかりが何もなくても、「これは人の名前？ 必殺技の名前？ 宇宙人の言語？」など自由にいろいろ考えることができますと思います。

- ① 『釣りバカ日誌』(1988年)：釣りバカ日誌シリーズは全22作の喜劇。このセリフは第1作に登場する。主人公の「ハマちゃん」が、妻となるみち子にプロポーズするときのセリフ。
- ② 『踊る大捜査線 THE MOVIE』(1998年)：テレビの刑事ドラマの映画版。現場の刑事が官僚に向かって言うセリフ。
- ③ 『宇宙戦艦ヤマト』(1977年)：「ヤマト」が地球を救うために宇宙に旅立ち、役割を終えて地球に戻ったときに、「ヤマト」の艦長が地球を見ながら言うセリフ。艦長はこのあと死ぬ。
- ④ 『いま、会いにゆきます』(2004年)：妻を亡くした巧の前に、死んだはずの妻、漣が現れる。セリフは二人の別れのシーンで使われる。
- ⑤ 『天空の城ラピュタ』(1986年)：宮崎駿監督のアニメ。セリフの「バルス」はラピュタを破壊するための「滅びの呪文」。

## PART 1 聞いてわかる「心に響いてくるんです」

**Can-do 31** 映画についての感想やコメントを聞いて、その映画の特徴やいいところが理解できる。

見る映画を決めるときに、映画案内やネットのレビューなどを参考にすることはよくありますが、実際に見たことがある友人や知人から感想やコメントが聞けると、質問もできて大変参考になるでしょう。ここでは、日本人から作品についてのコメントを聞き、その特徴や魅力を具体的に把握することが目標です。

## 場面・設定の確認

職場の同僚や友人などと歓談している場面です。日本映画祭が開かれるという設定で、「来週から、日本映画祭ですね。どの映画がおすすめですか？」と質問している男性(聞き手、外国人)の立場になって聞きます。

## ● 聞くまえに (P152)

聞き手の人が手にしている日本映画祭のパンフレットから、4つの映画の紹介部分を切り取って載せてあります。ここでは、タイトルや写真を見て、どんな映画か自由に話し合います。映画の内容に興味を持ち、どんな映画かと考えながら次の聞く活動にすすむことが目的です。いつ作られた作品か、カラーか白黒かなどの情報も参考にするといいでしょう。内容紹介文は、パンフレットの一部分であることを伝えるために載せてあるだけなので、読ませる必要はありません。なお、ここで紹介されている映画を見たことがあるとか、よく知っているという学習者がクラスにいる場合は、聞く楽しみをとっておくために、ここでの内容の紹介や解説は我慢してもらおうほうがいいでしょう。

## 1 内容を段階的に理解する (P152)

(1)ではそれぞれの映画をすすめる理由を、(2)では特徴を聞き取ります。**2**のストラテジーでは、それぞれの映画についてくわしく理解します。

(1) 1回目の聞き:すすめている映画とその理由を聞き取る

どの映画をすすめているか、「● 聞くまえに」で見たパンフレットから選びます。すすめる理由も、映画の紹介全体を聞いて要点が把握できれば、選択肢から選べるでしょう。選んだ選択肢のくわしい内容については、**2**のストラテジーで扱いますので、ここでは、パンフレットのイラストを見ながら、それぞれの映画についてイメージが持てれば十分です。

(2) 2回目の聞き:映画の特徴を理解する

もう一度聞いて、それぞれの映画の具体的な特徴を把握します。それぞれの映画について、a-dの4つずつポイントが挙げてあるので、何について聞けばよいのか確認してから聞かせます。

## 2 聞くためのストラテジー (P153)

映画の魅力やすすめる理由を語る場合、まず、どちらかという抽象的なことばを使って、全体的な特徴を述べる傾向があります。たとえば、『生きる』は「地味だけど心に響いてくる」映画、『フラガール』の魅力は「さわやかな感動がある」ことだと話し手が言っていますが、それを聞いたとき、一体それが具体的にどういうことを言っているのか、聞き手は説明を求めたくなるでしょう。ここでは、それを「くわしい説明を求める」ストラテジーとして取り上げています。「と言うと…」「～って言うのは…」などがそれに当たり、この二つの形を練習します。

### (1) ストラテジーの機能を理解する

聞き手がストラテジーを使って、「心に響いてくる」などの内容についての説明を話し手から引き出している箇所を聞き、理解を確かめます。タスクは( )に入るキーワードを聞き取ればよいようにできています。

### (2) 「くわしい説明を求める」言い方を確認する

(1)で聞いた①山本さん、②丸山さんの話の部分で、聞き手がストラテジーを使用しているところをもう一度聞いて、聞き手が何と言っていたか確認します。①は「と言うと…」の例、②は「さわやかな感動って言うのは…」と説明してほしい点を明確にして質問している例です。どちらも、語尾のイントネーションが上昇せず平坦になります。疑問調の上昇イントネーションで言うと、「説明しなさい」のように上から目線で詰問しているような印象になり、不快感を与えることがあるので注意してください。

### (3) ストラテジーを使ってみる

(1)で聞いた③前田さん、④宮崎さんの話を使って、聞き手の立場になってストラテジーを使ってみます。練習では、赤字になっている「大人が見ても見ごたえがある」と「ほかとはまったくレベルが違う」の内容についてくわしい説明を求めたいときどう質問すればいいか、ポーズ(★)のところで言ってみます。(2)で練習したどちらかの形を使えばいいので練習自体は難しくなりでしょう。

このあと◆では、実際の会話の中ではどう言っていたか確認しますが、まったく同じでなくてもかまいません。教科書には、そのあとで、さらに(1)の会話全体を聞くように指示がありますが、これは、もう一度、ストラテジーの使い方を確認するためです。

なお、この「くわしい説明を求める」ストラテジーや、トピック1で取り上げた「具体的な説明を求める」ストラテジー(P45)を効果的に使うには、相手の話をよく聞いて、自分がわからなところ、つまり何がわからないかを自分で認識することが大切です。このトピックでは、実際に自由に質問する練習はしませんが、いろいろな機会にこのストラテジーを思い出させるようにしてみてください。



**3** 聞いたあとで (P153)

4本の映画の中で興味のあるものがどれか話します。どんなところに興味を持ったのか、見てみたいと思った理由などを、理解した内容と関係付けて言えるようにするといいでしょう。また、このときに、実際にこの映画を見たことがある学習者がいたら感想を言わせてもいいですし、これ以外に見たい映画があれば、その話に発展させてもかまいません。

**■** 聞いたことをまとめる (P153)

4つの映画についての紹介をまとめます。選択肢はすべて名詞なので形を変える必要はありません。「(①心)に響く」「(③形)に残す」「(⑥実話)にもとづく」「(⑧見ごたえ)がある」「(⑩迫力)がある」のように動詞とセットにして意味を確認してください。また、「～という(⑤パターン)の話」「～という(⑥実話)にもとづいている」「～という(⑦イメージ)がある」では、「～という」で内容を説明している点にも注意させてください。

## PART 2 会話する「個性的な演技がよかったよね」

**Can-do 32** 友人などと、見た映画について、いろいろな観点からコメントし合うことができる。

見た映画について、まとまりのある感想やコメントを言う会話です。一方的に自分の感想を話すのではなく、同じ映画を見た友人などと、互いにコメントを言い合いながら、相手の意見に賛成したり、反対したりして会話を進めていきます。

### ● 会話するまえに (P154)

質問は、映画を友人などと見に行き、見たあとに感想を話す場面があるかどうか、考えます。会話のシチュエーションを理解することで、目標とする Can-do を具体的にイメージします。

モデル会話は、友人同士の二人の会話になっています。取り上げられている映画『かもめ食堂』は、2006年に公開された、フィンランドを舞台とした日本映画です。もたいまさこ、小林聡美、片桐はいりの個性的な演技が高く評価された作品で、根強いファンを持っています。映画はDVDとして発売されているほか、インターネットの有料動画サイトでも見ることができます(無料動画もときどき見つかりますが、違法アップロードとしてすぐに削除されることがほとんどです)。

### 1 会話の内容を理解する (P154)

①の質問、二人は映画が気に入ったかどうかは、比較的簡単に聞き取れると思います。②の何について話したかは、さまざまな話題が出てきますので、一人ですべてを聞き取らせるよりも、各自が聞き取ったトピックをクラスで共有しながら全体を理解するようにするといいでしょう。

もちろん、この会話を聞くまえに、クラスで『かもめ食堂』を見る機会があれば、一層効果的であることは言うまでもありません(DVDには英語字幕もついています)。イベントなどの時間を使って映画上映会などができる可能性のある場合は、検討してみてください。

### 2 ことばの形式に注目する (P154)

友人同士の会話でお互い普通体で話しているのは前のトピック6と同じであるため、このトピックではスタイルについての設問はありません。

会話の前に、『かもめ食堂』のあらすじが書かれています。ここで読んで確認してもいいですし、もっと前に(例えば1で会話を聞く前に)あらすじだけ紹介してもいいでしょう。

### 3 会話に役立つ文法・文型 (P155)

映画の感想を言うときに役立つ文型が3つ取り上げられていますが、このうち①の「～(って)感じ」「～(って)気がする」は、映画の感想にかぎらず、自分の意見をやわらかく言うときに役立つ表現です。またここでは「入り込んでたのかな」のように、「～かな」も同様の働きをすることばとして多く使われていますので、まとめて注目させるとよいかもかもしれません。

### ① ～(って)感じ／～(って)気がする (P155-156)

二つの異なる表現を、「感想をやわらかく言う」ときに使う表現として、まとめて練習します。イ形容詞や動詞に使うときは、「おもしろかった感じ／おもしろかったって感じ／おもしろかった気がする／おもしろかったって気がする」のように、「って」があってもなくてもかまいません。また名詞やナ形容詞に着くときは、「イマイチだって感じ／イマイチって感じ／イマイチだって気がする／イマイチって気がする」のように、「って」は必要ですが、その前の「だ」はあってもなくてもかまいません。

練習では、文末が「感じだね／気がするな／感じじゃない？／気がする」のように、いろいろな種類を使っています。どのような文にしてもいいので、自分が映画の感想を友人に話しているのだという設定を想像しながら言わせてください。

### ② まるで～みたいだ／ようだ (P156)

「まるで」を使って、ほかのものに例える表現です。「みたいだ」と「ようだ」を挙げていますが、「ようだ」を使うとどちらかという書きことば的になります。

練習では下の選択肢から選んで文を作りますが、それ以外にも自分で考えて言わせてみるのもいいでしょう(例:田舎の風景が、まるで墨絵みたいだった／アニメ映画のようだった etc.)。

### ③ Vぐらい (P156)

練習は、音声を聞いて、映画の一場面の写真を選ぶタスクです。写真を選ぶだけではなく、映画について何と言っていたか、内容を確認してください。その後、自分で「自由に言う」練習があります。ここでは聞いた音声を再現するだけではなく、写真を見ながら自分でことばを探して文を作らせるといいでしょう(例:震えるぐらい感動しました／何度見てもいいと思えるぐらいすてきでした etc.)。また、単に文を作文するのではなく、例えば「映画、どうだった?」「うん、震えるぐらい感動した」のような会話として練習すると、一層効果的でしょう。

### ④ 話すためのストラテジー (P157)

話しているとき、自分で間違いに気づいたり、もっといいことばがあることに気づいたりしたときは、自分で直しながら話すことができます。おそらくどの学習者も自然に使っているストラテジーだと思いますが、ここでストラテジーとして意識化し、整理することで、自分の日本語をモニターしながら発話するためのきっかけとすることも目的です。

この自己訂正のストラテジーと、トピック 5(P121)で練習した「自信がないことばを疑問調で言う(相手にフィードバックしてもらおう)」と一緒に使う(訂正したことばを相手にフィードバックしてもらおう)こともできるでしょう(例:カンドンの…感動的?でした)。

### 発音 発音の練習 (P157)

終助詞のイントネーションにはいろいろありますが、ここでは「ね」「よね」「な」で相手の反応を求めるとき、少し上げるイントネーションに注目して練習します。この上昇の幅は、前の拍よりも少し上げる程度にすると、自然なイントネーションになります。(3)の、「そうだねえ…」と「だいぶ予想と違ったなあ」は、下降のイントネーションで自分で考えている感じに、「アニメの歌を歌うシーンだよね？」は高い上昇で、相手への質問になります。「結構よかったね」の同意を求めるイントネーションと、「アニメの歌を歌うシーンだよね？」の質問するイントネーションの違いに注意しましょう(上昇の幅が違います)。

### 5 ロールプレイ (P158)

(1)の①では、二人が映画を見たあと、さまざまなトピックについて意見を述べ合っていることがつかせます。1-7 がそれぞれどこからどこまでかを厳密に分けるのが目的ではなく、こうした順序で映画のいろいろな面について話していることがわかればそれで結構です。②が、ここでの主なタスクになります。あずささんの発言の部分はここでは無視して、トンカンさんの発話のみに注目させます。ここでは自分一人で感想を話すのではなく、相手の言うことに賛成したり、反対したりしながら、二人で話をすすめる会話ですので、賛成と反対の表現に注目します。賛成・反対といっても、議論のような場面ではなく、相手と同じ感想の場合には同意し、相手と違う感想の場合には自分の感想を話したりしながら、ああでもない、こうでもないとかジュアルに感想を言い合う会話です。なので、「賛成／反対です」「そう思います／思いません」のような、はっきり立場を主張するような表現ではなく、賛成の場合には「～よね」など、反対の場合には、「文法・文型」で練習した、やわらかく意見を言う表現などが使われていることを確認してください。

(2)のロールプレイでは、はじめに①で『かもめ食堂』について話します。まだ練習の段階ですから、実際にこの映画を見ている必要はありません。モデル会話の情報を思い出したり、ときには適当に考えたりして、あくまでも「ロールプレイ」として会話が作れば十分です。

②で、本当の映画について話します。話し手と聞き手が共通して知っている映画でないと、感想を言い合う会話にはなりませんので、はじめに何の映画について話すのか、ペアで確認してから練習させるとよいでしょう。機会があるなら、日本映画を教室で皆で見たり、実際に日本映画祭などが開催されていれば、それに参加するよう勧めたりすれば、より有意義な活動になるでしょう。

### PART 3 長く話す「不朽の名作って言うんでしょね」

**Can-do 33** 好きな映画について、感想やコメントを述べたり、印象に残ったシーンを具体的に説明したりできる。

PART 2 では、二人で見た同じ映画について、感想を言ったりコメントし合ったりすることが目標でしたが、ここでは、自分が好きな映画について、その映画を見たことがない相手にも魅力が説明できるようにすることが目標です。B1 レベルなので、複数の観点からコメントすることと、印象的なシーンについて具体的に描写できることを目指します。

#### ● 話すまえに (P159)

最近見た作品の中などから好きな作品を思い出し、できたら簡単に紹介し合ってみます。その映画について伝えたいことのイメージを膨らませておくことが目的です。

#### 1 モデル会話を聞く (P159)

レインさんと友人の青木さんが、カフェで映画の話をしています。レインさんが挙げた映画は『ローマの休日』です。『ローマの休日』はオードリー・ヘップバーンの出世作とも言われ、ローマを舞台にした古い映画で、知っている人が多いのではないかと思います。ここでのトピックに選びました。映画の著作権が切れており、ネット上で検索すれば無料で見られるので、見たことのない人は見ることもできます。

ここでは、レインさんが「あれは、何回見てもいい映画ですね。」と言っているように、聞き手の青木さんもこの映画を知っていることが前提になっています。レインさんは『ローマの休日』の魅力について、「役者の魅力、ドラマチックなストーリー、ローマの街の映像のすばらしさ」という3つの観点からコメントをしていますが、この段階では、細かく分析的に理解させる必要はありません。設問にあるように、①主役の2人の関係、②映画のストーリー、の二つがだいたい理解できれば十分です。また、③では「忘れられない」シーンについての描写が理解できるかどうかをイラストで確かめます。

#### 2 表現の確認 (P159)

「感想やコメントを言う」「印象に残ったシーンについて話す」の二つに分けて、そこで使われる語彙や表現を整理してあります。

「何回(①見ても)いい映画」、「なんと(②言っても)～」は強調したいことを示すときに使われます。「～(④のような)ストーリー」、「(⑦まるで)～(⑧ような気分)になります」の「～ような」は映画の特徴や感想を比喩的に述べるときに使います。

「印象に残ったストーリー」を話す部分の内容は個別的なので、どの映画にも共通して使えるものを抜き出すことは難しいのですが、「(⑨いちばん好きなシーン)は、～」は、切り出しの表現として利用しやすいので取り上げてあります。また、「(⑩胸がいっぱい)になります」という感情表現については、準備 2 (P151) で扱った「ハラハラ、ドキドキする、興奮する、感動する、泣ける」などと合わせて確認しておくといいでしょう。

### 3 モデル会話の確認とシャドーイング (P160)

スクリプトを見ながらレインさんの発話部分だけを聞き、どのように話しているか確認します。「あれは、何回見てもいい映画ですね。」と「あれは」を使っているのは、聞き手の青木さんも『ローマの休日』を知っていることが前提になっているからです。映画の魅力について、「役者オードリー・ヘップバーンとグレゴリー・ペックの魅力、ドラマチックなストーリー、映像でみるローマの街の楽しさ」という順番で語り、そのあとで「好きなシーン」を話すという談話全体の流れに注目します。映画の魅力を列挙するときに使う「なんと言っても～。それに～」の使い方も確認してください。

この談話では、最後に「ああいうのを、不朽の名作って言うんでしょね。」で、もう一度映画の魅力をまとめています。「ああいうのを」の「ああ」も、話し手と聞き手で情報が共有されていることを示します。「不朽の名作」は「いつまでも愛され続ける優れた作品」という意味です。ほかに簡単なまとめとしては「本当にいい映画ですよ。」などが考えられます。

#### ◆ シャドーイング

映画の感想やコメントを述べているところをシャドーイングします。スクリプトで観察した特徴を思い出しながら言わせるようにするといいでしょう。

### 4 再話する (P160)

『ローマの休日』を題材にして、映画の感想を話す練習をします。メモの枚数が多いので、再話させるまえに、よく見て話全体の構成を確認します。①「全体的な感想」にある「何回見てもいい映画」「不朽の名作」はどちらも映画全体の印象を述べていますが、「不朽の名作」はまとめのせりふとして使っていることに注意させてください。また、②のコメント部分では、「役者」「ストーリー」「映像」の3つの観点に分けてコメントすることに注目させます。全体の構成を確認したあとで、もう一度、メモを見ながらモデル会話を聞かせてもいいでしょう。

話すときは、話を続けられることが大切で、スクリプトの言い方をそのまま再現させる必要はありませんが、できれば、コメントを列挙するときの接続表現（「なんと言っても」「それに」）が使えるようになるといいでしょう。「それに」を「それから」におきかえてもかまいません。

なお、3枚の写真は、スペイン広場（スペイン階段）での二人の再会の場面（右上）、ローマの街をスクーターで巡る場面（右下）、王女に戻ったオードリーと新聞記者役のグレゴリー・ペックの再会と別れの場面（左下）です。

### 5 自分のことを話す (P161)

#### (1) 話したい内容を整理する

映画を紹介する場合、実際はいろいろな談話構成がありますが、ここでは、4の再話活動で確認したのと同じ流れを使います。①で全体的な感想を述べ、②で主要な点についてコメントし、最後に③で好きなシーンや印象的なシーンを語ります。②のコメントは、相手に伝えたいことを選んで話すということを意識化させるために3つに限ってありますが、それ以上あってもかまいません。

なお、モデル会話では、話し手が話題にした映画を聞き手も知っていたという設定でしたが、ここでは、聞き手が知らないことを前提にしてください。

(2) 話す

友達に映画について聞かれるという設定です。聞き手役になる方も、あいづちなどを打ちながら聞くようにします。

## PART 4 読んでわかる「期待したとおり、いい映画でした！」

**Can-do 34** ある映画についてのいくつかのレビューを比較して読み、意見の違いが理解できる。

インターネットの映画サイトでレビューを読む活動です。新聞や雑誌などの映画レビューでは、書き手は特定の記者や評論家などが一人で書いているのに対し、インターネットのサイトでは、同じ映画について複数の人が異なる意見を書き込んでいます。それぞれの人の意見の違いや、評価の観点の違いなどについて、比較しながら読めることが目標です。

## ● 読むまえに (P162)

インターネットの映画のレビューを読むことがあるか、自分の経験を話します。これから見に行くかどうかを決めるとき、また見たあとでほかの人の感想が知りたいときなど、いろいろな目的があると思います。自国の映画サイトについて話すことが主だと思いますが、日本の映画サイトを見たことのある人がいれば、どんな目的で何を見たのか、話してもらいたいでしょう。またインターネットをあまり使わない人が多いクラスの場合は、新聞や雑誌の映画レビューを含めたより広く一般的な話にしてもかまいません。

## 1 内容を理解する (P162-163)

## (1) タイトルから内容を予測する

はじめに、上の「映画のストーリー・解説」の部分を読んで、映画『フラガール』がどんな内容の映画であるか、大まかに理解します。『フラガール』については PART 1 でも聞きましたので、大まかなことは覚えているかもしれません。解説から、昭和 40 年(1965 年)という古い時代の話である、炭鉱の町が舞台、フラダンスショーを成功させようとする人の話である、実話にもとづいている、感動ドラマ、などの点をチェックします。

もちろん、ほかの PART と同様に、映画『フラガール』を見る機会が作れるなら、この活動の前後に映画を見ると一層効果的です。『フラガール』の DVD は海外版も発売されており、英語字幕もついていますので、調べてみてください。インターネットでも動画が見つかるかもしれません。

「ストーリー・解説」を読んだあとは、その下の「レビュー一覧」にあるレビューのタイトルを見て、それぞれどんな内容が書かれているレビューかを予測します。①なら、具体的にどんな点に感動できるかが書かれているだろう、それは例えばダンスのシーンかもしれないし、人々が努力する姿かもしれないし、何か感動的な恋愛があるかもしれない、逆に③は評価の点数(★の数)が低いし、タイトルも「どこにでもある」と書いてあるので、ストーリーがつまらない、ということが書いてあるのだろう、などのように、自由に予想して、その内容をクラスで話すようにしてください。

## (2) レビューの 1 回目の読み:それぞれの内容を大まかに理解し、タイトルとマッチングさせる

**A**~**C**のレビューを読んで、それぞれが①~③のどのレビューかを考えます。映画サイトでは、レビューのタイトルを見て読みたいものをクリックすると、その内容が現れるようなくみになっていることが多く、ここでも、①~③のタイトルを見て、内容を讀もうと思ってクリックして、その内容が **A**~**C**と



して表示されるという設定で、同じような読みになるようにしています。こうしたサイトをまったく見たことがない人がいる場合、簡単に説明してください。マッチング自体は難しくはないと思いますので、それだけではなく、(1)で考えた内容と、実際に書かれていることを比べて、どの点が当たっていて、どの点が違ったかなどを話してください。

### (3) レビューの2回目の読み:それぞれの内容をくわしく理解する

映画のレビューには、役者の演技、シーン、ストーリーなど、だいたい決まった観点があり、とくに同じ作品のレビューには、共通した内容のコメントが書かれていることも少なくありません。ここでは **A** - **C** のそれぞれのレビューにどんな内容が書かれていたかを読み取るのが目的ですが、ア～カの内容が書かれているか、書かれているとしたらどこにそれがあつかうかという読み方をするので、それぞれのレビューの観点を比較します。書かれている部分を見つけるだけでなく、ア～カがポジティブなコメントなのか、ネガティブなコメントなのかを考えさせてください。これによって、◆で聞かれている、レビュー筆者それぞれの意見の違いがより理解できるでしょう。

## 2 読むための戦略 (P163)

知らないことばが出てきたとき、そのことばの意味を前後の文脈から推測する戦略で、実際はすべての学習者が既に使っていると思われます。ここではもっと積極的に、わからないことばがあつたら逐一辞書を引くのではなく、できるだけ辞書を引かないで、推測しながら読む、という読み方を意識して実行してみることが重要です。もちろん推測だけでは細かな意味をつかむことは難しいこともありますが、映画レビューを読むような場合、細かい部分は意味が取れなくても、全体的にどんなことを言っているのかがわかればいい、と割り切ることも、同じように大切な戦略だと考えられます。こうした読み方を身につけることで、日本語で書かれた文章に自ら気軽にアプローチし、いろいろ読んでみようと思えるようになれば、読解力も上がっていくことが期待されます。

## 3 読んだあとで (P163)

レビューで「よくある話」と書かれているように、スポ根のサクセスストーリーは比較的好くあるパターンでしょう。また、例えば「実話を元にした映画」「ダンスを扱った映画」「古い時代から新しい時代への移り変わりを扱った映画」など、別の観点からとらえることもできます。自分の国の「似ている映画」について考えることで、テキストから読み取った内容を深めることができますし、共通点や相違点を話すことで、自分が知っている映画のストーリーやその感想を話すための練習にもなります。

#### 4 読むのに役立つ文法・文型 (P164)

##### ① Vたとおり/Nどおり (P164)

動詞に付く場合には「V たとおり」、名詞に付く場合には「N どおり」となります。名詞に付くときは「N のとおり」という言い方もできますが、ここでは扱っていません(質問があれば、それも可能であると伝える程度でいいでしょう)。動詞に付く場合、必ずしも「V た」の形に付くわけではありません(例:レビューに書かれているとおり…)が、ここでは既に得ている情報と照合して映画の感想を書いているという想定から、「V た」の形だけを扱っています。

##### ② ~ながらも (P164)

非常に書きことば的な表現なので、スタイルに注意を促してください。同じような表現としては「~(な)のに」「~にもかかわらず」がありますので、簡単にまとめて紹介してもよいでしょう。

##### ③ V(よ)うとする (P164)

努力や意思を表す表現です。英語だと「try to~」にあたる表現として、「~ようとする」と「~てみる」があります。「~てみる」が、これまで経験のないことを実際に経験するという意味であるのに対し、「~ようとする」は何かするために努力している行動に焦点を当てた(その結果、成功するかどうかはわからない)言い方です。

##### ④ ~ものだ (P164)

あるものの性質や傾向などについて、もともとそういう性質がある、普通はそうである、それが当然だ、といったニュアンスを表します。この「~ものだ」には、これ以外にもさまざまな意味・用法がありますが(例えば「若いときは二人でよく映画を見に行ったものだ」(回想)、「映画館もずいぶんきれいになったものだ」(驚き)など)、ここでは触れる必要はありません。

#### 漢字のことば 漢字の整理 (P164)

サイトのレビューの中に出てきた漢字が取り上げられています。これらのことばが本文のどこに出てきたかを確認し、読み方、意味を確認したあと、キーボードで入力するなどの練習をしましょう。

##### ◆ 漢字を手がかりにことばを増やしたり整理したりする

「笑顔」→笑った顔、「実話」→実際の話、「脇役」→脇の(主要でない)役など、前の漢字が後ろの漢字を修飾してできていることばです。ほかにどんなことばがあるかは、Google で「熟語 前の漢字が後ろの漢字を修飾」などを入れて検索すればいくつか見つかりますので、学習者になじみがありそうな語を選んで紹介してください。

## PART 5 書く「映画レビューを投稿」

**Can-do 35** 最近見た映画について、自分の感想やコメントをレビューサイトなどに書くことができる。

PART 4 で読んだような映画のレビューを、ここでは自分で書いてみます。PART 4 のレビューをモデルにすることができますが、産出の活動としては、PART 3 のメモ→まとまったコメントの産出、という流れに近い活動になります。

### 1 書く (P165)

#### (1) 書くための準備

レビューする映画を決めてから、いいところとよくないところを箇条書きでメモします。あとで文が書きやすいように、どんな点についてどう思ったのか、できるだけ具体的にメモするとよいでしょう。

#### (2) 映画レビューを書く

メモに書いたことをまとめながら、まとまりのあるレビューを書きます。自分が実際に日本語の映画サイトに投稿するというシチュエーションで書かせてみてください。(1)でメモした内容を、順番や構成を考えながら書きます。投稿フォームにある「印象」の欄では、その映画にはどのようなことばが当てはまるか、チェックをつけます(いくつつけてもかまいません)。「ネタバレ」は、まだ映画を見ていない人がそのレビューを読んだとき、映画のストーリーがわかってしまうような記述がレビューの中にあるかどうかを自分で申告するためのものです。

### 2 書いたあとで (P165)

ほかの人が書いたレビューを、実際に映画サイトの投稿レビューを読むようなつもりになって読み、どの映画がおもしろそうか、自由に話し合ってください。また自分の知っている映画について書いた人がいた場合、感想が同じか違うか、PART 2 のように、コメントを言い合う活動にしてもいいでしょう。また可能であれば、日本の本物の映画評投稿サイト(Yahoo!映画など)に、日本語で投稿させてみるのも意義がある活動になるでしょう。

## 教室の外へ

### わたしだけのフリース (P166)

(例)はトピック 4 のときと同様、自分の好きな映画作品の日本語タイトルが書かれています。好きな映画の話をするとき、その作品は日本語で何というか、あらかじめ調べておくことで、その作品について話すことができます。

そのほか、授業でやった活動の中で知ったことばをメモしてもいいですし、「こんな内容の話がしたい」というのを母語で考え、辞書で調べて書いておくのもいいでしょう。

### 教室の外の活動のアイデア

#### ①

このトピックで取り上げられた映画作品のレビューを、実際の映画サイトで読んでみます。さらにいろいろな意見が読めると思います。また知り合いの日本人がいれば、好きな作品について話してもらい、PART 1 の実践をしてもいいでしょう。日本語母語話者を呼んだビジターセッションの話題としてもいいかもしれません。

ここで紹介された映画は、やはり実際に見てみれば、より理解が深まるのは言うまでもありません。個人で DVD や動画サイトなどでそれぞれ見た上で、教室で感想をシェアしてもいいかもしれませんし、授業の一環として、上映会を行うことが可能なら、それもいいでしょう。

#### ②

自分の国の映画の、日本語でのレビューを読んでみます。まず準備の活動として、その映画が日本語では何というタイトルになっているか、インターネットを使って調べます。日本語タイトルが原題と全く違う場合も少なくありませんので、注意が必要です。それから、調べたタイトルを、映画サイトで検索します。もしその映画を見ていたら、自分の感想と比較してみるといいでしょう。そのサイトに、自分が日本語で投稿することもできます。たとえ短い感想でも、自分で日本語で書いたものが実際のサイトに残ることは、モチベーションにも繋がると思います。

#### ③

基金が主催する映画祭など、自分の国で日本映画祭が開かれていたり、また国際映画祭などで日本の作品が上映されていたりする場合、ぜひ足を運んで映画を見てみましょう。日本の映画を自国の観客と見たり、その感想をどこかの掲示板に書き込んだりすれば、より意味のあるコミュニケーション行動に繋がることになります。

## トピック8 私の街の交通機関

日本と言えば「交通」というぐらい、日本の交通システムは世界的に知られています。とくに時間通りに来る電車は、海外の人にとっては驚きの対象であるようです。一方、海外で暮らす日本人にとっては、日本とくらべてはるかにおおらかな現地の交通は、なかなか不便で不満も募ります。海外の日本人から聞く機会のある話題として、現地の交通機関について話すことは、非常にポピュラーな話題と言えるでしょう。B1レベルなので、切符を買ったり道を聞いたりといったAレベルのコミュニケーションではなく、自国にいる日本人に交通機関の利用法を説明したり、実際に交通機関のトラブルに巻き込まれている人を助けたりできるようになることを目指します。

### ◎ 扉／準備

#### ● トピックについての質問 (P167)

扉の3枚の写真は、外国で日本人が道を聞いている様子、日本の電車の様子、各国の交通機関のプリペイドカードです。自分のはじめての土地でその交通機関を利用した体験について思い出してもらおうといいでしょう。

質問では、自分の国や自分の街の交通機関について考えます。このトピックでは主に電車を取り上げていますが、電車のない国や街の人もたくさんいるでしょう。飛行機なら使う、バスなら使う、公共の交通機関はなく、自分の自動車やバイクしか使わない、などいろいろあると思いますが、こうしたことを考えることで、「交通機関」について既存知識を整理し、続く活動の準備とします。

#### 1 写真やレアリアを見る (P168)

日本の駅や電車の中で見かける、ポスターや標識、ステッカーなどの写真を集めました。それぞれの意味は、選択肢と解答をマッチングすることでだいたいつかめると思います。ここでの目的は、日本の電車にはさまざまなルールや習慣があり、これは日本に特有と言える珍しいものもあり、電車のルールや習慣は国によって違うのだということに気づかせることにあります。それぞれの写真について、自国ではどうか、日本のルールや習慣についてどう思うかなどについて、クラスで意見を交換しあってもいいでしょう。ただし、ここはあくまで続く活動への「準備」に過ぎないので、あまり時間をかけすぎないようにしてください。日本の電車のルールのくわしい理解が目的ではありませんので、教師が一方向的に説明する必要はありません。また「日本ではこうだ」のような、ステレオタイプの押しつけにならないようにも注意してください。

- ① 遅延の電光掲示板: 日本の電車では、数分遅れただけですぐに遅延の案内が表示され、駅員がアナウンスで謝罪する。
- ② 女性専用車両: 首都圏の通勤時間に限り、女性しか乗れない車両が一両設定されている。痴漢からの保護が主な目的だが、混雑率の違いなどから、批判する人も多い。

- ③ ペットの持ち込み:犬などのペットをそのまま電車に乗せられる国とは違って、日本ではペットを電車に乗せる際は、専用のケースに入れる必要がある。
- ④ 駆け込み乗車の禁止:電車の出発するギリギリの瞬間に、走って来て無理に乗ろうとする人がいるが、これは危険だし電車が遅れる原因となるので、よく注意される。なお、その電車に乗れなくても3分後に次の電車がくる東京で、なぜ駆け込み乗車をするのか、という疑問を持つ外国人は多い。
- ⑤ 携帯電話の通話禁止:日本の電車の車内では、携帯電話で声を出して話すことは、マナー違反であるとされ、禁止されている。「マナーモード」とは着信音が鳴らない設定のこと。このモードにしておけば、メールなどは使える。なお以前は、心臓のペースメーカーに影響があるため優先席では電源を切るように言われたこともあったが、現在では根拠がないことが証明されたため、その習慣は少なくなっている。
- ⑥ 整列乗車:電車に乗るときは、必ず電車のドアの位置に並んで待つ。電車が着いたら、はじめに降りる人が降りるのを待ち、そのあとで順番に電車に乗る。写真のように、次の電車、その次の電車と並ぶ位置が分かれていて、電車が来て最初の列の人が電車に乗ったら、次の電車を待っている人は列全体で横に平行移動して並ぶようなシステムの駅も多い。
- ⑦ 歩きスマホの禁止:車内や駅でスマホを操作すること自体は禁止されていないが、駅で歩きながらスマホを操作すると、人にぶつかったりホームから落ちたりする危険があるため、ポスターで禁止を呼びかけている。

## 文化 文化について考える (P168)

上の①-⑦のマナーについて考えながら、日本と自国のルールやマナーを比較します。たとえば、国によってはペットも家族のように考えられ、電車やバスにそのまま乗せてもいいという国もあるでしょうし、反対に、動物はケージに入れても人が乗る車両に乗せないという国もあるでしょう。遠距離電車の中なら携帯電話で話してもいいという国もあるかもしれません。また、電車が遅れるときも、駅に特別に掲示は出ないときもあるでしょう。このような違いや似ている点を具体的に考え、また、その理由についても考えることで、文化の背景について考えます。なお電車がない国の人は、飛行機やバスなど何でもかまいません。

## 2 語彙や表現の確認 (P169)

交通機関の話題で知っているとよさそうな表現を取り上げています「時間に(②正確)」「(③運休)になる」「自転車(④通勤)」「(⑤公共)の乗り物」などは、日常的によく使う表現なのでこのトピックを扱っている間に、ぜひ覚えておくといいでしょう。

**◆ 赤字の言い方に注目しましょう**

赤字の表現を、肯定的な表現(ポジティブな表現/いいことについて言っている表現)と、否定的な表現(ネガティブな表現/悪いことを言う表現)に分けるタスクは、これまでもいくつかありました。ここでも同様の観点からことばをグループ分けしますが、ここでは「いいと思っている」ことを言う表現だけを選びます。「いいと思っている」ことを表しているのは「時間どおりに来る、快適だ、環境に優しい」の3つです。残りの「運賃が高い、頼りにならない、待たされる、混んでいる」は、「悪いと思っている」場合が多いです。ここでも、「時間通りに来る/来ない」「運賃が高い/安い」「頼りになる/頼りにならない」「快適/不快」「環境に優しい/環境のことを考えていない」のように、それぞれの表現を対にして確認しておくといいいでしょう。

**3 その他の活動 (P169)**

日本の電車の中や駅では、いろいろなアナウンスが流れています。ここでは、電車や駅のアナウンスを聞いて、どんな場面で言っているか、絵を選ぶタスクです。アナウンスの内容を細かく理解する必要はありません。日本では、どんな場面で、どんなアナウンスがあるのかということがおおまかに理解できれば、「準備」の活動としては十分です。

なお、音声を聞く前に、絵を見てどんな場面かをあらかじめ考える時間を取れば、聞き取りの活動がよりスムーズに行えるでしょう。

## PART 1 聞いてわかる「また電車遅れてる」

**Can-do 36** 外国の交通機関を利用した経験など、ほかの人の経験談を聞いて、内容とその背景にある価値観が理解できる。

外国やほかの地域に行ったとき交通機関の違いに戸惑ったり、驚いたりしたという経験は、多くの人に共通するものとも言えるでしょう。このような体験は、気のおけない友人同士のおしゃべりなどでよく話題になることがあります。そこで、ここでは、会話に参加しながら話し手がどんな出来事に対してどう感じたのかを理解し、さらに、話し手が感じた違和感がどのような背景の違いによるものかを考えられるようになることが目的です。

### 場面・設定の確認

日本以外のどこかの国の駅のホームで、友達同士で電車を待っているが、電車が遅れていてなかなか来ないという設定です。「あー、また電車遅れてる」と言っているイラスト中央の男性の発言をきっかけに、交通機関での体験に話が発展していきます。この男性(外国人、聞き手)の立場で話を聞き、ほかの人がどんな経験をし、どう思ったかを理解します。

#### ● 聞くまえに (P170)

ここでは、電車が遅れているとき何分ぐらいなら我慢して待てるか考えてみますが、同じ国の場合でも、個人差があると思われます。このような個人差を認識することによって、これから聞く会話で、話し手が感じる違和感の理由を考えるきっかけにします。

#### 1 内容を段階的に理解する (P170-171)

(1)－(3)で、4人の体験とそれについての感想や考えを段階的に理解していきます。それぞれの感想の背景の理解は、2の聞くためのストラテジーで取り上げます。なお、Can-doにある「価値感」そのものを問う設問はありませんが、聞いたあとの活動を含め活動全体を通して、解釈がすすめられるようになっています。

##### (1) 1回目の聞き: 話題になっている出来事を理解する

4人の話全体を聞き、それぞれが体験した出来事と、それが「今住んでいる国」「日本」のどちらで起ったことなのかを聞き取ります。出来事については、キーワード付きのイラストから選ぶタスクになっています。起った場所については、話している場所が「今住んでいる国」で、「日本」ではないことを確認してから考えさせてください。

##### (2) 2回目の聞き: 出来事の詳細と話し手の感想を理解する

(1)で聞き取った出来事のそれぞれについて、起こったことの内容をくわしく聞き取ります。イラストを見ながら聞くと理解しやすいでしょう。



話し手がどう思っているかは、①「頼りにならない、待たされて…、勘弁してって感じ」、②「驚くもの、すごいよねえ、おかしいって感じ」、③「びっくりした」、④「こっちの方がいいな、疲れちゃう、悲しかった」などの感情や評価を表す表現に注目して聞かせるといいでしょう。4つの選択肢、「交通機関に不満を持っている」「雰囲気に不満を感じている」「おおらかさに驚いている」「対応に驚いている」には微妙な違いがありますが、話し手がどう言っているかがきちんと理解できれば、選ぶのは難しくないと思います。

### (3) 3回目の聞き:考え方の違いを理解する

(2)では話し手の感想を聞き取りました。ここでは、それを一步深めて、交通システムの違いについての4人の考え方を理解することが目的です。実際のタスクは( )に入れることばが把握できればいいようになっています。

## 2 聞くためのストラテジー (P171)

このトピックのように、話し手が驚いたり疑問を感じたりしたことの背景には、文化や社会事情の違いがあると考えられます。そこで、ここでは、「話の背景を確認しながら聞く」ストラテジーを取り上げます。このストラテジーを使うことによって、話し手がなぜ戸惑っているかの理由がわかるので、相手の立場に立ったコメントやアドバイスができるようになると考えられます。このようなストラテジーや態度を習得するのは簡単ではないのですが、ここでは、まずそれに気づくことが目的です。

### (1) 「話の背景を確認しながら聞く」言い方を確認する

①直子さん、②真治さんの会話の中から、聞き手が、背景となっている日本の交通事情を話し手に確認しているところを抜き出してあります。ここでは、聞き手がどう言っていたかを聞き取ります。①の例では、ストの多さに驚いている話し手に「日本ではストはないの?」と質問しています。②の例では、こちらのバスの運転手ののんびりした行動に驚いたという話し手に、「日本ではそういうことがないんだ。」と確認しています。

### (2) ストラテジーの機能を理解する

ここでは、(1)で聞いた①直子さん、②信治さんの会話の続きを聞いて、聞き手の確認が、話し手からどんな情報を引き出したかたを理解します。①では、「日本ではストはめったにない、こちらはストの頻度が多すぎる」という情報を引き出しています。②の例では、「日本ではバスの運転手は勤務時間中にランチを買いに行くことはしない」という情報を引き出しています。そして、このような情報を得ることによって、話し手がなぜ驚いていたのかがよく理解できるようになると言えるでしょう。

## (3) ストラテジーを使ってみる

④ 耕太さんの話の一部を使って、話し手の発言の背景を確認してみる練習です。練習で確認するのは、車内へのベビーカーの持ち込み、自転車の持ち込みについての2箇所です。耕太さんに対して、日本の交通事情でこの二つがどうなっているか、音声を聞いて確認してみます。

そのあと、◆では会話例を聞きます。聞き手が確認する部分と、それに対する答えの部分は、まえの 1 の会話中にはなく、ここではじめて聞くことになります。話し手からどんな情報を引き出したかにも注意させてください。

## 3 聞いたあとで (P171)

4 人の体験と似たような経験があるかについて話します。4 人の体験と似ているかどうかは、自分の体験を振り返るきっかけにすぎないので、交通機関で実際に驚いたり疑問に思ったりした経験がある人がいたら、それについて話してもらおうと話が盛り上がるでしょう。また、この活動は、PART 5 (P183) の書く活動につながります。

## ■ 聞いたことをまとめる (P171)

選択肢の動詞のうち、「(①降ろされて)」「電車を(②待たされた)」「事故を(⑧起こされる)」「～と(⑨言われた)」は、どれも自分の視点から語っているので受身形や使役受身形が使われています。「電車に(⑫間に合い)そうにないとき」の「V そうにない」は「V そう」(様態)の否定形です。意味と使い方を確認しておいてください。

## PART 2 会話する「今日は運休ですね」

**Can-do 37** 交通機関のトラブルなどで困っている人に、くわしい状況を説明して具体的なアドバイスができる。

国によっては、電車の遅延、運休、行き先変更などは、珍しくありません。ここでは、交通機関のトラブルにあって困っている日本人に、日本語で状況をくわしく教えたり、どうすればいいかをアドバイスしたりする会話を練習します。モデル会話では、知らない日本人に話しかける設定になっていますが、海外の街で知り合いの日本人といっしょに電車に乗っているときなどにも応用することができますでしょう。

なお、交通機関のトラブルについては「初中級」のトピック 8 でも扱いましたが、そのときは学習者が日本でのトラブルに巻き込まれ、周りの人に助けを求めるといった立場でした。それに対しここでは、現地で困っている日本人に、学習者がアドバイスするという立場になっている点が異なっています。

### ● 会話するまえに (P172)

交通機関のトラブルの経験を話します。電車が遅れたり、動かなくなったりして困ったことは、誰にでもあると思います。もちろん電車だけではなく、飛行機やバスの話をしてもいいですし、公共交通機関があまり一般的でない国の場合は、例えば自家用車やバイクの故障や事故、交通渋滞などの話ができるでしょう。どんなトラブルを経験したか、そのときどうしたかなどを話すことで、これから練習する会話の準備をします。

### 1 会話の内容を理解する (P172)

ロンドンの地下鉄で、どんなトラブルがあったか、長谷川夫妻はどうして困っているのか、エリンさんはそのときどんなアドバイスをしたか、大まかに内容を聞き取ります。エリンさんのアドバイスは、細かい駅名や路線名が出てきてやや複雑ですが、ここではそこまで聞き取る必要はありません。「別の路線を使うように言った」「タクシーで行くことを勧めた」程度で十分です。

なお、ロンドンの路線名や駅名を聞く助けとして、本文のイラストにある路線図を見ながら聞かせるようにしてください。

### 2 ことばの形式に注目する (P172)

丁寧体と普通体の使い分け、敬語の使用の有無という、二つの点に注目して聞きます。とくに、長谷川夫妻は夫婦間では普通体で話し、エリンさんに対しては丁寧体＋敬語で話していますので、やや複雑になっています。昔は夫婦間でも丁寧体を使っていましたが、現在では夫婦はお互いに普通体で話すのが一般的です。小説やドラマ、アニメ等に出てくる古い世代の日本の夫婦の会話とは違うことがあるので注意してください。

本文にはロンドンの地名や路線名がたくさん出てくるので、カタカナの苦手な学習者は、少し手こずるかもしれません。地名自体を流暢に言えるようになる必要はありませんが、カタカナの読み方にまだ苦勞するようであれば、ここで軽く練習してもいいでしょう。ちなみに、「ヴィクトリア」のように、v の音を表す「ヴ」という仮名に初めて接する学習者もいるかもしれませんので、必要があれば説明してください(発音は[b]で「ビクトリア」と同じです)。

### 3 会話に役立つ文法・文型 (P173)

#### ① おVです (P173)

尊敬語の「おVになります」という表現は、「中級1」のトピック1で勉強しました(中級1:P48)。ここは、より簡単な形の尊敬語として、「おVです」という形を学びます。基本的には「V ています」の尊敬語の形として、「お困りになっていらっしゃいますか」だと長いので、「お困りですか」という言い方をする、ぐらいの説明でいいでしょう。ただし、「おVです」が常に「V ている」の現在進行の意味を持っているとは限らず、実際にはもっと広い意味で使われます(ここでの練習だと、①③④は現在進行の「V ている」の意味ですが、②⑤は未来のことを言っています)。また、相手に質問する文でよく使われることにも注目させます。

#### ② V たつもりだ (P174)

現在形とともに使い、自分の計画を言う「V つもり」は、「中級1」のトピック6で取り上げました(これをかぶって行くつもりです→中級1:P137)。これに対して、ここで練習する「V たつもり」は、過去の自分の「その気」を表します。つまり、自分の気持ちとしてはそうしたと思ったけれど、実際にはそうではなかった場合に使われます。練習では、絵を選んだあと、話し手がどのように思っていて、しかし実際はどうだったのか、違いを考えさせてみましょう。

◆の「自分のことばで言う練習」は、聞いた音声をそのとおりに再現するのが目的ではありません。絵を見て思い浮かぶセリフを、「V たつもり」の形を使って自由に言わせてください。

#### ③ ～ほど～ない (P174)

絵を見ながら比較して言う練習です。左のものを主語にして、右のものと比べながら、【 】のことばを使って文を作ります。機械的に文を変形させるだけではなく、絵を見て意味を考えながら行うようにしてください。比較にはいろいろな言い方がありますので、クラスによっては、「～のほうが～」 「もっと～」など別の表現を使って比較させたり(ロンドンの地下鉄より東京の地下鉄のほうが複雑です、etc.)してもいいでしょう。

◆では、自分の町と日本の知っている町について、自由に比較します。トピックに合わせて、交通機関について話すことが期待されますが、それ以外のトピックについて話してもかまいません(人が多い、安全、空気がきれい、など)。

#### 4 ～たと思う (P174-175)

「過去に得た情報」を思い出しながら、「今」のことを話す、ということに注意させます。「～た」の形が過去を表す形だと思っていると、「動いてなかった」「買えた」のような形を見て、動いてなかった／買えたのは過去で、今は動いている／買えない、のように思ってしまう可能性があります。学習者の理解を確認しながら練習してください。

#### 4 話すためのストラテジー (P175)

比較的長くてまとまりのある説明をするとき、一方的に話し続けたのでは、聞き手がきちんと理解しているかがわかりません。話の内容が複雑な場合だけでなく、話し手が自分の日本語や説明の仕方に自信がない場合などにも、相手が理解しているかを確認しながら話すことで、コミュニケーション上の誤解を減らすことができます。ここでは、話の途中で、相手が理解しているかどうかを直接的に質問することで、確認しながら話すというストラテジーを練習します。確認の質問には、ここに挙がっているようにいろいろな言い方がありますが、それほど意味に違いはありません。むしろ、相手との関係によって、丁寧度を変えることに注意したほうが、より自然な会話になると思います。例えば「よろしいですか?」「おわかりですか?」などの敬語を含む表現は、見ず知らずの人と丁寧に話す場面で使われる表現ですし、ここには載せていませんが、例えば友達と話すときには、「いい?」「わかった?」「ここまで OK?」などの言い方もできますので、これを紹介してもいいでしょう。

◆の練習は、路線図を使って、一方が比較的長く説明する中に、聞き手が理解しているかの確認を混ぜる練習です。聞いているほうは、本当に理解できているか、あまり理解できていないかを考えながら、「はい」または「すみません、もう一度説明してください」「～線、ですか?」などの聞き返しや確認を入れて答えてみてください。なお路線図はここでは東京の簡単なものを載せていますが、これを使って練習してもいいですし、ほかの路線図(自分の街のものや、日本のほかの街のものなど)を使っても、もちろんかまいません。

#### 発音 発音の練習 (P175)

これまで「中級1」から「中級2」を通して練習してきた発音の総合的な練習です。文の自然な韻律を実現するために、全体をなだらかなヤマで発音しつつ、単語のアクセントで下がり、文の途中にフォーカス(相手に伝えたい重要な部分)があるときはそこで新しくヤマを作る(なければヤマを作らない)というルールをこれまで少しずつ練習してきました。ここでは、単語のアクセントは書いてありますので、どこにフォーカスがあるかを考えて、文全体のイントネーションを実現します。はじめに、上で述べたようなルールから、どのような韻律で発音されるかを考え、それと照合しながら実際の発音を聞き、同じだったか、違うならどこが違ったかを考えながら、自分でも発音してみることで、自然な韻律を身にけることを目指します。

なお、解答に示してあるイントネーションの線が、もっとも自然な発音だと思われませんが、相手に伝えたい部分が変われば、文のイントネーションも少しずつ変わってきます(例えば「よくあるんで

す」は「よく」と「ある」にフォーカスを置けば、解答例のように二つのヤマになりますし、「ある」をとくに強調しなければ、「よくあるんです」で一つのヤマになります。だいたいのルールが実現されていれば、多少違うパターンであってもかまいません。

#### **5** ロールプレイ (P176)

はじめに(1)で、エリンさんの発話を分析します。ここでの目標 Can-do は今の状況を説明することと、どうすればいいかアドバイスすることでしたので、そうした部分でどのような表現を使っているか、チェックします。ここではこれに加え、背景となる一般的な事情(ここではロンドンの交通事情)について説明している部分にも注目します。現在の状況を説明したり、アドバイスをする際には、こうした事情の説明が役に立つこともあると思いますので、合わせて見ておきます。

(2)①では、「途中の駅で地下鉄から全員降ろされた」という想定で、困っている日本人に説明し、アドバイスするというロールプレイをします。ほかのトピックと同様に、ここでも一つ目のロールプレイは、場面を想像しながら話を作ることができれば、実際とは違う状況であったりしてもかまいません。ここでは内容よりもむしろ、状況の説明、背景の説明、アドバイスを含めた全体の構成を考えながら、学習した形式を使って話してみることに主眼を置きます。

続く②のロールプレイで、できるだけ本当にありそうな場面を想定しながら会話をします。電車でなく、飛行機やバスなどのトラブルでもかまいません。自分の国で、日本人が交通のトラブルに巻き込まれるとしたら、どんなことがあるだろうかと考えながら、できるだけその本当の場面に居合わせたようなつもりでロールプレイをするように促してください。

## PART 3 長く話す「切符は駅の機械で簡単に買えます」

**Can-do 38** 交通機関について、利用方法、特徴や注意する点などが具体的に説明できる。

自分の国の乗り物の利用法について説明します。B1 レベルなので、手順を追って相手にわかりやすい話し方を工夫すること、また乗り物の特徴などを踏まえ、注意した方がいいことや便利な点などについても情報が加えられるようになることが目標です。

### ● 話すまえに (P177)

自分の街でよく使われている交通機関の利用方法を思い出します。はじめてその街に来た人にとってどうか、説明するときどんな情報が必要かという観点から考えてみます。

### 1 モデル会話を聞く (P177)

モスクワに引っ越してきたばかりの和田さんが、ナターシャさんにメロの乗り方を教えてもらっている場面です。和田さんは「ロシア語もまだよくわからないし、心配で…」と言っているのですが、ナターシャさんは丁寧に説明しています。

ナターシャさんの説明は大きく5つの部分に分けられます。設問では、説明順の意識化のために、話題に番号をつけます。そのあと、それぞれの説明に関係のあるものを a-e の選択肢から選ばせますが、このとき、もう一度聞かせてもいいでしょう。

### 2 表現の確認 (P177)

「何について話すか言ってから、……」と見出しにあるように、利用方法の説明では、「まず、路線を～」「切符は～」「電車のホームは～」「降りる駅は～」のように、トピックを明らかにしてから話すようにすると相手にわかりやすいです。

「利用方法」や手順の説明では、「①確認してください」だけではなく、「駅の機械でも②買えます」「④持っておくと⑤便利ですよ／いいですよ／役に立ちます……」「色の表示を見て⑦探せばいいですよ」「⑧聞けばいいと思います」など、いくつかの表現形式があるので、ここでまとめておいてください。いずれも復習になると思います。

「～に③関係なく」「～⑥ごとに」は意味の理解ができているか確認してください。

「駅の中が、宮殿⑩みみたいにきれい」の「～みたい」は比況を表します。「～のように」に置き換えも可能ですが、話しことばでは「～みみたいに」がよく使われます。

### 3 モデル会話の確認とシャドーイング (P178)

**1** で確認したように、路線、切符・料金、電車のホーム、降りる駅、その他(電車の時刻表)の順番で話していますが、単に手順を説明するだけではなく、切符については共通券やトロイカカードの情報、ホームについてはそこに行くまでのエレベーターの話など、相手にとって役に立ちそうな情報を交えながら説明している点に注目させてください。こういう話ができることが B1 レベルの目標になります。

すでに何回か出てきましたが、条件に合ったアドバイスを「しばらくモスクワで生活するなら～」、逆接・注意喚起の「ただ、～」、情報を加えるときの「それから、～」の使い方も確かめておいてください。

#### ◆ シャドーイング

メトロの乗り方のはじめの部分をシャドーイングしてみます。**2**で見たように、「まず、路線を…」 「切符は…」 「電車のホームは…」のように、話の順番を意識しながらまねさせるようにすると、次の再話活動につながりやすいでしょう。

#### **4** 再話する (P178)

モスクワのメトロの利用方法を例にして、交通機関の利用方法を説明する練習をします。話の流れの順番に、①-⑤に内容を整理してあります。全体に目を通し、話の流れと内容を確認させてから話させてください。見出しを利用して、「まず、路線を…/切符は…」など、「何について話すか」を言ってから、説明することを意識させるといいでしょう。また、**2**で見たように、手順の説明で「～てください」以外の形式も使えたかどうか、自分の発話を振り返らせてください。

#### **5** 自分のことを話す (P179)

##### (1) 話したいことを整理する

日本人から質問を受けそうな交通機関を選んで、説明のメモを作ります。交通機関には、通勤や通学などの近距離の移動に利用するもの、旅行など遠距離で移動するときのもの、特定の地域や観光地にある特別な乗り物など、さまざまなものがあります。クラス全員が同じものにならないように調整するといいでしょう。

準備では、選んだ乗りものについて何をどんな順番で話せばいいかを考えさせることがポイントです。メモのカードは5枚ありますが、最後のカードが「その他」となっているほか、見出しは空欄にしています。それぞれの学習者に、話の順番を考えさせて記入させてください。

##### (2) 話す

会話例では、聞き手が「今度、〇〇に乗りたいんですけど…」と会話を切り出していますが、練習では、話し手がすでに準備したものについて話すこととなります。練習のまえに、何について話したいのかペアで確認してから始めてください。同じ国の学習者同士での会話の場合は、すでに知っている交通機関の利用法を聞くこととなりますが、話の順番やどんな特徴を加えて話すかには個人差があるでしょう。振り返りでは、だれの話のどういう点がわかりやすかったか、おもしろかったかなどから、お互いにコメントさせるといいと思います。



## PART 4 読んでわかる「日本の電車ってどう？」

**Can-do 39** インターネットなどで、交通機関についての複数のコメントを読んで、いろいろな立場の意見が理解できる。

その国に長く住んでいる人が当然だと思っていることでも、異なる文化や背景を持つ人には、滑稽に感じられたり不思議に思ったりすることがあるでしょう。インターネットには、そういう外国人の反応や声だけを集めたサイトがあります。また、日本のテレビには、外国人が日本で驚いたことを語り合うような番組もあるようです。このようなサイトや番組を見ても、日本を知るために役に立つでしょう。そこで、ここでは、日本事情について複数の外国人の意見を引用したサイトを読み、いろいろな立場の意見が理解できるようになることを目指します。

## ● 読むまえに (P180)

ここでの話題は、日本の電車についての外国人の意見です。実際に日本で電車を利用したことなくても、ネットでの情報、人から聞いた話、テレビの日本についての報道などから、日本の電車についていろいろなイメージを持っていると思われます。そこで、そうした情報や日本の電車について持っているイメージを自由に出し合ってスキーマを活性化し、続く読解の準備とします。話のきっかけに、「準備」の **1** のポスター(P168)を思い出してもいいでしょう。

**1** 内容を理解する (P180-181)

この記事は、「日本の電車」についてのいろいろな人の発言(ネット上の書き込み)を集めて、それに筆者のコメントや解説が添えられているというタイプのものです。(1)では、リード文と引用部分だけに目を通し、(2)で全体を読みます。

## (1) 1回目の読み:記事で話題になっていることを理解する

まず、タイトルとリード文(★の部分)から、この記事全体のトピックを理解させます。日本の、主に東京の電車についての記事だということがわかればいいです。

次に、引用されている外国人の発言(①-④の番号が付いている部分)を読み、4人がそれぞれ何を話題にしているかを把握します。タスクではイラストがヒントになっているので、①「正確、時間もピッタリ」、②「ラッシュ」、③「整列乗車」、④「寝ている、疲れてる」などのことばがわかればできるでしょう。そのあとで、①「停車位置もピッタリ」、③「秩序正しき」など、少し難しいと思われることばが何を指しているのか、イラストを見ながら考えさせるようにしてください。

## (2) 2回目の読み:コメントの違いを理解する

記事全体を読みます。この記事では、①-④の発言が小見出しのような機能を担っています。同じ話題についてのほかの人がどう言っているかを読み取り、意見の違いを理解することが読解の目的です。たとえば、①の電車の正確さについて、「『たった3分の遅れで謝罪のアナウンスが!』と

……ビックリようです。一方で、『正確すぎて違和感がある』という人も。」と書いてあるように、日本の電車の正確さに対して、人によって感じ方や意見が違ってきます。

設問の[A]–[F]に入ることばを選ぶのは、それらのコメントがどういう立場のものか理解できるかを確認するためです。たとえば、①で、「ストレスの多い仕事だ…」「運転手の給料は大丈夫？」というのは、お客さんにではなく、そのサービスを提供する側の人を心配したり同情したりするコメントであることがわかれば、[A]には「ウ. 同情する」が入ることがわかるでしょう。このように、コメントの内容を注意深く読ませるようにしてください。

◆では、記事の発言の中から、自分と同じ考えの人や自分の考えに近い人を探します。この作業を通じて、この記事でコメントしている人の見方や価値感の違いに気づくことが目的です。さらに、学習者自身の意見や言いたいことを自由に出し合わせるといいでしょう。

## 2 読むためのストラテジー (P181)

この教科書では、文章の中に未知語があったときにそこで止まってしまうのではなく、文全体の意味を理解していこうとする態度を重視しています。そのために、この「読むためのストラテジー」では、いろいろな手がかりを使って未知語の意味を推測する方法を取り上げてきました。ここでは、文章で話題になっていることについて読み手が持っている経験や背景知識も、未知語の推測に役立つということに注目します。

例は、「たった3分の遅れで●●のアナウンス」と、「正確すぎて■■感がある」の二つです。話題は、日本の東京の電車についてですから、日本のことを知っていれば「●●のアナウンス」が「謝っているアナウンスであること」、「■■感がある」は「変な感じ、おかしいと思う気持ち」だと推測できるでしょう。

もちろん、このように経験や背景知識だけからトップダウン的に理解してしまうと、筆者の意図を誤解してしまう危険性もあります。その危険を防ぐには、文章を読みながら、推測の結果が文脈に合っているか、論理展開とずれていないかと、モニターしていく必要があります。「経験や背景知識も、わからないことばの推測に役立つだね！」と教科書に書きましたが、これもひとつの手がかりであって、それがすべてではないという点に注意してください。

## 3 読んだあとで (P181)

この素材では、外国人から見た「日本の交通機関」が話題でしたが、ここでは、反対に外国人から見た「自国の交通機関」について考えてみます。ネットなどに実際にコメントが書かれている場合は、それを参考にしてもいいでしょう。少々、自虐的な視点も持ち、自分の国を外から見つめます。立場や背景によって出来事の見え方が変わり、価値感によって感じ方が違うことを実感することがねらいです。

#### 4 読むのに役立つ文法・文型 (P182)

##### ① 一方(で)／～一方(で) (P182)

「一方」は漢字からもわかるように、二つの事柄を対比的に述べるときに使います。「一方(で)」は接続詞で、その前で一度文を切り文頭につきます。「～一方(で)…」は、文を切らずに一文で表現するときに使います。いずれの場合も、読んだときに何と何が対比されているかを理解することが大切です。

同じような機能の表現として、「それに対して／～に対して」があります。

##### ② Nによって (P182)

例文の「反応は国によっていろいろでした」は、「国が変れば、反応も変わる」という意味になります。「Nによって」で違いの要因を示し、後ろには「いろいろだ／さまざまだ／違う／異なる」などのことばが来ます。要因がはっきりしないときは「場合による」という言い方をします。

##### ③ とても V(られ)ない (P182)

「とても」は、「とても高い」のように程度を表す副詞としての用法がよく知られていますが、ここでの用法は、「とても信じられない」のように動詞の否定形とともに用いられ、不可能なことを強める言い方です。「信じられない、耐えられない、理解できない」などの可能の否定形とよく用いられませんが、話しことばでは「とても無理」のように、否定形でなくても不可能なことを表す表現とともに用いられる場合もあります。

##### ④ V(ら)れる:受身形 (P182)

受身は「初級2」(第13課、18課)で紹介されており、「中級1」「中級2」では新しい文法項目としては取り上げていません。ここでは、迷惑な気持ちを示す受身の中で、これまで紹介されなかった形として、次の③の形を取り上げます。

①直接的な受身:主語がだれかによって、直接的に何かをされる

私は、駅員に注意された ← 駅員が私を注意した

②持ち主の受身:主語の体の一部や所有物などが、だれかによって何かされる

私は、(だれかに)足を踏まれた ← だれかが私の足を踏んだ

③間接受身:主語は、だれかの行為によって、間接的に影響を受ける

電車の中で(私は)、高校生のグループに騒がれた ← (私のまわりで?) 高校生のグループが騒いだ

③の受身の特徴は、主語(私＝話し手)が直接的に何かされたわけではなく、周りで起こった事柄に話し手が影響を受けたり迷惑だと感じたりしたときに使われることです。能動文に変えると、その中に、「私」が現れないことも特徴です。教科書の例文の「隣の人にいびきをかかれる、近くでタバコを吸われる、機内で子供に泣かれる」を能動文にすると「隣の人がいびきをかき、(誰かが)近くでタバコを吸う、機内で子供が泣く」のようになり、③と同じであることがわかります。

①のタイプの受身は比較的どの言語にも存在し理解しやすいようですが、②や③のタイプの受身は、言語によっては受身形では表現されないために難しいと感じる学習者もいるようです。そのため、受身形について学習者の頭の整理をすることがここでの目的です。教師は、それぞれの母語と比較しながら、簡潔にわかりやすい説明を行ってください。

なお、ここでは、受身形を分類すること自体が目的ではないので比較的簡単な分類を採用しました。受身形の分類には②と③をいっしょにする立場もあります。また、①と②の形式は必ずしも迷惑の意味になるとは限らないので、注意してください。

### 漢字のことば 漢字の整理 (P182)

本文に出てきた漢字が取り上げられています。これらのことばが本文のどこで出てきたかを確認し、読み方、意味を確かめたあと、キーボードで入力するなどの練習をしましょう。

#### ◆ 漢字を手がかりにことばを増やしたり整理したりする

否定を示す接頭辞の「無、不、未、非」がつくことばに注目します。クラスで知っていることばを挙げさせると、いくつか集まるでしょう。ことばを増やしていったり、意味を考えたりするための手がかりを増やすことが目的なので、4つの接頭辞の違いについてまで説明する必要はありません。また、ことばを挙げさせることが難しければ、教師が下記のような例を出し、意味がわかるか推測させてみてみてもいいでしょう。ほかの例はネットなどで検索してみてください。

無: 無知、無意味、無敵、無実

未: 未知、未完成、未成年、未開発、

非: 非常、非常識、非科学(的)

不: 不満、不足、不安、不便、不可能

## PART 5 書く「ちょっと大変な目にあった」

**Can-do 40** 交通機関での体験や、それについての感想を、SNS などに書き込むことができる。

旅行先での思わぬ体験や交通機関でのトラブルなどは、SNS などで話題になりやすいもののひとつです。日本語でも投稿できるようになると、日本人の友人や知人とのネットワークも広がるでしょう。そこで、ここでは、交通機関などでの身近な体験について自由に書いてみます。B1 レベルなので、出来事の順番に何が起こったのか、そのとき自分はどう対応したのか、その結果どうなったのか、感想を加えながらストーリーを組み立てていくといいでしょう。

### 1 書く活動 (P183)

#### (1) 書くための準備

モデルとして、スペインを旅行中の日本人の書き込みを読みます。「ちょっと大変な目にあった」内容として、どんなことを書いているかがわかればよいです。記事は途中までしか表示されませんが、続きがあるので、その先を考えてみるのもいいでしょう。なお、これは、(2)で書く内容についてイメージを持つことが目的なので、クラスでいっしょに読み、内容をさっと理解させるようにしてください。

#### (2) 体験談を書く

交通機関での思わぬ出来事やトラブルなどについて、SNSに投稿するという前提で体験を書いてみます。(1)のモデルは外国を旅行しているときの話でしたが、内容は自国での体験でもかまいません。ほかの人が「これはおもしろい」と思ってくれそうなことなら、公共の交通機関ではなく「今朝、自転車で走っていて…」のようなちょっとした話でもいいでしょう。また、PART 1の **3** (P171)で自由に話し合ったことがあったら、それを思い出させてもいいでしょう。

なお、モデル文は普通体で書かれていますが、丁寧体で書いてもかまいません。

### 2 書いたあとで (P183)

交通機関での体験には、けっこう似たものがあるかもしれません。お互いの体験を楽しく読み合い、わからないことなどを質問し合うようにするといいでしょう。また、SNSのページを持っている学習者であれば、実際に投稿しWeb上でコメントとし合うようにすれば、さらに実際のコミュニケーションに近づきます。

## 教室の外へ

### わたしだけのフリース (P184)

自分の国の交通機関について説明したり、交通事情を話したりするときに必要となりそうな語彙があれば、メモしておきます。電車や飛行機など、乗り物が好きな人は、それに関係する専門用語などを調べて書いておいたりしてもいいでしょう。

### 教室の外の活動のアイデア

#### ①

日本に行ったことがない人が多い場合、日本の交通機関の様子を動画で見てみることで、より身近なものとして実感することができるでしょう。例えば「ラッシュ」が PART 4 に出てきましたが、文章で読むだけでなく、その様子を映像で見ると、驚くかもしれません。そのほか、整列乗車の様子や、電車の中で寝る人の姿などもあります。日本以外の国の様子、たとえば「電車の屋根の上に乗る乗客」などを見てみてもおもしろいでしょう。

#### ②

ネット上ではさまざまな都市の路線図が入手できます。路線の多さ、複雑さなどを比較してみたり、東京の路線図の特徴を考えてみます。

#### ③

PART 4 で読んだようなネットコラムを、実際に探して読んでみます。「日本 交通」だけでなく、「外国人 びっくり」などの検索語を追加することで、外国人の日本の交通についてびっくりした感想をまとめた記事が見つかるでしょう。これらの感想について、自分はどうかを考えてみるのも文化を考える活動になります。

#### ④

自分の国の交通機関がどのように日本で紹介されているかを調べます。その国を旅行する日本人向けに書かれた情報サイトや、実際に旅行した日本人が書いたブログなどが見つかると思います。どんな点が強調されているか、日本人はどんな点を重視しているかなどを考えながら読んでみるといいでしょう。

また身近に住んでいる日本人に、自分の街の交通機関についてどう思うかを実際に聞いてみると、不満な点、驚いた点など、いろいろな意見を聞くことができると思います。個人的な知り合いに聞く以外にも、例えば日本語母語話者を招いたビジターセッションの話題としてもいいかもしれません。

## トピック9 忍者、侍、その頃は…

このトピックでは、「忍者、侍」を出発点として、歴史や文化へと話題を広げていきます。忍者や侍は、小説や映画などだけでなく、アニメやマンガ、ゲームなどの題材にもなっていて、いろいろな形で話題を提供しています。また、日本を訪れる観光客の間でも人気を集めているようです。そこで、この「中級2」の最後のトピックでは、忍者、侍を、歴史や文化を考えるためのひとつの例として取り上げました。これをきっかけに、異なる文化や世界へと興味を広げていってほしいと願っています。

### ◎ 扉／準備

#### ● トピックについての質問 (P185)

扉ページにあるのは、外国人観光客向けの侍体験、<sup>ひめじょう</sup>姫路城、忍者祭りの風景の写真です。忍者や侍などについて知っていることがあれば、自由に話し合います。また、くわしいことは知らなくても、今とは違う時代のことがこのトピックの話題だということがわかれば十分です。

「自分の国の歴史の中で、どんな時代に興味がありますか」という質問では、映画や本で知っている出来事や会ってみたい歴史上の人物など、歴史に関係のあることならなんでもかまいません。「歴史」と聞くと知らない日本語が多くて大変そうだななどと思いがちですが、知的好奇心をかきたて、このトピックを楽しめるようにすることがねらいです。

#### 1 写真やレアリアを見る (P186)

忍者や侍に関係しているものの写真です。現代にも、歴史に関係のあるものが残っていることに気づいてもらうことがねらいです。選択肢を選ぶだけではなく、写真からわかることや何か知っていることがあれば自由に話し合ってみるといいでしょう。

なお、「忍者」とは、鎌倉時代から江戸時代の日本で、武将や領主などに使え、主にスパイ活動や暗殺などを仕事としていたとされる人々や集団の名称です。武士とは武芸を家芸とする人の総称で、武士を統率していた者は「武将」、なかでも、戦国時代に活躍した武将は「戦国武将」と呼ばれています。「侍」とは、語源は古くからありますが、江戸時代ごろからは、広く「武士」の別称として用いられ、「お侍さん」などと呼ばれることもあります。

写真①-⑧については以下の通りです。教師の参考情報としてください。

- ① 侍や武将のゲーム: 実在のまたは架空の武将がゲームの主要なキャラクターになっていて、敵を攻めたり、領土を広げたりしていくシュミレーションゲーム。いろいろな種類のものがある。
- ② 忍者屋敷: 忍者が住んでいた住居を再現したもの。本物が残っている場合(滋賀県の忍者屋敷)もあるが、まねして作った娯楽施設もある。建物にはいろいろな仕掛けがあり、入館者が楽しめる。なかには、全体がテーマパークになっていて、忍者ショーなども行われている場所もある。

- ③ 武将のキャラクター: 日本各地には、その地域にちなんだキャラクター(ゆるキャラと呼ばれる)があり、観光などに貢献している。写真は、愛媛県の松山城の「よしあきくん」で、この地域の武将がモデルになっている。
- ④ マンガや小説: 数多く出版されているが、マンガでは写真の『新忍者ハットリくん』(藤子不二雄 ④)のほかに、『サスケ』『NARUTO』などが有名。侍や武将などを題材にした小説も多く「時代小説」と呼ばれている。写真は『燃えよ剣』(司馬遼太郎作)。これらのマンガや小説は、アニメや映画になっているものもある。
- ⑤ 映画やドラマ: フィクションもあれば、実在の人物をモデルにしたものもある。写真の『平清盛』(TBS テレビでスペシャルドラマとして放映)は実在の人物で、平安時代末期、日本初の武家政権を打ち立てた「平家」の頭領。そのはかない栄華は『平家物語』にも描かれ、清盛を扱った作品も多い。
- ⑥ 「時代祭」の武士行列: 毎年10月に京都で行われる京都平安神宮の祭り。8つの時代(明治維新、江戸時代、安土桃山時代、室町代…)の風俗を再現した「時代行列」が見られる。
- ⑦ 手裏剣(上左): 武器のひとつ。敵や的に投げつけて(本来は「手裏剣を打つ」と言う)使用する。さまざまな形状のものがあり、忍者によって使用されたとされる。
- 印籠(上右): 薬などを携帯するための小さな容器。当初は印を入れたことから印籠と呼ばれる。両脇に紐を通して、落下防止用の根付けで留め、帯に挟んで使用した。装飾品としての価値もある。
- 刀(下): 武士によって用いられた武器。芸術品・美術品としての価値も大きく、本物に似せたレプリカなども作られている。
- ⑧ 城: 日本各地には、武将の居城であった城が多く残されている。写真の松本城(長野県松本市)もそのひとつ。もともとは戦国時代に築城されたが、代々の城主によって改築がすすみ、天守は国宝に指定されている。

## 文化 文化について考える (P186)

はじめに1の写真を見ながら、自国の場合どんなものがあるか考えます。遺跡、道具や武具、映画やドラマ、小説などは、どの国にもあるのではないのでしょうか。教科書の写真は、すべて「忍者、侍」に関するものですが、それぞれの国の場合、特定の時代や歴史上の人物などに関係したものが多いかどうか、また、それらが現代の生活にどう関わっているかなど、日本の場合と比較したり、その背景(理由)を考えたりするといいいでしょう。

## 2 語彙や表現の確認 (P187)

日本のいろいろな時代の特徴についてイメージを持つことが目的です。「タイムスリップするなら…」という質問に答えるという設定になっていますが、話題になっている時代の特徴として、日本人がイメージすることがわかればいいいでしょう。また、ここで話題になっている原始時代、平安時代、戦国時代、江戸時代は、教科書の下にある年表で、いつ頃なのか確かめてください。



選択肢のことばは、主にPART 1で出てくるものから選んであります。文中には、「戦国武将、忍者の里、貴族、十二単、歌を詠む、恋文」など日本史に関係した語彙が多いので、語彙表(まるごとサイトからダウンロード)などを参考に、簡単に説明してください。以下は、教師のための参考情報です。

#### ◆ 赤字の言い方に注目しましょう

強調するときに使う言い方は、「なんと言っても、ぜひ、ほんと」の3つです。「なんと言っても」は、「私が興味があるのは、なんと言っても戦国時代だ」「日本で行きたいのは、なんと言っても京都だ」のように、たくさんの中から「こればいちばん」という意味で使うことが多いです。「ぜひ」は、「ぜひ訪れてみたい、ぜひいらしてください」など、自分の願望、相手への勧めを表す表現といっしょに使われます。「ほんと」は、「本当に」の縮約形で、話しことばでよく使われます。

それに対して、「なんとなく」は、「原始時代は、なんとなくおもしろいって思います」のように、「はっきりした理由はないけど」という意味です。

### 3 トピックに関係したさまざまな活動 (P187)

PART 1は日本の歴史上の人物の話なので、その準備になるように、日本の時代区分をイラストとともに示してあります。ただし、時代区分にはいくつかの立場があり、絶対的なものではありません。そのため、変り目がはっきりしないよう、わざとボカしてあります。

タスクの目的は、イラストを手がかりにそれぞれの時代のイメージをつかむことです。解答を考えるときは、どのイラストがどの時代かがわからなくても、イラストa-fをなんとなく古そうなものから新しそうなものへと順番に並べてみて、①-⑥の番号に当てはめるといったやり方にかまいません。解答をチェックしたあと、イラストを見ながら、**2**の文をもう一度読ませるといいでしょう。また、日本の時代と自分の国の時代を比較させてみてもおもしろいでしょう。

教師の参考として、各時代の特徴とイラストについて簡単な説明を以下に載せますが、クラスでこの通りに解説する必要はありません。

・縄文時代:人々は小さな集落に分かれて住み、狩猟や採取(魚、貝)で生計を立て、<sup>たてあなしきじゆうきよ</sup>竪穴式住居(イラスト)に住んでいた。

・弥生時代: <sup>いなさく</sup>稲作が始まり、「むら」からより大きな「くに」が形成されていく(イラスト a. 共同で稲作をする人々)。

・古墳時代: <sup>やまと</sup>大和地方(現在の奈良県)を中心に勢力を持っていた<sup>やまとちゆうてい</sup>大和朝廷が国内を統一する。大王(のちの天皇)を中心とした政治が行われる。大王の死後、大きな古墳(お墓のこと)が作られたので、古墳時代と呼ばれる。

・飛鳥時代:天皇を中心とした政治が行われる。中国との交流が盛んになり、政治や衣服にもその影響が見られる(イラスト e. 唐風の衣装を身に着けた<sup>しやうとくたいし</sup>聖徳太子)。

・奈良時代: <sup>へいじゆうきやう</sup>平城京(現在の奈良県)を中心に、天皇と貴族を中心にした仏教文化が栄える。

- ・平安時代: 平安京(現在の京都府)を中心に、日本風の文化が形成される。貴族の女性は十二単(何枚もの着物を重ねた着物)を身につけ、カルタ遊びなどをして優雅に時間を過ごす(イラストf.かるた遊びをしている十二単の女性)。当時の貴族の男女は、恋文として歌(短歌形式の和歌)を交換し合った。なお、平安時代後期になると、貴族階級に仕え警護を担当していた武士が、力をつけてくる。
- ・鎌倉時代: 武士の頭領の一人「源頼朝」が鎌倉(現在の神奈川県)に武士を中心とした政府、幕府を開き、国を治める。
- ・室町(戦国)時代: 鎌倉幕府の力が弱まるとともに、政権争いが続く。この時代の後半、各地の武士の集団の頭領(戦国武将)が力を競い合い、戦いが多く起こる(イラストb.戦国武将の戦い)。彼らが活躍した時代を、室町時代の中でも、とくに戦国時代と呼ぶ。
- ・安土桃山時代: 戦国武将の一人、織田信長が天下統一の目前で家臣に裏切られて死ぬ(本能寺の変)。その後、信長の家臣の一人、豊臣秀吉が全国統一を成し遂げ、大阪を中心に政治を行う。
- ・江戸時代: 豊臣秀吉の死後、徳川家康が政権を握り、江戸(現在の東京)に幕府を開き、武家政治を行う。士農工商(武士、農民、職人、商人)という身分制度が敷かれ、武士が第一身分となり、身分は世襲のものとなった。さまざまな施策により、250年にわたり戦いのない平和な治世が続き、商業が発達し、町人層(都市のすむ商人、職人)が力をつけ、江戸の町は賑わった。(イラストd.江戸の町並みを歩く侍)
- ・明治時代: 徳川幕府は、外国との貿易を禁じる鎖国政策をとっていたが、江戸末期になると、欧米の国々が日本に開国を迫るようになる。徳川政権の勢力が弱まり、国内でも尊王運動が起こり、やがて、1867年に政権が天皇に返される。江戸は東京と改められ、それまで京都にいた天皇(明治天皇)が江戸城に入場にし、日本は、天皇を中心とした近代国家への道を歩み始める。西欧の文明や文化を積極的に受け入れようとし、東京に、洋館が建てられ、また上流階級の人々を中心に洋装(洋服)が広まっていった(イラストc.洋館と洋装をして歩く人々)。

## PART 1 聞いてわかる「日本の歴史上いちばん有名な人です」

**Can-do 41** 歴史上の人物についての話を聞いて、その人物のイメージや、それを示す具体的なエピソードが理解できる。

このトピックでは、日本の歴史上、よく話題になる人物を取り上げ、その人がどんな人であったか、またその人について語られることの多い逸話(エピソード)や人物評(その人物のイメージ)を聞き取ることが目的です。歴史と関係する特別な語彙が多いために、少し難しいという印象を持つかもしれませんが、ここでは、イラストや選択肢のことがばを手がかりにして内容がわかれば目標達成です。話題になっている人がどんなタイプの人物だったのか、想像力を働かせながら聞いてみるというでしょう。

### 場面・設定の確認

ここでは、武田さんは「織田信長」がキャラクターになっている戦国武将ゲームが好きで、そのゲームのカレンダーを職場においているという設定です。武田さんの横の「信長って、どうしてそんなに人気があるのでしょうか。」と尋ねている女性(外国人)の発言がきっかけで、歴史上の人物の話に発展します。聞くときは、質問した女性(聞き手)の立場で聞きます。あまり、よく知らない歴史上の人物の名前が次々と出てくるので、この女性はわからない点についていろいろと質問しています。①武田さん、②今川さん、③島津さん、④浅井さんの話題にそれぞれ出てくる4人の人物については、教科書のイラストを見ながら聞くとイメージがわかりやすいでしょう。

### ● 聞くまえに (P188)

自国の映画やテレビドラマで取り上げられる歴史上の人物について考えます。それらの人が話題になりやすい理由や人物像についても考えさせてみると、次の聞く活動につながりやすいでしょう。

### 1 内容を段階的に理解する (P188)

(1)は、話題の人物がどんなイメージの人かを聞き取り、(2)(3)では、それぞれの人がどんなことをしたのか、関係のある出来事を理解します。

(1) 1回目の聞き:その人物のイメージを聞き取る

それぞれの人が誰について話題にしているのか、どの時代の人か、どんなイメージの人として語られているのかを聞き取ります。人物のイメージを聞き取るためには、あらかじめアエの選択肢の意味をよく確認しておくようにします。年代については「～年／～世紀／～時代」というバラエティがあるので注意させてください。また、はっきりわからない場合は「～年ごろ」という言い方以外に、「千百何年」のように「何<sup>なん</sup>」を使う言い方があり、ここではそれを使っています。時代については、解答を確認したあとで、準備 **3** (P187)の時代区分図で確認させるといいでしょう。

(2) 2 回目の聞き:それぞれの人物に関係のある出来事を聞き取る

少し詳細な聞き取りになります。どの人が何をしたかを聞き取ります。イラストを見ながらそれぞれのことばの意味を事前に確認し、そのことばを探しながら聞くといいでしょう。

(3) 3 回目の聞き:それぞれの人物の具体的なエピソードを聞き取る

(2) で選んだイラストを見ながらもう一度聞いて、それぞれの人物が何をしたか、どんなことがあったかなど、関係することをさらにくわしく聞いてメモします。教科書には紙面の都合上あまり余白がないので、適宜ノートなどにメモさせてください。

聞いたあとの活動では、ペアやグループでわかったことを共有します。人物ごとに、イラストも見ながら話すといいでしょう。①織田信長の場合なら、「鉄砲を戦争に使った→いろいろと新しいことをした人。」「部下の裏切りで殺された→ドラマチックな生き方をした人。」などのように、ここでわかったことを(1)のイメージと関係づけてみます。この段階でも、聞いてわからないことばもあると思われませんが、イラストに関係のあることが把握でき、それぞれの人物のイメージと具体例と関係づけられれば目標達成です。

なお、聴解のテキストの中で、信長は「本能寺の変で部下に殺された」、義経は「兄との対立して30代での若さだったのに、兄に殺された」のように言っていますが、これは比喩的な表現で、実際には、どちらも、追い詰められて自害しています。

## 2 聞くためのストラテジー (P189)

最後のトピックなので、中級1と中級2で取り上げてきたさまざまなストラテジーを整理します。

(1) いろいろなストラテジーの言い方を確認する

①武田さんの話の一部で、聞き手の女性がさまざまなストラテジーを使用している箇所を抜き出しています。何と言ったかを聞き取り、メモします。

(2) ストラテジーの機能を理解する

①武田さんの話をもう一度聞いて、(1)で聞き取った箇所が、「ア.よりくわしい説明を求める」「イ.ことばの意味をたずねる」「ウ.自分の理解を確認する」「エ.感想やコメントを述べる」の4つの機能のうち、どれにあたるかを考えさせます。ここでの分析の目的は、聞き手がさまざまなストラテジーを使いながら積極的に内容の理解に関わっていることを確認することです。

(3) ストラテジーを使ってみる

②今川さんの話を使って、聞き手の立場に立って、どう質問したり確認したりコメントしたりすればいいかを考えます。どの種類のストラテジーを使ってほしいかは(★ )内に指定してあります。各自がスクリプトを見て言うことを考える時間を取ってからはじめてください。

「…いちばん人気があるのは、源義経なんだって。(★ア )」の場合であれば、源義経がど

んな人か知らないので「ア. よりくわしい説明を求める」ストラテジーを使います。「源義経ってどんな人ですか／誰ですか？／それはどんな人ですか？／何をした人ですか？」や「どうして人気があるんですか？」などの質問が考えられるでしょう。「鎌倉に幕府を開いた人。(★イ )」では、「幕府」の「イ. ことばの意味をたずねる」ので、「幕府ってなんですか？／何を開いたんですか？」などの言い方が考えられます。「千百何年ぐらいだったと思うな。(★ウ )」では、「ウ. 自分の理解を確認する」ために「千百何年ですね」とそのまま確認してもいすし、「12 世紀ですね」と置き換えて確認する方法もあります。最後の、「義経はまだ 30 代の若さだったのに、兄に殺されちゃうんだよね。(★エ )」の「エ. 感想やコメントを述べる」では、「かわいそうですね／ひどいそうですね」などのコメントが考えられるでしょう。学習者がタスクの意図が理解できるように教師はアドバイスしてください。準備ができたなら、音声を聞き、ポーズの箇所で実際に各自が言い、聞き手としての模擬体験をします。

◆では、実際の会話の中で聞き手がどう言っていたか、聞いて確認します。上にいくつか例をあげたように、実際の言い方にはバラエティがあり、会話の中での例はそのひとつに過ぎません。ここでは、答え合わせをするのではなく、ほかにどんな言い方があるか、それぞれ考えたことを出し合っで確認する機会にしてください。

#### ● 聞いたあとで (P189)

話題になっている 4 人の中で、誰のどういう点に興味を持ったか話します。自国の歴史上の人物で似ている人などがあれば、比較してみてもおもしろいでしょう。

#### ■ 聞いたことをまとめる (P189)

4 人の人物についての要約です。選択肢はすべて動詞です。はじめに、動詞の意味を確認してから、文脈に注意して形を変えさせます。「古い考え方に(②とらわれない)で、……」の「V ないで」は、固い表現では「V ずに」(中級1:P146)となります。合わせて、確認しておくといいでしょう。「そういう点がロマンを(⑩感じさせる)」で使役形を使うのは少し難しいかもしれませんが。「そういう点が」が主語になっていることがポイントです。

## PART 2 会話する「やっぱり忍者はいるに違いないよ」

**Can-do 42** ほかの国の歴史や文化などについて、疑問に思うことを質問したり、知っていることを話したりしながら、会話に参加することができる。

最後のトピックの会話では、あるテーマについて、複数の人が関連するいろいろな話をするような場面の会話を取り上げました。実際の会話では、何かタスクを達成するための会話だけでなく、ある話題について、話し手と聞き手の興味に応じて自由に会話を発展させていくことも多いでしょう。Can-do としても広めに設定してありますので、比較的自由な話ができると思います。

### ● 会話するまえに (P190)

会話は、「忍者」を話題としていろいろなことを話します。まずは、学習者が忍者についてどのようなことを知っているか、自由に言わせます。アニメやマンガ、映画などの話でもいいですし、日本の歴史における忍者の位置づけのような、真面目な話でも結構です。知識はバラバラでしょうが、断片的な知識でもいいのでできるだけいろいろなことを話して、忍者に関するスキーマを活性化させます。

場面の設定は、先生の家で学生達が集まってパーティーをしているというものです。部屋に何人かの学生がいる中で、先生を含む4人の会話を聞きます。

### 1 会話の内容を理解する (P190)

会話は、忍者のマンガから始まって、忍術道場、忍者がいたかどうか、残っている忍者の武器、忍者の里やテーマパークなど、いろいろな話題に展開します。その中で、①では「学生達の知りたいことはどんなことか」に注目します。これは、自分が疑問に思うことを質問するという Can-do に繋がってきます。②の先生の答えは、一字一句聞き取るのではなく、だいたいこんな内容の答えだった、という感じで話の概要を大まかに聞き取るよう指示してください。

### 2 ことばの形式に注目する (P190)

登場人物が4人と多く、(1)のことばの使い分けの聞き取りも複雑になりますが、主に注意すべき点は、1.先生と学生がどのようなスタイルで話しているか、2.学生同士の間でどのようなスタイルで話しているか、の二点です。学生から先生へは丁寧体、先生から学生へは普通体、また学生同士は普通体で話していることがわかると思います。

以下は教師のための参考情報です。『NARUTO』は忍者を主人公にしたマンガで、全72巻が出版されています。三重県と滋賀県の話が出てきますが、忍者の主な流派の中で、三重県は伊賀流、滋賀県は甲賀流の忍者の里と言われています。191ページの上の2枚の写真・イラストは、水蜘蛛という忍者の道具です。忍者はこれを足に付けて水の上を歩いたと言われています。忍者をテーマにしたテーマパークは、日光や長野県、佐賀県などにいくつかありますが、忍者屋敷を再現したり、忍者ショーを演じたりする娯楽が中心の施設です。

### 3 会話に役立つ文法・文型 (P191)

#### ① ～わけ(が)ない (P191-192)

「～わけがない」「～わけない」の両方の形がありますが、後者のほうがより口語的です。同じような意味の表現に「～はずがない」がありますが、「～はずがない」が、ある根拠から論理的に考えて可能性がないという客観的な表現なのに対して、「～わけがない」は、主観的にその可能性を完全に否定するニュアンスがあります。ここでは違いに注目させるより、似たような表現として言及する程度でいいでしょう。練習では「わけ(が)ない」を使って文を作りますが、機械的に作るのではなく、意味を考えながら言うようにしましょう。また、文末の形は「わけないでしょう」「わけないですよ」など自由に作ってかまいません。

なお、丁寧な言い方だと「～わけがありません」という言い方もありますが、ここでは取り上げていません。

#### ② ～じゃない(ですか) (P192)

普通体の会話では「～じゃない」、丁寧体では「～じゃないですか」になります。「じゃない」を否定の意味と取る人がいると思いますが、ここではそうではないということに注意させましょう。この「背景を共有する」意味で使うときは、「ない」の部分で高くせず、また文末も疑問文のように上昇させないで発音します。この意味で使うときには発音が重要ですので、聞くときに注意させてください。

練習では、共有したことをもとに、自分の意見を言います。(1)では前半の「～じゃないですか」を含む音声を聞いて絵を選ぶ、(2)では前半の音声を聞いて、後半の文を選ぶ、◆で前半と後半が繋がった会話を聞いて確認する、という流れになっています。前半を聞いて続きを選ぶ際は、まず絵を見て自分だったらどんな文を続けるか、考えさせてみるのもいいでしょう。

#### ③ ～って、～ (P192)

「～って」はこれまでも何度か扱った形です。「中級 1」のトピック 5(中級 1:P120)では、文を引用する「～って。」の形を、また「中級 2」のトピック 1(P47)では、テーマ・主題化を表す「Nって」の形を取り上げました。ここでの「～って」は「中級 2」トピック 1の「Nって」の主題化の用法に似ていますが、「～って」の前が名詞ではなく文になるところが異なっています。「～って言いました」「～って聞きました」のように、伝聞を表す(「～って」は「～と」で置き換え可能)だけでなく、もっと広く文を主題化して自分のコメントなどをつけ足す場合に使えます(この場合、「～って」は「～というのは」で置き換え可能)。

練習では、与えられた文を「～って」で主題化し、これに質問やコメントを付け足す練習をします。右にいくつか例が挙げられていますので、それを付けてもいいし、自分で新しいコメントを考えて言ってもかまいません。なお解答は例に過ぎませんので、もちろんこの通りでなくてもかまいません。

### ③ ～とはかぎらない (P193)

いわゆる部分否定の言い方です。(今の日本に忍者がいるというのは)「嘘ではない」と「嘘だとはかぎらない」を比べて、どのように意味が違うか、確認してください。練習では「～とはかぎりません」という丁寧体の形も出てきます。また「～とはかぎらないよ」のような、普通体の会話として練習してもいいでしょう。なお練習は形を変えるだけですが、形だけではなく、意味を考えながら言うようにしましょう。

### ④ 話すためのストラテジー (P193)

「発言権を取る」ための表現として、「そういえば」と「ていうか」を取り上げています。自分が話したいことがあるときに、これらのことばを発しておけば、自分が話したいことがあるのを相手に示すことができます。また、自分の話したい話題に持っていきたいときなどにも便利な表現です。ただし、同じ「発言権を取る」表現であっても、ニュアンスには違いがありますので、注意してください。とくに「ていうか」のほうは、文脈によっては相手の発言を無視する意味になることもありますので、あまりに頻繁に使うと、人の話を聞かない、自分勝手な人という悪い印象を持たれてしまうこともありますので、使いすぎないように注意することも必要でしょう。

### 発音 発音の練習 (P193)

トピック8と同様、これまで「中級1」から「中級2」を通して練習してきた発音の総合的な練習です。ただし、トピック8では単語のアクセントが付けられていましたが、このトピック9では、アクセントの記号が付けられていません。ここでは、「単語のアクセントを調べる」→「その上で、文全体を自然な韻律で発音する」という手順を踏んで練習します。日本語のアクセントは、非明示的で予測不可能な性質のものであるので、非母語話者は単語ごとに調べる必要があります。聞いてアクセントが判断できるようになるまでは、辞書を引いたり、WEB上のツールを調べたりして、アクセントを調べる必要があるでしょう。

WEB上でアクセントを調べるには、以下のようなサイトがあります。ぜひ紹介してください。

- ・オンライン日本語アクセント辞書(OJAD) <http://www.gavo.t.u-tokyo.ac.jp/ojad/>
- ・日本語教育語彙表 <http://jreadability.net/jev>
- ・日本語教育用アクセント辞典 <http://accent.u-biq.org/>

また、語彙表(まるごとサイトからダウンロード)にはすべての単語にアクセントが書かれていますので、こちらも参考にしてください。

### ⑤ ロールプレイ (P194)

(1)では、4人の会話がどのように進んでいるか、分析します。(問)(答)(知)は、媒介語や共通語で例えば(Q)(A)(K)などのように適当なものに変えてももちろんかまいません。ここでは、会話が質問と答えを中心に進んでいきますが、その中に(知)として、知っていることや聞いたことを話すという部分が入ることを確認します。このように、一問一答ではなく、それに関連した話題を話すこと



で、B1らしい会話を目指します。ここでの Can-do の達成はリアムさんの立場で行われると考えられるので、◆ではリアムさんの発話のみに注目して、発話の内容とそこで使われている表現の関係を確認します。

(2)のロールプレイは、はじめに①で、テキストにある「忍者」の話題で会話をします。ここではまだ本当に聞きたいことや本当の情報などを言えなくてもかまいません。テキストでやった情報を適宜利用して、会話をしてみてください。

次の②では、日本の文化的ないろいろなことについて、質問してみる設定です。イラストからは、「店では客は神様のように扱われる」「妻よりも夫のほうが強い」「大人も子供も同じ部屋で布団で寝る」「通勤に二時間かかる人もいる」「昔は失敗をしたら自分で腹を切る」などが質問できますが、これ以外のことを聞いてもかまいません。答えるほうは、「確かにそうだと思いますが、どうしてですか?」「そんなことはないと思いますけど…」など、自由に話してください。そのとき、なぜそれを聞こうと思ったのか、自分の経験や聞いた話などを話しながら、一問一答にならないように会話を発展させていきましょう。このとき、答える側(日本人役)は、想像で会話を作ればそれで十分です。それが事実かどうかにかかわる必要はありません。しかし、どうしてもできない、難しい、などのような状況になったら、たとえば教師が日本人役をやるなどしてもかまいません。また、可能であれば、日本語母語話者を招いたビジターセッションのような機会に、こうした活動を取り入れ、ロールプレイから実際の意味のある会話に繋げることができれば、より有益な活動になるでしょう。

また、設定を逆にして、自国の歴史や文化について、日本人に質問された、という設定で、ロールプレイを行ってみてもいいと思います。

### PART 3 長く話す「12世紀の末に最盛期を迎えました」

**Can-do 43** 歴史的な建造物や歴史的遺物について、その時代の特徴や、それが作られた背景などが説明できる。

旅行者や出張者、友人などと自分の国の遺跡や古い建物などを訪れたとき、それについて質問を受けることがあると思います。B1レベルなので、いつ建てられたとか、誰が作ったのかなどの簡単なやりとりだけではなく、それが建てられた時代の特徴や歴史的背景などが話せるようになることが目標です。取り上げるものによっては、特殊な語彙を必要とするものもありますが、ここで少し準備をして練習しておくことで、実際の場面で自国の魅力を豊かに伝えられるようになることを目指します。

#### ● 話すまえに (P195)

自分の国にある遺跡や歴史的な建物などで、外国人を案内する機会がありそうなところを思い出してみます。いつ頃のものか、誰が作ったか、何に使われたかなど、知っていることを簡単に言ってみます。

#### 1 モデル会話を聞く (P195)

吉川さんとソックさんがアンコールワット(教科書写真)に向かって歩いています。吉川さんはアンコールワットに来るのははじめてです。吉川さんの「その頃って、どんな時代だったんでしょうか?」という質問に答えて、ソックさんが当時のカンボジアの様子を話します。

ここでは、アンコールワットの建物の説明ではなく、アンコールワットが建てられた時代の特徴や背景について話していることがポイントです。設問では、当時の王国の名前、アンコールワットが作られた目的、建設にかかった期間を聞き取るだけですが、ほかにもわかったことがあればクラスで共有します。ただし、聞き取りの練習ではないので、わからない語彙などは、3 でスクリプトを見ながら確認すれば十分です。

#### 2 表現の確認 (P195)

話の流れの順に、「時代の特徴について話す」部分と、「建物が作られた背景やその特徴について話す」部分に分けて、便利な表現を整理してあります。

①②「～から～にかけて」、③「～と(も)呼ばれている」、⑦「～そうです」(伝聞)、⑧「V ために」(目的)は復習なので、覚えているかしっかり確認してください。

④「～の末に最盛期を迎える」の「末」の部分は、「初め/中頃/終わり」のように言うことも可能です。

⑨「～が建てられたのは、～の時代です」の「建てられた」の部分は、「作られた/完成した/発見された」など言うことができます。「～の時代」の部分は、「～年頃/～世紀の初め・中頃・末/～年前」などのバリエーションが考えられます。⑩⑪「作る/建てるのに、～年(も)かかった」の「かかった」のまえには、「～年」といった期間を表すことばだけでなく、「100万円」などの費用を示す表現も来ることができます。また、下線の「の」は前の動詞を名詞化しています。

### 3 モデル会話の確認とシャドーイング (P196)

会話で聞いたときによくわからなかった語彙や表現、2 で注目した言い方をスクリプトを見ながら聞いて確認します。「カンボジアっていうと」「クメール王国っていうのは」は話しことばで使われる縮約形で、もとの形は「～という、～というの」です。

「信じ…信仰されてて」は、より適なことばに言い直している例、「戦争で捕虜?」は、自信のないことばを疑問調で言って相手に確認を求めている例です。

文法としてとくに新しい項目はありませんが、「近くの村の人や、戦争で捕虜?になった人が集められて」の受身、「大勢の人がここで働かされてたそうです」の使役受身の用法については、意味・用法がきちんとわかっているか確認してください。

#### ◆ シャドーイングする

シャドーイングの練習も最後になります。カンボジアの歴史に関する語彙が多いですが、スクリプトで確認した表現に注意しながら、スムーズに言えるようになるまで、繰り返し練習させてください。

### 4 再話する (P196)

歴史的な背景を説明する練習です。ここでは、練習としてカンボジアの例を用いているだけなので、カンボジアの歴史について知らなくても、メモを見て話せば十分です。他国の歴史を話すことに異和感を持つ学習者がいる場合は、教師が自国の歴史についてのメモを作り、話させる練習にしてもかまいません。スクリプトにある言い直しや、言いよどみ箇所をまねさせる必要はありませんが、自分がうまくことばを思い出せないときなどに、沈黙してしまうのではなく、「えー、えっと…」などの言いよどみを交えたり、間違えたりしたときは言い直したりしながら話させるように指導するといいいでしょう。

なお、写真は、アンコールワットの壁画のモチーフにあるスーリヤヴァルマン2世(上)と、アンコールワットの中の様子(下)です。

### 5 自分のことを話す (P197)

#### (1) 話したいことを整理する

トピックとして選ぶものは、日本人を案内したりいっしょに行ったりすることがありそうなところで、歴史に関係のあるものならなんでもいいです。遺跡や歴史的な建物、記念碑、記念公園、博物館などの美術品や工芸品など、話のきっかけは自由に設定させてください。

話すポイントは、それが作られた時代の特徴と、作られた目的や使われ方などの二つです。何を選ぶかによって話すことが多少違っていてもかまいません。知らない語彙などを、適宜、辞書などで調べさせて準備します。

## (2) 話す

聞き手は、友人や知人を想定しているので、ガイドなどのような硬い説明口調やスピーチになりすぎないように注意します。難しいことばがあったときは思い出したり、間違えたときは言い直したりしながらでかまいませんから、流暢に話せるように、何人か相手を変えて練習をさせるといいでしょう。

## PART 4 読んでわかる 「心に残る戦国武将の名言」

**Can-do 44** 歴史上の人物についての記事を読んで、その人物の特徴や、それを示すエピソードが理解できる。

雑誌のコラム記事を読むという設定です。海外で日本の雑誌を読む機会はありませんが、ここでは日系航空会社の座席ポケットに入っているような無料雑誌の記事を、気楽に読んでみるという想定です。このトピックでは歴史上の人物を扱っていますので、人物紹介のコラムなどで、だいたいの内容を理解できることを目指します。

### ● 読むまえに (P198)

このトピックには、「読むまえに」の質問がありません。そのかわりとして、次の1「内容を理解する」の(1)が、読む前の活動になっています。ただし、クラスの学習者の多くが戦国武将についてあまり知らない場合、「戦国武将」とは何か、どんな人を知っているか、などあらかじめ話し(あるいは知っている人に話してもらい)、準備としてください。

### 1 内容を理解する (P198-199)

#### (1) 名言の意味を考える、発言者の人物像を予想する

本文を読むまえに、まずは戦国武将の残したア～エの「名言」を読み、内容を考えます。「」の中がオリジナルのことばで、その下が現代語の言い方に直したものです。オリジナルの文は難しいので、これを理解しようとする必要はありません。オリジナルは雰囲気だけを味わい、内容は現代語訳のほうを読んで考えれば十分です。発言者が「どんなタイプの人か」を予想するのは、内容から自由に意見を出し合えばよく、正解にこだわる必要はありません。

なお4つの「名言」のうち、アが上杉謙信、エが武田信玄のもので、本文で扱います。ちなみにイは織田信長、ウは徳川家康のことばです。それぞれどんな人物かを説明する時間はないし、またその必要もありません。興味がある人には、教室外で調べるようにさせるとよいでしょう。

#### (2) 1回目の読み:本文を読んでマッチングする

本文を読んで、上の(1)で見た名言のうち、どれについて書かれた記事であるかを考えます。マッチング自体は、本文のことばを見れば、比較的簡単にできると思います。しかし、ここでの読解の目的は、情報を抜き出すというよりは、大意の把握です。マッチングだけで終わりにしないで、(1)で読んだ名言について、具体的にどのような説明がなされているかという点に注目してマッチングするようにしてみましょう。

#### (3) 2回目の読み:人物像に関する筆者の考えを理解する

「名言」を言った人物がどんな人物だったと書いているか、筆者の考えを選びます。本文の内容をだいたい理解できていれば、①と②の部分にどんなことばが来るか、わかると思います。どんな人

物かを選択肢から選んだあと、(1)で自分が予想したことと比べます。どんな点が予想と同じだったか、違ったらどのように違ったか、クラス全体でシェアしてください。

なお、この素材では、雑誌の雰囲気を出すため、縦書きの段組のレイアウトになっています。また段落の最初には、はじめの文字を4倍角にした「ドロップキャップ」が使われています。雑誌などではよく見かけるレイアウトですが、こうしたものに触れたことがない学習者の場合には、文がどこからどこに繋がっているかなど、レイアウトを簡単に確認するとよいでしょう。

参考情報ですが、武田信玄(1521-1573)と上杉謙信(1530-1578)は、日本を代表する戦国時代の武将で、お互いライバル同士でした。信玄の甲斐の国は現在の山梨県、謙信の越後の国は現在の新潟県で、戦いが行われた川中島は、現在の長野県にあります。

#### (4) 3回目の読み:全体を理解したうえで、例を考える

例えばスポーツなら、信玄のことばの場合は、試合に勝ってもその日の練習を欠かさない、謙信のことばは相手が故障などでコンディションが十分でない場合などに試合で勝っても意味がない、などの例が挙げられると思います。いずれの例も、二種類の「名言」の意味がわかったかどうか、例を挙げることで確認することができます。ビジネスやスポーツからさらに離れて、自分の身近な具体例を考えさせてもいいでしょう。

### 2 読むためのストラテジー (P199)

わからないことばを前後の文脈から推測しながら読むストラテジーは、トピック7(P163)で練習しました。しかし、わからないことばがあまりにも多い場合、推測も難しいことがあると思います。そうした場合、わからないことばを辞書などで意味を調べることがどうしても必要になるでしょう。しかし、それでもやはり、わからないことばすべてを一つ一つ辞書で調べるのではなく、できるだけ辞書を引く回数を減らして、あとは推測で読む、という読み方が必要です。ここでの例では、「勝ち」とう何回もくり返し使用されているキーワードを一つだけ辞書で引いてみることで、残りのわからないことばの意味は推測しながら読む、という例になっています。場合によっては、複数の単語を辞書で調べる必要も出てくると思います。

いずれにせよ大切なのは、読解の流れをできるだけ止めないで、実際に行われる「読解」の活動に近い読み方を練習するということです。わからないことばをすべて辞書で引いていたら、時間もかかるし、読解の流れが止まってしまい、読解ではなく「解説」作業になってしまいます。ここではそのような読み方ではなく、必要最小限のことばを辞書で引いて、あとは推測したり、読み飛ばしたりしながら、大意を把握する読み方をすることが目標です。

### 3 読んだあとで (P199)

「歴史上の人物が残した名言」について、自由に話します。ここでは「あなたの国」と書かれていますが、それにこだわる必要もありません。その名言を言った人がどんな人物だったかや、なぜそれが心に残っているのかなど、いろいろなエピソードをシェアします。この活動は、次のPART 5の準備にもなっています。

もし「歴史上の人物の名言」について何も知識がない場合は、文学作品や映画などの名セリフについて話すという方法もあるかもしれません。

#### 4 読むのに役立つ文法・文型 (P200)

##### ① Nにおいて (P200)

N が場所、時、状況を表しています。非常に書きことば的な硬い表現です。意味的には単に「～で」で置き換えられる場合がほとんどですが、書きことばで強調されている場合に使用されることがわかればいいでしょう。

##### ② Nであろう (P200)

これも書きことばで使われる固い表現です。「～だろう」と同じ意味です。「～だ」→「～だろう」、「～である」→「～であろう」のようにまとめるといいかもしれません。「N」の部分には、例文の「織田信長」「魅力」のような名詞が来るほか、「人物だったのであろう」では、形式名詞「の」が来ています。実際にはN以外のものにも付くことができますが、ここではNに付くものに注目して取り上げています。

##### ③ ～からといって、～ない (P200)

分析的には、理由の「～から」のあとに「とって」がついた表現だと考えられます。はじめに、前件の「～からといって」の「とって」を取って、「～から」で予想できることを考えてみましょう(例:相手が弱ったから→? / マンガだから→? / 歴史ドラマが好きだから→?)。そのあとで、「～からといって」の後件に、そうした予想に反するような否定文が来ることを確認することで、意味をつかむことができるでしょう。( )の中に入れる文は、普通なら「あきらめる」ことが予想される状況を考えて書きます。

##### ④ Nにとって (P200)

「視点を表す」としているように、判断や評価は誰の視点から見たものなのかを示すのが、この「Nにとって」です。典型的には「N」には人が入りますが、2番目の例文の「人々の生活にとって」のように、人以外が来て、抽象的なことを言う場合もあります。

#### 漢字のことは 漢字の整理 (P200)

本文に出てきた漢字が取り上げられています。これらのことばが本文のどこで出てきたかを確認し、読み方、意味を確かめたあと、キーボードで入力するなどの練習をしましょう。

◆ 漢字を手がかりにことばを増やしたり整理したりする

一つの漢字に複数の読み方がある例を考えます。たいていの漢字には音読みと訓読みがありますが、音読みの複数ある漢字や、「生」「下」「細」「行」のように訓読みが何種類かある漢字もあります。読み方が複数あって困ったことがあるかなど、これまでの学習経験をいろいろ話してもらうのもいいかもしれません。



## PART 5 書く「歴史上の人物の名言紹介」

**Can-do 45** 歴史上の人物の名言や格言などについて、そのことばの意味や背景を説明する記事を書くことができる。

「歴史上の人物の名言」について書きます。知り合いが個人で運営しているブログにその話題があり、自分の知っているものをコメントとして書くという設定になっています。

### 1 書く (P201)

#### (1) 書くための準備

例は、PART 4 でも扱った、上杉謙信の名言についての書き込みです。「謙信公祭」は新潟県の上越市で毎年行われる、上杉謙信にちなんだ祭りで、「出陣行列」や「川中島合戦の再現」が行われます。しかし祭りの内容はここではあまり重要ではなく、謙信の名言の話への導入となっています。名言紹介については、内容は PART 4 とあまり変わらないので、ここでは内容の理解よりも、書き込みの全体の構成を、右の説明を見ながら確認させてください。例では、名言とその意味だけでなく、そのことばが発せられた背景(どんな人がどんなときに言ったか)や、自分の感想、コメント(その名言についてどう思うか)が書かれています。

その下の「ガンジーの名言」については、こんな形で返信のコメントが付く、という例を示したもので、書き込みの途中までが見えるという設定です。なので、授業ではまったく触れなくてもかまいません。

#### (2) コメントを書く

自分の好きな名言について、紹介する書き込みをします。自分の国の人物の発言でもいいですし、日本やそのほかの国の人物でもいいでしょう。また、歴史上の人物では難しい場合は、身近な芸能人や政治家、アニメ・映画のキャラクターなどの名言に範囲を広げてもかまいません。書く際には、(1)で確認した構成や内容を思い出しながら、まとまりのある書き込みになるようにしましょう。

### 2 書いたあとで (P201)

ほかの人が書いたものを見て、自由にコメントし合います。可能であれば、Facebook のグループや無料掲示板サイトなどを使って、実際にインターネット上で書き込みとコメントをし合ったりするのもおもしろいでしょう。

## 教室の外へ

### わたしだけのフリース (P202)

(例)は、海外の歴史上の人物の名言を、日本語で何というか、調べて書いたものです。このほかにも、自国の歴史やある時代、文化を語るのに必要となる専門的なことばや、日本の歴史に関連する用語などでもいいでしょう。自分だったらどんなことを話したいか、というのをシミュレーションしながら、「自分だけに必要」なことばを増やしていきましょう。

### 教室の外の活動のアイデア

#### ①

日本にある、忍者や侍をテーマにしたテーマパークや体験型アトラクションの様子を映像で見えます。最近では、こうしたアトラクションが外国人観光客に人気があるようです。行ってみたい場所や、やってみたいものがあつたか、それはなぜかなど、自由に考えてみるといいでしょう。

#### ②

「歴史上の人物」について、調べてみるタスクです。日本で有名な歴史上の人物にはどんな人がいるか、どんな人が多いかなどを検索してみます。また、どんな人が「歴史上の人物」として有名かは、国によって異なっていると思いますので、自国の「歴史上の人物」について調べ、日本と比較すると、その国の歴史の特徴がわかるかもしれません。画像検索で調べると、それが一目でわかっておもしろい活動になります。

トピックで紹介された人物をさらにくわしく調べるタスクは、学習者の興味に従って、自由に行わせてください。例には武将が挙げられていますが、もちろん卑弥呼や聖徳太子でも結構ですし、そのほか自分の興味のある歴史上の人物について調べてもいいでしょう。日本語ではなく、学習者の母語で調べてもかまいません。また日本ではこうした歴史上の人物を主人公にしたマンガもいくつか出版されていますので、紹介したり、図書館に入れて共有したりできるとより理解が深まると思います。

日本人に好きな歴史上の人物を紹介してもらうタスクは、PART 1 の実践になります。これもやはり、ビジターセッションの話題として取り上げるなどしてもいいでしょう。

#### ③

自国の遺跡や歴史的建造物が、日本語でどのように紹介されているか、調べるタスクです。旅行サイトだけでなく、「地球の歩き方」のようなガイドブックや、個人が書いた旅行ブログなどでもいいでしょう。コメントを読み、「日本人はこう考えるのか」のような感想をクラスで共有してもおもしろいと思います。

## 4

PART 4と5で扱われた、「名言」について調べてみます。「武将 名言」で調べれば、日本の戦国武将の名言が見つかりますが、もしかしたら、少し難しいかもしれません。本文には「日本語で読んでみましょう」とありますが、内容理解を優先する場合は、英語で書かれたページを読んでみるという方法もあります(英語で「Samurai Quotes」などで検索すると、いくつかページがヒットします)。

「(国名) 名言」で検索した場合、自分の国の人物の名言が、日本語でどう訳されているか、調べることが出来ます。

「まるごと」での学習は、これで終わりです。しかし、この「教室の外へ」でもいろいろやってみたように、日本語の学習は、教科書や教室にとどまらず、外の世界へと続いています。B1 レベルを終えた今の段階では、学習者は教室の外のリアルな世界の中で、自分一人で日本語を使っているいろいろなコミュニケーションができるようになっていくはずですが、教科書は終わりましたが、そこから先も、生涯にわたって学習を続けていくことが大切です。教科書や教室で学んで身につけた日本語を生かしながら、教室の外に広がる世界へ積極的に踏み出し、より広い「日本のことばと文化」の世界でのコミュニケーションを「まるごと」楽しんでいけるよう、学習者を促してください。